

山口県立萩美術館・浦上記念館
平成 19～25 年度 年報

山口県立萩美術館・浦上記念館
年報 平成 19 年～25 年度

目次

I 概要	・・・ 1 頁
1 施設概要	
2 事業概要	
II 事業	・・・ 2 頁
1 展覧会事業 一覧	
(1)特別展示	・・・ 9 頁
(2)小企画展示・特集展示	・・・ 45 頁
(3)平常展示(平成 21 年度より普通展示と改称)	・・・ 47 頁
(4)特別展示室展示(平成 22 年度より特選鑑賞室展示と改称)	・・・ 72 頁
(5)和風展示室	・・・ 77 頁
(6)貸館展示	・・・ 79 頁
2 教育普及事業	
(1)美術講座	・・・ 80 頁
(2)こどものミュージアムスクール	・・・ 83 頁
(3)各種イベント	・・・ 85 頁
(4)ギャラリー・トーク	・・・ 91 頁
(5)季刊誌「萩」	・・・ 95 頁
(6)博物館実習	・・・ 102 頁
3 館蔵品貸出利用状況	・・・ 103 頁
4 購入作品	・・・ 132 頁
5 寄贈作品	・・・ 144 頁
III 入館者	・・・ 162 頁
IV 組織	・・・ 165 頁

I 概要

萩美術館・浦上記念館は、萩市出身の浦上敏朗氏からの浮世絵と東洋陶磁の寄贈を契機に、平成 8 年 10 月 14 日に開館した。山口県立としては、2 館目の美術館である。

また平成 22 年 9 月には本県の文化資源であり、400 年の歴史を有する萩焼をはじめとする陶芸の振興を目的に陶芸館を開館した。当館は浮世絵、東洋陶磁、陶芸の 3 つのジャンルを中心とした、美術館活動を行っている。

浮世絵版画類約 5,300 件、東洋陶磁器類約 560 件、陶芸作品約 590 件を所蔵(平成 27 年 3 月現在)

1 施設概要

(1)所在地 山口県萩市平安古町 586 - 1

(2)所管及び管理

山口県環境生活部文化振興課(平成 18 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

山口県総合政策部スポーツ・文化局文化振興課

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

山口県総合企画部スポーツ・文化局文化振興課(平成 25 年 4 月 1 日～)

指定管理者 サントリーパブリシティサービス株式会社

(平成 23 年 4 月 1 日～)

(3)規模及び建築概要

構造	本館	鉄筋コンクリート造り	地下 1 階地上 2 階
	陶芸館	鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート	一部鉄骨造り 地下 1 階地上 2 階
敷地面積	本館	11,747.45 m ²	
	陶芸館	2,514.97 m ²	
建築面積	本館	3,194.1 m ²	
	陶芸館	1,450.13 m ²	
延床面積	本館	5,177.79 m ²	
	陶芸館	2,417.94 m ²	
展示室面積	本館	1,066.6 m ²	
	陶芸館	803.77 m ²	
工期	本館	平成 6 年 10 月 21 日～平成 8 年 3 月 27 日	
	陶芸館	平成 20 年 10 月 14 日～平成 22 年 3 月 23 日	
開館	本館	平成 8 年 10 月 14 日	
	陶芸館	平成 22 年 9 月 11 日	
設計・監理	本館	丹下健三・都市・建築設計研究所	
	陶芸館	金子信建築事務所	

2 事業概要

- ・本館は、山口県の北浦地域において、新しい地域文化振興の発信拠点にふさわしい、浮世絵と東洋陶磁、陶芸を核とした高い専門性と機能を有する特色ある美術館として多様な活動を展開する。
- ・展示活動としては、県民の多様なニーズに応えるため、浮世絵と東洋陶磁、陶芸の常設展を軸に、関連のある企画展(特別展示)を年間数回開催する。
- ・また、普及教育活動としては、特別展示に関連する「講演会」の開催や主に児童を対象としたワークショップ、美術館まちなかアート事業(平成 22 年度からは指定管理者に業務委託)などを積極的に行う。
- ・さらに、調査収集事業も継続的に実施し、有効活用を図る。

II 事業

1 展覧会事業

〔一 覧〕

平成 19 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	皇帝の器から毛沢東の食器まで 景德鎮千年展
	生誕 120 年 富本憲吉展
	ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 初公開 浮世絵名品展
	青磁を極める-岡部嶺男展
	県民総合芸術文化祭 現在形の陶芸 萩大賞展
小企画展示	明治の浮世絵
	萩陶芸の伝統 - 継承と革新 -
常設展示 (浮世絵)	名所江戸百景
	歌麿とその時代
	江戸の娯楽
	子は宝 浮世絵の母子像
	浮世絵の歴史
常設展示 (東洋陶磁)	もう一つの景德鎮 - 古染付と天啓赤絵 -
	朝鮮半島のやきもの
特別展示室	歌川国政 初世岩井柔三郎
	歌川豊国 初世松本米三郎
	鳥文斎栄之 青楼美人六花仙 静玉屋志津加
	歌川国芳 東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二
	喜多川歌麿 青楼仁和嘉女芸者 大万度 荻江 おいよ 竹次
	二代歌川豊国 名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図
	東洲斎写楽 二世中島三甫右衛門と中村富士郎
	鳥居清長 風俗東之錦 袴着
	溪斎英泉 美艶仙女香 はつ雪や
	鳥居清長 大坂新町西槌屋琴鶴太夫 りきの ふじの
	二代歌川広重 諸国名所百景 周防岩国錦帯橋
	鈴木春信 風俗四季哥仙 三月

和風展示室	古伏脇 司の茶室「風、水、根を張るべき場所」
-------	------------------------

平成 20(2008)年 3 月 3 日(月)～4 月 4 日(金)は燻蒸作業および設備メンテナンスのため
全館休館

平成 20 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	北斎-シーボルトの見た日本-
	仏教美術の黎明-中国山東省石仏展-
	没後 150 年記念 広重の風景版画展
	カルロ・ザウリ展 イタリア現代陶芸の巨匠
常設展示 (浮世絵)	夏の美人たち
	妖怪絵
常設展示 (東洋陶磁)	碧い器 - 青磁
特別展示室	歌川国政 初世岩井柔三郎
	歌川豊国 初世松本米三郎
	鳥文斎栄之 青楼美人六花仙 静玉屋志津加
	歌川国芳 東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二
	喜多川歌麿 青楼仁和嘉女芸者 大万度 荻江 おいよ 竹次
	二代歌川豊国 名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図
	東洲斎写楽 二世中島三甫右衛門と中村富十郎
和風展示室	金子 司の茶室 「種々」

平成 22 年度に開館を予定する陶芸館の建築工事にともない平成 20(2008)年 10 月 27
日(月)～平成 21(2009)年 3 月 31 日(火)の期間休館

平成 21 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	受贈記念特別展 染野夫妻陶芸コレクション-リーチ・濱田・豊藏・壽雪-
	創立 250 周年記念 ウェッジウッド-ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史-
	海のシルクロードの出発点“福建” -沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化-
	フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール展 -オルセー美術館、フランス国立図書館所蔵-
	シリーズ山東省文物 8 中華のかがやき-中国山東省古玉器-
普通展示 (浮世絵)	源平の武者絵
	豊原国周の役者絵
	後期浮世絵の美人画
	小林清親の世界
	相撲絵
	月岡芳年 月百姿 1
	月岡芳年 月百姿 2

	月岡芳年 月百姿 3
普通展示 (東洋陶磁)	色鮮やかなやきもの 白いやきもの
和風展示室	吉村芳生の茶室 「煉獄の茶室」

平成 22 年度に開館を予定する陶芸館の建築工事にともない特別展示室(平成 22 年度以降は特選鑑賞室展示に名称変更)の展示は休止。

また平成 21(2009)年 4 月 1 日(水)～5 月 1 日(木)の期間は増築工事にともなう全館休館

平成 22 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	川喜田半泥子のすべて
	棟方志功 祈りと旅
	陶芸館開館記念Ⅰ 龍人伝説への道 三輪休雪展
	陶芸館開館記念Ⅱ 「日本のわざと美」展-重要無形文化財とそれを支える人々-
	第 4 回山口県総合芸術文化祭 現在形の陶芸 萩大賞展 2010 * 関連イベント展示 娑婆羅-祝宴の器 東アジア現代陶芸作家交流展
普通展示 (浮世絵)	春景色
	月岡芳年 新形三十六怪撰
	浮世絵に描かれた富士の景
	街道絵の世界
	武者絵
	忠臣蔵
	尾形月耕の美人画
	落合芳幾の世界Ⅰ 落合芳幾の世界Ⅱ
普通展示 (東洋陶磁)	中国・朝鮮の古陶磁の美Ⅰ
	中国・朝鮮の古陶磁の美Ⅱ
	中国・朝鮮の古陶磁の美Ⅲ
	古染付の世界
普通展示 (陶芸)	半泥子と休和、壽雪
	山口県のわざと美
	萩焼の茶碗
	三輪休雪のかたち-愛
特選鑑賞室	歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲
	歌川広重 名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋
	歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内
	二代歌川広重 名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい
	歌川広重 名所江戸百景 両国花火
	歌川広重 名所江戸百景 猿わか町よるの景
	歌川広重 名所江戸百景 よし原日本堤
	歌川広重 名所江戸百景 浅草田甫西の町詣
	歌川広重 名所江戸百景 深川洲崎十万坪

	歌川広重 名所江戸百景 日本橋雪晴
	歌川広重 名所江戸百景 廓中東雲
	歌川広重 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎
和風展示室	禹 寛壕の茶室 「人間というもの」

平成 23 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家 ルーシー・リー展
	駒井哲郎 1920-1976
	古陶の譜 中世のやきもの-六古窯とその周辺-
	開館 15 周年記念 浮世絵名品 300 選
	イタリアが育んだ色彩の魔術師 グェッリーノ・トラモンティ展
普通展示 (浮世絵)	月岡芳年 風俗三十二相
	豊原国周の美人画
	山口県と浮世絵
	江戸の娯楽
	広重三代の世界 Part I 初代広重
	広重三代の世界 Part II 二代広重
	広重三代の世界 Part III 三代広重
普通展示 (東洋陶磁)	古染付の世界
	YOU! 俑 愛すべき土偶たち
	優美 VS 清浄 高麗と朝鮮のやきもの
普通展示 (陶芸)	三輪休雪のかたち-愛
	オブジェ-陶造形の潜勢力-
	婀娜めく素材-転化するかたち-
	萩焼の花器
	受贈記念 -辻清明-
	萩焼の置物
	藤笠砂都子展 現在形の陶芸 萩大賞 2010 大賞受賞者展
萩焼の人間国宝 三輪壽雪の鬼萩	
特選鑑賞室	歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲
	歌川広重 名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋
	歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内
	二代歌川広重 名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい
	歌川広重 名所江戸百景 両国花火
	歌川広重 名所江戸百景 猿わか町よるの景
	歌川広重 名所江戸百景 よし原日本堤
	歌川広重 名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣
	歌川広重 名所江戸百景 深川洲崎十万坪
	歌川広重 名所江戸百景 日本橋雪晴
	歌川広重 名所江戸百景 廓中東雲
	歌川広重 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎

和風展示室	柳原睦夫の茶室「茶室・空室・四畳半」
-------	--------------------

施設改善工事および展示替えにともなう全館休館。

平成 23 (2012)年 2月 13日(月)～4月 6日(金)

平成 24 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	アール・デコ 光のエレガンス
	日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展
	清親と安治－光線画の時代
	古萩-江戸の美意識-
普通展示 (浮世絵)	江戸のグルメ
	江戸の一年
	諸国名所風景画
	戯画展
	明治の美人画 揚州周延 Part I
	明治の美人画 揚州周延 Part II
	明治の美人画 揚州周延 Part III
	雪月花 - 雪 -
	溪斎英泉
	歌川国貞の美人画
普通展示 (東洋陶磁)	東洋陶磁の美〈形〉
	東洋陶磁の美〈装飾〉
	東洋陶磁の美〈釉〉
	東洋陶磁の美〈土〉
普通展示 (陶芸)	婀娜めく素材 - 転化するかたち -
	記憶の感触 - 土にこめた想い -
	生の愉悦を物語ること - 三輪休雪の陶芸 -
	萩陶芸 - 花器
	萩焼の近代
特選鑑賞室	歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲
	歌川広重 名所江戸百景 駒形堂吾嬬橋
	歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内
	二代歌川広重 名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい
	歌川広重 名所江戸百景 両国花火
	歌川広重 名所江戸百景 猿わか町よるの景
	歌川広重 名所江戸百景 よし原日本堤
	歌川広重 名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣
	歌川広重 名所江戸百景 深川洲崎十万坪
	歌川広重 名所江戸百景 日本橋雪晴
	歌川広重 名所江戸百景 廓中東雲
	歌川広重 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎

和風展示室	留守 玲の茶室 「さびのけしき」
貸館展示	第 35 回山口伝統工芸展
	萩美術協会創設 80 周年記念展

平成 25 年度

展覧会の種類	展覧会タイトル
特別展示	萩陶芸家協会設立 20 周年記念 萩の陶芸家たち展
	山口県・山東省友好協定締結 30 周年記念 黄河と泰山展-中華文明の源と世界遺産-
	大和保男の陶芸-魂の造形-
	フランス印象派の陶磁器 ジャポニスムの成熟 1866-1886
	現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ
特集展示	追悼 三輪壽雪
普通展示 (浮世絵)	明治のヒーロー稗史絵
	歌川派の役者絵
	夏の美人たち
	浮世絵って、なあに？
	雪月花-月景色
	相撲絵
	忠臣蔵
	浮世絵に描かれた動物たち
	明治の役者絵
	月岡芳年 風俗三十二相
普通展示 (東洋陶磁)	東洋陶磁の美〈土〉
	日本陶磁の魅力
	粉青沙器
	緑釉陶器の歴史
普通展示 (陶芸)	生の愉悦を物語ること - 三輪休雪の陶芸 -
	オブジェ-陶造形の潜勢力Ⅱ
	萩焼の茶陶
	〈龍人伝説〉の世界
特選鑑賞室	歌川広重 名所江戸百景 堀切の花菖蒲
	歌川広重 名所江戸百景 駒形堂吾孀橋
	歌川広重 名所江戸百景 亀戸天神境内
	二代歌川広重 名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい
	歌川広重 名所江戸百景 両国花火
	歌川広重 名所江戸百景 猿わか町よるの景
	歌川広重 名所江戸百景 よし原日本堤
	歌川広重 名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣
	歌川広重 名所江戸百景 深川洲崎十万坪
	歌川広重 名所江戸百景 日本橋雪晴
	歌川広重 名所江戸百景 廓中東雲
	歌川広重 名所江戸百景 隅田川水神の森真崎

和風展示室	小高良作の茶室 「偶然が縁となり 宇宙になる -Coincidence-」
貸館展示	第 36 回山口伝統工芸展
	第 65 回山口県学校美術展覧会巡回展、第 53 回山口県幼児児童生徒版画作品展覧会

Ⅱ > 1 > (1)特別展示

平成 19 年度(2007 年度)

皇帝の器から毛沢東の食器まで 景德鎮千年展

世界有数の磁器生産地として知られる景德鎮。開窯から千年にわたるやきものづくりの流れを、青花、五彩、粉彩など歴代官窯の華麗な磁器、文化大革命末期につくられた現代の官窯ともいふべき、日本初公開の毛沢東の清楚で美しい食器など、景德鎮千年の歴史と魅力を紹介。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送

後援 萩市

特別協力 MEK ホールディング

協賛 エルクホームズ

協力 全日本空輸、エフエム山口

企画協力 東京国立博物館

コーディネート S2

会期 4月14日(土)～6月17日(日) 57日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 127点

観覧者数 14,415人



関連行事

○記念講演会「景德鎮千年の歴史」

日時：4月14日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：今井敦氏(東京国立博物館 事業部事業企画課特別展室長)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

生誕 120 年 富本憲吉展

近代陶芸の巨匠として広く知られる富本憲吉(1886～1963)。富本の生誕 120 周年を記念して、大和時代の楽焼や土焼、東京時代の白磁と染付、京都時代の色絵金銀彩にいたる代表的作品、留学先のロンドンでのスケッチや絵手紙、創作の過程を記録する貴重なスケッチなど、未公開資料を含めた国内外の第一級作品を通して、富本芸術の全容を紹介。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送
後援 萩市
協賛 日本写真印刷(株)、ゆとりスタイル、山口銀行
協力 富本憲吉記念館、全日本空輸(株)、
(株)エフエム山口

会期 6月30日(土)～8月19日(日) 45日間
会場 本館 2,1階第 6,5,4,3,2,1 展示室
出品点数 299点
観覧者数 7,456人



関連行事

- 記念講演会「苛烈と洗練の人 - 富本憲吉」
日時：6月30日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：柳原睦夫氏(陶芸家,大阪芸術大学 名誉教授)
- 呈茶席
望月席 7月28日(土),29日(日) 10:00～15:00 表千家萩地区青年部
孟秋席 8月18日(土),19日(日) 10:00～15:00 (社)茶道裏千家淡交会維新青年部
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 初公開 浮世絵名品展

英国を代表するミュージアムの一つであるヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵の特徴ある浮世絵コレクションを世界に先駆けて紹介する展覧会。鈴木春信、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳など、浮世絵全盛期の絵師たちによる初公開を多数の作品を、「華麗なる錦絵の展開」・「希少な団扇絵の世界」・「最盛期の狂歌絵本」・「肉筆画と版下・画稿」の4つのセクションにわけて展観。

主催 ヴィクトリア アンド アルバート美術館、
山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞西部本社、
KRY 山口放送

後援 文化庁、ブリティッシュ・カウンシル、萩市

協力 全日本空輸株式会社

企画協力 アートシステム

会期 9月1日(土)～10月8日(祝・月) 33日間

会場 本館 2,1階第6,5,4,3,2,1展示室

出品点数 163点

観覧者数 9,972人



関連行事

○記念講演会①「ヴィクトリア アンド アルバート美術館の浮世絵コレクションについて」

日時：9月1日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：日野原健司氏(太田記念美術館 学芸員)

○記念講演会②「絵師・河鍋暁斎の魅力と子孫の創った美術館」

日時：9月17日(祝・月) 13:30～15:00 講座室

講師：加美山史子氏(河鍋暁斎記念美術館 学芸員)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

青磁を極める- 岡部嶺男展

昭和期の陶芸界に鮮烈な印象を刻んだ作家、岡部嶺男(1919～1990)の創作活動を回顧する展覧会。瀬戸の陶芸家・加藤唐九郎の長男として生まれ、幼少より作陶に親しんだ嶺男は、地元の伝統技法を修得しながら独自性の強い作品を創出。さらに「嶺男青瓷」とも称される、優れて品格のある青磁(青瓷)作りも探究。嶺男の初期から晩年にいたるまで代表作を通して、岡部嶺男の作陶活動を展観。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、NHK 山口放送局、
NHK ちゅうごくソフトプラン、毎日新聞社、
tys テレビ山口

後援 萩市

企画制作 NHK 中部ブレイズ

会期 10月17日(水)～12月6日(木) 44日間

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 176点

観覧者数 6,279人



関連行事

○開会記念トーク・セッション「岡部嶺男を語る」

日時：10月17日(水) 11:00～12:30 講座室

講師：岡部美喜氏,三輪休雪氏,中林幸雄氏

○記念講演会「岡部嶺男の陶芸」

日時：10月20日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 主任研究員)

○呈茶席

11月4日(日) 10:00～15:00 (社)茶道裏千家淡交会維新青年部

11月24日(土),25日(日) 10:00～15:00 表千家萩地区青年部

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

10月21日(日),28日(日),11月18日(日),25日(日),12月2日(日)

11:00～12:00

第1回山口県総合芸術文化祭 現在形の陶芸 萩大賞展

萩焼 400年の歴史を有する本県が誇る文化資源「陶芸」。その一層の振興と質の向上を目的に、現在を見据えて活動する陶芸家(プロ、アマ問わず)を対象とした公募展。

主催 現在形の陶芸萩大賞展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、山口県文化連盟、萩陶芸家協会、萩市文化協会)
協力 エフエム山口

会期 12月15日(土)～平成20(2008)年1月14日
(祝・月)21日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 146点

観覧者数 2,085人



応募総数 203点

出品点数(入選)146点

受賞者一覧

萩大賞 Park Junggun/Have an hour's break

準大賞 清水一二/吹泥金紅線文彩八角器

優秀賞(3点)

船崎 透/白萩流紋皿揃

北野勝久/白磁捻面取花器

Lee Soyoung/Inner child

審査員特別賞(3点)

松平彩子/つつむカタチー佇む

松永加寸満/遙か桂林

Ha Sungmi/Soul mate

佳作(5点)

Kim Sunae/Lost Heroes Desperately Break a Prison

渡邊陽子/Pachira aquatica

Andres Montenegro cabanas/Telepathic frequency

岩崎真理子/シャボン玉飛んだ

藤重侑子/心と～ひとりへ～

審査員

金子賢治氏(東京国立近代美術館 工芸課長)

榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館 館長)

石崎泰之(当館 学芸課長)

関連行事

○表彰式・講評会

- 日時：12月15日(土) 15:00～17:00
- 記念講演会「現代陶芸 Outlook」
 日時：12月16日(日) 13:30～15:00 講座室
 講師：金子賢治氏(東京国立近代美術館 工芸課長)
- 陶と花のコラボレーション
 日時：12月15日(土)～24日(祝・月) 9:00～17:00
 会場：旧久保田家住宅(萩市呉服町)
- 萩茶碗による呈茶席 いずれも 11:00～15:00 エントランスホール
 12月15日(土)表千家萩千萩会 12月16日(日)遠州流萩支部
 1月12日(土)萩陶芸家協会賛助会 1月13日(日)小堀遠州流萩支部
 1月14日(祝・月)裏千家淡交会萩支部
- ミュージアムコンサート
 日時：12月24日(祝・月) 14:00～15:30 エントランスホール
 出演：山口県立萩高等学校合唱部、邦楽アンサンブルやまぐち
- 第1回ソレッチャ・レシピコンテスト
 ～萩焼に飾ってみたい やまぐちの食材(和食編)～
 募集 11月16日(金)～12月24日(祝・月)
 表彰式 1月14日(祝・月) 15:00～16:00 エントランスホール
- こどものための版画ワークショップ
 「年賀状とクリスマスカード」
 講師：波多野昭氏
 日時：12月22日(土) 13:00～16:00 講座室
- 陶芸ワークショップ「キノコラツクルヒトビト」
 日時：1月12日(土),13日(日) 10:00～15:00 講座室
 講師：金子司氏(陶芸家)
- 新春ギャラリーツアー
 1月2日(水),3日(木) 11:00～12:00,14:00～15:00
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
 毎週日曜日 11:00～12:00

平成 20 年度(2008 年度)

北斎 -シーボルトの見た日本-

文政 9 年(1826)、長崎出島のオランダ商館長がシーボルトを連れて江戸に行った際、日本人の生活ぶりを描いた作品を葛飾北斎から受け取りました。現在、このうち 15 点がシーボルト・コレクションとしてオランダ国立民族学博物館に、25 点が商館長からの寄贈品としてフランス国立図書館に所蔵されています。今回、この 40 点の風俗画が初めて一括して里帰りを果たすことになりました。これらの作品には、西洋風の陰影法が用いられており、バタ臭く、見慣れない北斎と思われることでしょう。展覧会では、浮世絵版画、版本、摺物、肉筆画など多様な作品約 200 点を展示し、「おなじみの北斎」と「初めての北斎」の二つの視点から、世界を魅了した北斎芸術をたっぷりとお楽しみいただきます。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tys テレビ山口

後援 オランダ王国大使館、フランス大使館、萩市

学術協力 オランダ国立民族学博物館、フランス国立図書館

協賛 大日本印刷

協力 日本航空、エフエム山口

会期 4 月 5 日(土)~5 月 18 日(日) 43 日間

会場 本館 2,1 階第 6,5,4,3,2,1 展示室

出品点数 237 点

観覧者数 19,727 人



関連行事

○記念講演会「多彩な北斎の芸術世界」

日時：4 月 5 日(土) 13:30~15:00 講座室

講師：神谷浩氏(名古屋市美術館 学芸課長)

○ミュージアム寄席「抜け雀」「普段の袴」

日時：4 月 29 日(祝・火) 13:30~15:00 講座室

出演：春風亭正朝師匠

○つるつるしこしこそば打ち教室

日時：5 月 4 日(日) 13:30~15:00 当館噴水前広場

講師：尾崎三次氏

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日,月曜日 11:00~12:00

仏教美術の黎明 -中国山東省石仏展-

中国・山東省では近年、青州をはじめ諸城、臨■、博興といった地域で、6世紀の北朝時代に造られた石仏が多数出土しています。それらは、幽玄な世界に誘う瘦身の仏・菩薩や光背に躍動する華麗な飛天たちなど、西方的な特徴と中国的な特徴とを併せ持った温雅な印象の仏像たちです。山口県と山東省の友好協定締結 25周年を記念して開催されるこのたびの交流展は、わが国の飛鳥・白鳳時代の仏像にも通じる、おだやかで神秘的な魅力をたたえた山東省出土の石仏を総合的に紹介するものです。日本初公開の作品を含む 77 件の石仏で、中国仏教美術の黎明期にあたる、北魏後期から北齊にいたる各時代の造像表現を展観します。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、山東省文化庁、朝日新聞社、yab 山口朝日放送

出展協力機関 山東省文物局、山東省博物館、青州市博物館、諸城市博物館、臨■県博物館、済南市博物館、濱州市文物管理所、惠民県博物館

後援 萩市

協力 エフエム山口

会期 5月27日(火)～7月13日(日) 42日間

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 77点

観覧者数 6,224人



※■は 左側が「月」+右側が「旬」

関連行事

○記念講演会①「中国山東省北朝期の仏像について」

日時：5月27日(火) 10:00～11:30 講座室

講師：楊波氏(山東博物館 考古部主任研究員)

○記念講演会②「中国山東仏像の意義」

日時：6月7日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：岩井共二氏(山口県立美術館 主任学芸員)

○中国茶教室

日時：5月31日(土),6月14日(土),28日(土),7月12日(土)

各回 14:00～15:30 1階ロビー

講師：武谷哲宏氏、西村寿美氏(中国茶芸館 清風茶房)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

没後 150 年記念 広重の風景版画展

定火消役同心という士分の安藤家に生まれながら、歌川派絵師として美人画や役者絵などを描いた歌川広重はまた、葛飾北斎とともに浮世絵の風景版画を大成した画家として世界的に知られています。天保期(1830～44)の初めに横大判の風景画シリーズ、一幽斎がき「東都名所」を発表して風景画家としての地位を固めたのち、東海道の街道風景を描いた「東海道五十三次之内」でその地位を不動のものとししました。本展は、安政 5 年(1858)に 62 歳で広重が没してから 150 年にあたるのを記念して開催します。代表作「東海道五十三次之内」全作品をはじめ、木曾六十九次、江戸や諸国の名所など、叙情あふれる風景版画 155 点を、「江戸名所絵」「街道絵」「諸国名所絵」「名所江戸百景」の 4 つのセクションで紹介します。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tys テレビ山口

後援 萩市

会期 7月 19日(土)～8月 17日(日) 26日間

会場 本館 2,1 階第 6,5,4,3,2,1 展示室

出品点数 155 点

観覧者数 5,673 人



○記念講演会「広重風景画の手法と主題」

日時：7月 19日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：大久保純一氏(国立歴史民俗博物館 教授)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

カルロ・ザウリ展 イタリア現代陶芸の巨匠

カルロ・ザウリ(1926～2002)没後初めての大回顧展を、ザウリが住居とスタジオを構えていたイタリア・ファエンツァ市とカルロ・ザウリ美術館の全面協力のもとで開催します。ザウリは、世界で最も規模の大きいファエンツァ市主催「国際陶芸コンペ」で最高賞を3度も獲得したイタリア現代陶芸の旗手として知られていますが、東京オリンピックに合わせて1964年に開催された「国際現代陶芸展」以降は、個展も含めてわが国でもたびたび作品が紹介されてきました。本展では、土の造形素材としての可能性を徹底的に追求したダイナミックな陶造形、建築壁面、繊細緻密な平面制作など166点の多様な作品で、カルロ・ザウリのエネルギッシュで非凡な活動の全容を振り返ります。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、京都国立近代美術館、ファエンツァ市、エミリア・ロマーニャ州、カルロ・ザウリ美術館、読売新聞西部本社、KRY山口放送、日本経済新聞社

後援 イタリア文化省、イタリア外務省、イタリア議会下院、ラベンナ県、ラベンナ商工会議所、イタリア大使館、イタリア文化会館、萩市

協賛 モカドーロ、GD

協力 アリタリア航空、オープン・ケア

会期 8月26日(火)～10月26日(日) 54日間

会場 本館 2,1階第6,5,4,3,2,1展示室

出品点数 166点

観覧者数 5,026人



○記念講演会①「カルロ・ザウリの芸術」

日時：9月13日(土) 14:00～15:00 講座室

講師：マッテオ・ザウリ氏(カルロ・ザウリ美術館 館長)

「カルロ・ザウリとその時代」

日時：9月13日(土) 15:00～16:00 講座室

講師：平井智一氏(陶芸家)

○記念講演会②「カルロ・ザウリと現代イタリア陶芸の魅力」

日時：10月11日(土) 14:00～15:30 講座室

講師：渡部誠一氏(岐阜県現代陶芸美術館 副館長)

○記念コンサート「カルロ・ザウリに捧ぐ」

共催：萩音楽協会

日時：9月14日(日) 10:30～12:00, 14:30～16:00 講座室

出演：Vanni Montanari(フルート)

Donato D' Antonlo(ギター)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

平成 21 年度(2009 年度)

受贈記念特別展 染野夫妻陶芸コレクション-リーチ・濱田・豊藏・壽雪-

平成 19 年度に、故染野義信・啓子夫妻の収集された美術品 241 件が、ご遺族から本県と東京国立近代美術館に寄贈されました。とくに、親しく交流を深めながら収められた、バーナード・リーチや濱田庄司・荒川豊藏・三輪壽雪など人間国宝クラスの作家による陶芸作品は、ご夫妻の秀逸な美意識を反映して、わが国陶芸の近現代を鮮やかに際立たせる鋭い表現力にあふれています。本展は、この貴重な現代陶芸関連のコレクション約 260 件を紹介し、あわせてご夫妻が収集に傾けた熱意を顕彰します。

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送
企画協力 東京国立近代美術館
後援 萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会

会期 5月2日(土)～6月21日(日) 45日間
会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室
出品点数 263点
観覧者数 6,742人



関連行事

- 記念講演会①「荒川豊藏の〈志野〉－自然と生命の賛歌」
日時：5月2日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 主任研究員)
- 記念講演会②「三輪壽雪の〈鬼萩〉－豪放と優雅と」
日時：5月17日(土) 14:00～15:30 講座室
講師：石崎泰之(当館 学芸課長)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

創立 250 周年記念 ウェッジウッド-ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史-

英国を代表する世界的な陶磁器ブランド、ウェッジウッド。「英国陶工の父」と尊称される創始者ジョサイア・ウェッジウッド 1 世が、1759 年に最初の工場を開設してから今年で 250 年を迎えました。本展はウェッジウッド美術館、ノッティンガム城美術館、ポタリズ美術館、ウェッジウッド家、駐日英国大使館などのコレクションから選りすぐった、食器類や壺、カメオ、香水瓶などの洗練された名品の数々から、創造性豊かな輝かしいその歴史をたどります。

主催 ウェッジウッド展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送)
後援 外務省、ブリティッシュ・カウンシル、萩市
協力 ウォーターフォード・ウェッジウッド・ジャパン、
JAL、エフエム山口
監修 Gaye Blake Roberts(ウェッジウッド美術館 館長)

会期 7 月 4 日(土)~8 月 23 日(日) 46 日間
会場 本館 2,1 階第 6,5,4,3,2 展示室
出品点数 256 点
観覧者数 11,966 人



関連行事

- 記念講演会「ウェッジウッドの中村卓夫ーかたちに結んだ伝統と革新の精神」
日時：8 月 1 日(土) 14:30~16:00 講座室
講師：中村卓夫氏(陶芸家)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00~12:00

海のシルクロードの出発点“福建”-沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化-

マルコ・ポーロの『東方見聞録』にもその繁栄ぶりが記された、福建。その地は中国東南の沿岸部に位置し、海外交易の拠点として古くから栄えてきました。宋代に福建で生産された茶と茶道具をはじめ、福建産の陶磁器などは、日本のみならず世界各地の茶文化や陶磁器生産に影響を与えています。本展では、発掘された国際色豊かな文物に国内伝世品を加えて展示し、海のシルクロードの出発点となった福建の歴史と文化を紹介します。

主催 海のシルクロードの出発点“福建”萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、福建博物院、
毎日新聞社、tys テレビ山口)

助成 財団法人 花王芸術・科学財団、野村国際文化財団

後援 萩市

協力 エフエム山口

会期 8月29日(土)～10月12日(祝・月) 40日間

会場 本館 2,1階第6,5,4,3,2展示室

出品点数 150点

観覧者数 4,200人



関連行事

○記念講演会①「茶の湯と福建省」

日時：8月29日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：谷晃氏(野村美術館 学芸部長、茶の湯文化学会 会長)

○記念講演会②「中国における茶文化と陶磁器」

日時：9月26日(土) 14:00～15:00 講座室

講師：森達也氏(愛知県陶磁資料館 主任学芸員)

○対談：「貿易陶磁にみる東アジア」

日時：9月26日(土) 15:00～16:00 講座室

講師：森達也氏(愛知県陶磁資料館 主任学芸員)

上田秀夫(当館 館長)

○中国茶教室

日時：9月5日(土),19日(土),10月3日(土) 毎回 14:00～15:30

講師：武谷哲宏氏(中国茶芸館 清風茶房)

○呈茶席 10:30～15:00

9月12日(土)(社)茶道裏千家淡交会萩支部維新青年部

9月20日(日),21日(祝・月)表千家萩地区青年部

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール展 -オルセー美術館、フランス国立図書館所蔵-

パリの画家、アンリ・リヴィエール(1864~1951)はわが国の浮世絵を愛し、北斎「富嶽三十六景」へのオマージュ「エッフェル塔三十六景」を制作したことが知られています。世界初の回顧展となる本展では、フラン国立図書館とオルセー美術館などの所蔵品により、カフェ〈シャ・ノワール〉で上演した影絵劇の幻想的な作品や、ブルターニュ地方の自然を明るい色彩で描いた版画や水彩画などを紹介し、19世紀末から20世紀に活躍したリヴィエールの全貌に迫ります。

主催 アンリ・リヴィエール展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、NHK山口放送局、
読売新聞西部本社、KRY山口放送、NHKサービスセン
ター)
後援 在日フランス大使館、山口日仏協会、萩市
学術協力 フランス国立図書館、オルセー美術館、
県立ブルターニュ博物館
協力 JAL、財団法人ポーラ美術振興財団、鹿島美術財団
協賛 中国電力

会期 10月20日(火)~12月6日(日) 44日間
会場 本館2階第6,5,4,3展示室
出品点数 204点
観覧者数 8,669人



関連行事

- 記念講演会①「アンリ・リヴィエールとブルターニュ」
日時：10月24日(土) 13:00~14:30 講座室
講師：フィリップ・ル・ステュム(県立ブルターニュ博物館 館長)
- シンポジウム「アンリ・リヴィエール ブルターニュと日本の近似性」
日時：10月24日(土) 14:45~15:45 講座室
パネリスト：フィリップ・ル・ステュム(県立ブルターニュ博物館 館長)
飯山雅英(美術評論家)
藤村忠範(当館 学芸課主査)
- 記念講演会②「アンリ・リヴィエールの人と芸術」
日時：11月3日(祝・火) 13:30~15:00 講座室
講師：藤村忠範(当館 学芸課主査)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00~12:00

シリーズ山東省文物 8 中華のかがやき-中国山東省古玉器-

中国古代文明を象徴する「玉」は、装飾品や日用品として扱われてきただけでなく、儀礼、富や権力の象徴、宝石として重宝されてきました。山東省では、新石器時代からすでに精巧な造形表現による玉製品が生み出され、それは青銅器の文様にも継承されたように、中国古代文明の形成に大きな役割を果たしてきました。本展では、悠久の歴史の中で輝いてきた「玉」のさまざまな造形表現をとおして、中国文明の世界へみなさまを誘います。

- 主催 中華のかがやき展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、中国文物交流中心、
毎日新聞社、tys テレビ山口)
- 協力機関 山東省文物局、中国社会科学院考古研究所、
山東省博物館、山東省文物考古研究所、
淄博市博物館、青州市博物館、五蓮県博物館
- 後援 萩市
- 会期 12月19日(土)～平成22(2010)年2月21日(日)
52日間
- 会場 本館2階第6,5,4,3展示室
- 出品点数 93点
- 観覧者数 3,379人



関連行事

- 記念講演会「山東省の古玉器の世界」
日時：12月19日(土) 13:00～14:30 講座室
講師：梁 中合氏(中国社会科学院考古研究所 研究員)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

平成 22 年度(2010 年度)

川喜田半泥子のすべて

昭和における陶芸復興の礎を築いた、川喜田半泥子(1878～1963)の芸術活動の全容を回顧する展覧会です。百五銀行頭取などの要職を歴任して財界で活躍する一方で、陶芸をはじめ書画、写真、建築、俳句などの各方面に斬新な芸術的才能を発揮した半泥子。ユーモラスかつ高遠な思念を表現したその創造世界を、半泥子が母体を創設した石水博物館の全面的な協力のもとに紹介します。

主催 「川喜田半泥子のすべて」 萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送)、石水博物館

後援 萩市
協力 エフエム山口
企画協力 耕人社

会期 4月3日(土)～5月30日(日) 52日間
会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室
出品点数 231 点
観覧者数 7,805 人



関連行事

○記念講演会①「川喜田半泥子の陶芸」

日時：4月10日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：榎本徹氏 (岐阜県現代陶芸美術館 館長)

○記念講演会②「半泥子芸術の魅力」

日時：4月17日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：山名重樹氏

○半泥子の茶碗による記念呈茶席 (6名×4席/回)

(1)点前 茶道裏千家淡交会萩支部

日時 4月17日(土),18日(日) 11:00～,13:00～,15:00～

(2)点前 表千家萩千萩会

日時 4月24日(土),25日(日) 11:00～,13:00～,15:00～

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

棟方志功 祈りと旅

棟方志功は、大正から昭和の時代をひたむきに美を探求して生き抜き、おびただしい数の作品を残しました。本展では「祈りと旅」をテーマに、全長26メートルに及び大作「大世界の柵」をはじめ、仏教をテーマにした板画や美人画などの代表作に加え、日本各地を行脚して描いた「海道柵シリーズ」やアメリカ旅行の作品なども紹介し、棟方志功の全貌に迫ります。

主催 「棟方志功」萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab山口朝日放送)

後援 萩市
協力 (財)棟方板画館、(株)安川電機、エフエム山口
監修 棟方板画美術館

会期 6月12日(土)～8月15日(日) 57日間
会場 本館 1,2階第6,5,4,3,2,1展示室
出品点数 78点
観覧者数 17,031人



関連行事

- 記念講演会①「棟方志功・版画家としての出発」
日時：6月12日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：西山純子氏(千葉市美術館 学芸員)
- 記念講演会②「坂本龍馬と幕末の浮世絵」
日時：7月31日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：日野原健司氏(太田記念美術館 主幹学芸員)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

陶芸館開館記念Ⅰ 龍人伝説への道 三輪休雪展

萩焼 400 年の歴史的個性を制作の基礎としながら、現代感覚にあふれたオブジェ陶による造形表現を創出してきた、十二代三輪休雪。本展覧会では、最新作である〈龍人伝説〉シリーズに至るまでのこの作家の制作活動の足跡を代表的作品で遡って紹介します。「生と死」という人間存在の深奥に潜む恒久的主題を一貫して追求し、やきものに初めて叙情的なかたちを与えた表現者の精神性に迫ります。

主催 山口県、(財)自治総合センター、
「龍人伝説への道—三輪休雪展」実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送)

後援 萩市
協賛 山口銀行
協力 エフエム山口

会期 9月11日(土)～10月24日(日) 40日間
会場 本館 2階第6,5,4,3展示室
陶芸館 1,2階第8,7展示室
出品点数 132点
観覧者数 11,366人



関連行事

- 記念講演会・対談「龍人伝説への道—十二代休雪の芸術」
日時：9月11日(土) 13:30～15:00 講座室
講師：乾由明氏(兵庫陶芸美術館 館長)
三輪休雪氏(陶芸家)
- アーティストトーク
日時：9月19日(日) 11:00～12:00
- 陶芸館開館記念シンポジウム
「陶による造形表現の可能性」
日時：10月16日(土) 13:30～17:00
基調講演：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長)
発表Ⅰ：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 工芸課長)
発表Ⅱ：北川宏人氏(彫刻家)
発表Ⅲ：徳丸鏡子氏(陶芸家)
司会進行：石崎泰之(当館 学芸課長)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

陶芸館開館記念Ⅱ

「日本のわざと美」展-重要無形文化財とそれを支える人々-

平成 22 年度までに伝統的な工芸芸術の分野において重要無形文化財保持者として認定されたすべての個人(いわゆる「人間国宝」)の作品、重要無形文化財保持団体の作品と工程見本、およびそれらの技術伝承や修理、用具の確保に欠かせない重要な技術として選定および認定された選定保存技術関連資料を展示します。人間国宝のわざが創り出す造形美と、それを支える人々の確かな技術をわかりやすく紹介します。

主催 文化庁、山口県、山口県教育委員会、(財)自治総合センター、
「日本のわざと美」展-重要無形文化財とそれを支える人々-萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館 読売新聞西部本社
KRY 山口放送)

後援 萩市、NHK 山口放送局

会期 11月3日(祝・水)～12月5日(日) 29日間

前期:11月3日～11月21日

後期:11月23日～12月5日

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 218点

観覧者数 7,019人



関連行事

○記念講演会①「漆芸の美 - 蒔絵の世界」

日時：11月3日(祝・水) 14:00～15:30 講座室

講師：室瀬和美氏 (漆芸家、重要無形文化財「蒔絵」の保持者)

○記念講演会②「伝統工芸のいま」

日時：11月7日(日) 14:00～15:30 講座室

講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長)

○製作実演「輪島塗」

日時：11月13日(土),14日(日) 10:00～16:00

講師：輪島塗技術保存会

○製作実演「伊勢型紙」

日時：11月20日(土),21日(日) 10:00～16:00

講師：伊勢型紙技術保存会

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

現在形の陶芸 萩大賞展 2010

第21回国民文化祭・やまぐち 2006において、これまで最多の応募作品が全国各地から寄せられた陶芸展の実施成果を継承し、萩焼 400年の歴史を有する本県の文化資源である「陶芸」領域の一層の振興と質的向上を目的として、陶芸に自己表現の場を求めて活躍する人を対象とした作品の公募展を開催します。

主催 現在形の陶芸 萩大賞展 2010 実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、(財)山口県文化振興財団、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会)
後援 朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、KRY山口放送、NHK山口放送局、tys テレビ山口、yab山口朝日放送、萩ケーブルネットワーク(株)
特別協賛 株式会社三越
助成 (株)カシワバラコーポレーション
協力 エフエム山口

会期 12月18日(土)～平成23(2011)年1月16日(日)
24日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 109点

観覧者数 1,177人

応募総数 196点

出品点数(入選)146点

受賞者一覧

萩大賞 藤笠砂都子/風伯

準大賞 Choi Boram/記録

岩国美術館賞 酒井博司/藍色志野花器

優秀賞(3点)

飯沼耕市/銀彩四角鉢

神田和弘/集

Lee Soyoung/Inner child - Bandage Ribbon

審査員特別賞(3点)

岩崎真理子/CHA-NO-YU(ちゃのゆ)

鬼丸尚幸/青白磁面取鉢

森野清和/ものI

佳作(8点)

井上康徳/白磁刻文三角形鉢



今田拓志/たねの器
神田樹里/回帰
清水剛/セツ器
中島大輔/ANIMA(あにま)
宮島正志/遼遥
山口重信/粉青渦文盤 [宇宙のリズム]
Lee Haejin/Still Life

審査員

金子賢治氏(東京国立近代美術館 工芸課長)
榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館 館長)
石崎泰之(当館 学芸課長)

関連行事

- 表彰式 12月18日(土) 15:00～
場所:本館エントランスホール
- 講評会 12月18日(土) 15:30～
場所:本館2階第6,5,4,3展示室
- 記念講演会「陶芸公募展今昔と、その功罪」
日時:12月19日(日) 13:00～14:30 講座室
講師:榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館 館長)
- 陶と花のコラボレーション
日時:12月25日(土)～平成23(2011)年1月3日(月) 9:00～17:00
会場:旧久保田家住宅
- 萩茶碗による呈茶席 各回 11:00～15:00
日時:平成23(2011)年1月8日(土)表千家萩千萩会,1月9日(日)裏千家淡交会萩支部
会場:本館1階ロビー
- 陶芸ワークショップ「大切な人のためにつくる器」
日時:平成23(2011)年1月8日(土) 10:30～12:00
講師:船崎透氏(陶芸家)
場所:陶芸館多目的室
- 第2回ソレッチャ・レシピコンテスト
～萩焼に飾ってみたい、やまぐちの食材(まぐろ編)
日時:平成23(2011)年1月16日(日) 15:00～
場所:本館 喫茶 hana
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00
- 関連企画展示 娑婆羅-祝宴の器 東アジア現代陶芸作家交流展
日時:12月18日(土)～平成23(2011)年1月16日(日)
会場:陶芸館第8展示室

平成 23 年度(2011 年度)

ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家 ルーシー・リー展

ルーシー・リー(1902~1995)は、バーナード・リーチに代表される初期スタジオ・ポタリーの作家達が活躍した 20 世紀の英国陶芸界のなかで形体と色彩や装飾とが一体となった、しとやかでありながら凛とした存在感をしめす作品を生み出しました。本展は当時の先鋭的な建築やデザインの思潮とも響きあう独自の様式を確立した陶芸家、ルーシー・リーが制作のなかで見出した創造の喜びを鮮やかに伝える陶芸作品約 200 点を紹介します。

主催 ルーシー・リー展萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tys テレビ山口)、日本経済新聞社
企画 東京国立近代美術館
後援 プリティッシュ・カウンシル、萩市
協力 日本航空
助成 大和日英基金

会期 4 月 29 日(祝・金)~6 月 26 日(日) 52 日間
会場 本館 1,2 階第 6,5,4,3,2,1 展示室
出品点数 280 点
観覧者数 14,642 人



- 記念講演会①「工芸とモダンデザイン：ルーシー・リーの時代」
日時：4 月 29 日(祝・金) 13:30~15:00 講座室
講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長)
- 記念講演会②「ルーシー・リーの釉薬の秘密を紐解く - 制作実演とともに - 」
日時：5 月 3 日(祝・火) 10:30~12:00 講座室
講師：小山耕一氏(陶芸家)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00~12:00

駒井哲郎 1920-1976

戦後日本の銅版画のパイオニアとして表現の可能性を切り開き、また後進を育成して銅版画というジャンルを定着させた、駒井哲郎(1920～1976)の回顧展です。駒井は、見えるものを描いて、見えない心の内を表現することを追い求め、それを鋭い感性と熟達した技術によって銅版画へと移し変えることに成功した才能豊かな芸術家でした。本展は、都会的で端正な抒情性を示す、駒井版画の千変万化の魅力に富んだ表現世界を紹介します。

主催 駒井哲郎 1920-1976 展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tys テレビ山口)

後援 萩市

協力 エフエム山口

協賛 資生堂

会期 7月5日(火)～8月7日(日) 29日間
第1部 7月5日(火)～7月18日(祝・月)
第2部 7月21日(木)～8月7日(日)

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 349点

観覧者数 2,575人



イベント

○記念講演会「駒井哲郎 福原コレクションについて」

日時：7月9日(土) 14:00～15:30 講座室

講師：清水真砂氏(世田谷美術館 学芸部長)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

古陶の譜 中世のやきもの-六古窯とその周辺-

五穀を蓄えたり水を溜めたりして、人々の生活を支えた壺や甕。その造形の力強さと素朴さが中世のやきものの大きな魅力です。荒々しい土肌、流れるような自然釉をまとう姿は、たくましくしなやかに生きた当時の人々の豊かな生命力を宿すようです。本展は、六古窯とよばれる瀬戸・常滑・越前・信楽・丹波・備前を中心に、美濃や珠洲など各地の古陶を広く紹介し、中世のやきものの全体像に迫ります。

主催 「中世のやきもの展」 萩実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、KRY山口放送)、
「中世のやきもの展」 開催実行委員会

後援 萩市

会期 8月13日(土)～9月25日(日) 39日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 168点

観覧者数 3,952人



関連行事

○記念講演会 「中世のやきもの-六古窯とその周辺-」

日時：8月13日(土) 13:30～15:00

講師：井上喜久男氏(陶磁研究家)

○ワークショップ 「七輪でミニやきものをつくろう！」

日時：成形 8月20日(土) 9:00～12:00

焼成 8月27日(土) 9:30～14:00

場所：山口県立萩美術館・浦上記念館

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

開館 15 周年記念 浮世絵名品 300 選

当館は平成 8 年(1996)の開館から 15 周年を迎えました。これを記念して、収蔵する浮世絵版画約 5,200 点の中から厳選した、名品 300 点を半数ずつ二期に分けて展覧します。展示構成は、当館設立の契機となった浦上敏朗氏の寄贈品を中心に、1)初期浮世絵、2)錦絵創始期、3)黄金時代、4)後期浮世絵、5)幕末・明治という、5つの時代区分でわかりやすく紹介します。この機会に浮世絵版画の精華を心行くまでご堪能ください。

主催 浮世絵名品 300 選実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab 山口朝日放送)

後援 萩市
協力 エフエム山口
協賛 Cross Land

会期 10月1日(土)～11月27日(日) 51日間
前期 10月1日(土)～10月30日(日)
後期 11月1日(火)～11月27日(日)

会場 本館 2,1 階第 6,5,4,3,2,1 展示室
出品点数 300 点
観覧者数 10,355 人



関連行事

○記念講演会①「浮世絵のあれこれ - 保存・摺・色・赤絵のヒストリー」

日時：10月1日(土) 13:30～15:00

講師：鈴木浩平(当館 学芸専門監)

○記念講演会②「最新の写楽研究について」

日時：11月5日(土) 13:30～15:00

講師：浅野秀剛氏(大和文華館 館長)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

イタリア・ファエンツァが育んだ色彩の魔術師 ゲッリーノ・トラモンティ展

イタリア・ファエンツァ市出身のゲッリーノ・トラモンティ(1915～1992)は、初期にはテラコッタによる彫刻を手掛け、やがて陶芸に、そして絵画の領域でも活躍した、天与の表現者でした。本展はその活動のすべてを日本で初めて紹介する展覧会です。独特な色彩感覚を、陶芸家としてフォルムと釉調の融合に、また画家として豊かな詩的想像力の寓意などに発揮した、トラモンティの表現世界を彫刻・陶芸・絵画など約 140 点の作品で紹介します。

主催 「ゲッリーノ・トラモンティ展」 萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、
KRY 山口放送)、ファエンツァ市、ゲッリーノ・
トラモンティ財団、NHK プラネット中国)

後援 萩市、イタリア文化省、イタリア外務省、イタリア
議会下院、ラヴェンナ県、ラヴェンナ商工会議所、
イタリア大使館、イタリア文化会館

協力 CEVICO、GNUDI、VILLA

会期 12月10日(土)～平成24(2012)年2月12日(日)
52日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 153点

観覧者数 4,881人



イベント

○記念講演会「ゲッリーノ・トラモンティの創作活動について」

日時：12月10日(土) 13:30～15:00

講師：唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館 工芸課長)

○ミュージアム・コンサート

Listen to the Museum Jazz Night for Tramonti

出演：Ai(ヴォーカル),近藤タケユキ(サクソ),岡田渉子(ピアノ)

協力：village

日時：12月10日(土) 19:30～

会場：当館喫茶 hana

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

12月11日(日),1月2日(月・振替休日),22日(日),2月12日(日)

各日ともに 11:00～12:00,14:00～15:00

平成 24 年度(2012 年度)

アール・デコ 光のエレガンス

1920 年代に一般家庭にも普及した電気照明は、直線と立体の知的な構成を特色とするアール・デコ様式と出会い、新たなラグジュアリーを確立しました。本展は、ラリックやドームなどによるデザイン性豊かな照明器具を中心に、アール・デコの芸術的空間演出を紹介します。電灯の光を、優れた美的感覚によって潤いのある日常生活のもとへと創りあげた、20 世紀初頭の知恵とセンスに出会う新しい体験です。

主催 アール・デコ展萩実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tys テレビ山口)

後援 フランス大使館、ドイツ連邦共和国総領事館、萩市
協力 エフエム山口

会期 4 月 28 日(土)～6 月 17 日(日) 45 日間

会場 本館 2 階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 114 点

観覧者数 10,015 人



関連行事

○記念講演会①「アール・デコ、あるいはマチエールの誘惑」

日時：4 月 28 日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：池田まゆみ氏(美術工芸史家)

○記念講演会②「日本におけるアール・デコ期の漆芸」

日時：5 月 19 日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：室瀬和美氏(漆芸家、重要無形文化財「蒔絵」の保持者)

○ワークショップ「作って！使って！ステンドグラスでランプ！」

日時：4 月 29 日(祝・日),30 日(月・振替休日)

午前の部：10:00～12:00 午後の部：13:00～15:00

場所：本館エントランスホール

講師：中村和子氏(ステンドグラス工房ゆとりろ主宰)

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00,14:00～15:00

日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展

中国・浙江省龍泉窯青磁は、鎌倉時代代以来、日本人を魅了してきた中国陶磁です。「砧青磁」「天龍寺青磁」の名でも愛されてきました。また近年、明代初期に宮廷用の青磁を焼いた楓洞岩窯址が発見されました。本展では、国宝や重要文化財を含む名品と、楓洞岩窯址出土品を併せて展覧し、龍泉窯青磁の美の世界へ誘います。

主催 龍泉窯青磁展開催実行委員会、龍泉窯青磁展萩実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab山口朝日放送)

特別協力 浙江省文物考古研究所、浙江省博物館、
龍泉青瓷博物館

協力 エフエム山口

後援 萩市

会期 6月23日(土)～8月26日(日) 58日間

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 200点

観覧者数 5,622人



○記念講演会①「日本人の愛した中国陶磁」

日時：6月23日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：森達也氏(愛知県陶磁資料館 主任学芸員)

○記念講演会②「龍泉窯の青磁を紐解く：製作実演を通して」

日時：8月11日(土) 13:30～15:00 講座室

講師：小山耕一氏(陶芸家)

○中国茶の王様を楽しむ会

日時：6月24日(日),7月15日(日),8月19日(日) 14:00～15:00

場所：陶芸館多目的室

講師：武谷哲宏氏(中国茶芸館 清風茶房)、林利志枝氏(林太太茶館)

○タッチ&トーク 龍泉窯青磁に触れてみよう！

(担当学芸員による作品解説&龍泉窯青磁を直接触れる機会)

日時：7月4日(水),11日(水),8月8日(水) 14:00～15:00

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

清親と安治－光線画の時代

明治の浮世絵師、小林清親(1847～1915)と弟子の井上安治(1864～1889)は、西洋の合理的な視点で光と陰を表現する風景版画「光線画」によりその名を知られています。本展は清親の代表作「東京名所図」と安治の代表作「東京真画名所図解」をはじめ、清親の肉筆画、清親晩年のスケッチ帖など約 200 点をご紹介します。

主催 清親と安治展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売聞社、KRY 山口放送)
後援 萩市、山口県教育委員会

会期 9月8日(土)～10月8日(祝・月) 28日間
会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室
出品点数 173 点
観覧者数 3,314 人



関連行事

- 記念講演会 「『洋風画』が面白かった 100 年 - 司馬江漢から清親、安治まで」
日時：9月8日(土) 13:30～15:00
講師：金子信久氏 (府中市美術館 学芸員)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

古萩—江戸の美意識—

「一楽、二萩、三唐津」と謳われ、茶の湯の具足としてひとときわ声価の高い萩焼は、17世紀初期に毛利藩の御用窯としてはじまりました。主に御遺物とされる目的で、藩政のもとに製作された古萩(江戸時代の萩焼)の茶碗は、桃山の侘び数寄の理念をつなぐ造形としてのイメージを定着させてきました。本展は伝世する古萩茶碗の多様な造形をとおして、江戸時代における美意識の変遷を展望します。

主催 古萩展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab山口朝日放送)

後援 山口県教育委員会、萩市、萩陶芸家協会、
公益社団法人日本工芸会山口支部、
公益社団法人日本工芸会西部支部

協力 エフエム山口

会期 10月20日(土)～12月9日(日) 44日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 160点

観覧者数 6,061人



関連行事

- 記念講演会 「茶の湯における萩焼の受容」
日時：10月21日(日) 13:00～14:30 講座室
講師：谷晃氏(野村美術館 館長、茶の湯文化学会 会長)
- 連続講座
 - ①「古萩観について」
日時：11月11日(日) 13:30～14:30
講師：石崎泰之(当館 学芸課長)
 - ②「萩焼はどこで、だれが使ったの?!」
日時：11月18日(日) 13:30～14:30
講師：徳留大輔(当館 専門学芸員)
 - ③「萩焼の生産」
日時：11月25日(日) 13:30～14:30
講師：市来真澄(当館 専門学芸員)
- 呈茶席 いずれも、10:00～15:00
日時：10月27日(土),10月28日(日)(表千家萩干萩会)
11月10日(土),11月11日(日)(茶道裏千家淡交会萩支部)
場所：本館 1階ロビー(スロープ下)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
日時：10月20日(土),28日(日),11月4日(日),12月2日(日),9日(日)
各回 13:30～14:30

平成 25 年度(2013 年度)

萩陶芸家協会設立 20 周年記念 萩の陶芸家たち展

わが国の陶芸を代表する「萩焼」は、萩の歴史、茶道の隆盛とともに発展を遂げ、今日までその伝統、技法は脈々と受け継がれています。

本展は、萩陶芸家協会の設立 20 周年を記念して、加盟作家の出品による伝統の茶陶や花器、芸術性豊かなオブジェなどの作品を一堂に展覧します。

主催 萩の陶芸家たち展開催実行委員会

(萩陶芸家協会、萩市文化協会、萩市、山口県立萩美術館・
浦上記念館、萩市観光協会)

協力 裏千家淡交会萩支部、遠州流萩支部、表千家萩千萩会、
小堀遠州流萩支部、萩陶芸家協会賛助会

後援 中国経済産業局、山口県、萩商工会議所、朝日新聞社、
株式会社共同通信社、産経新聞社、時事通信社山口支局、
中国新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社山口支局、
毎日新聞社、山口新聞社、読売新聞社、NHK 山口放送
局、

KRY 山口放送、tys テレビ山口、yab 山口朝日放送、
萩ケーブルネットワーク、エフエム山口、エフエム萩



会期 4月6日(土)～5月19日(日) 40日間

会場 本館 2階第 6,5,4,3 展示室

出品点数 107 点

観覧者数 3,389 人

関連行事

○記念座談会：4月5日(金)16:00～17:00 講座室

(講師) 唐澤昌宏氏(東京国立近代美術館工芸館 工芸課長)

徳留大輔(当館 専門学芸員)

外館和子氏(美術評論家)

○お抹茶席(出品作家の茶碗を使った呈茶席)

4月7日(日)表千家萩千萩会 4月14日(日)小堀遠州流萩支部

4月21日(日)裏千家淡交会萩支部 5月12日(日)萩陶芸家協会賛助会

5月19日(日)遠州流萩支部

山口県・山東省友好協定締結 30 周年記念 黄河と泰山展-中華文明の源と世界遺産-

山東省のみならず中国を代表する自然と文化の象徴である世界遺産の泰山と黄河の恵みによって育まれた中華文明の一翼を担ってきた山東省の悠久の歴史と魅力を、近年の新発見の文物を含む約 80 件の作品から展覧します。

主催 黄河と泰山展実行委員会、山東省文物局、
黄河と泰山展菽展実行委員会
(山口県立菽美術館・浦上記念館、毎日新聞社、
tysテレビ山口)
後援 山口県教育委員会、萩市、
(公財)山口県国際交流協会、山口県日中友好協会
協力 山東博物館、エフエム山口

会期 6月29日(土)～8月25日(日) 53日間
会場 本館2階第6,5,4,3展示室
出品点数 84点
観覧者数 4,936人



関連行事

- 記念講演会「黄河文明と世界遺産“泰山”の魅力」
日時：6月29日(土)10:30～12:00
講師：楊波氏(山東博物館 副館長)
- ミュージアム・コンサート「二胡の奏で」本館エントランスホール
日時：7月27日 ①13:00～13:30 ②15:00～15:30
演奏：王丹氏(王丹二胡アカデミー)とその仲間たち
- 中国茶教室
日時：6月30日(日),7月21日(日),8月18日(日) 各回 14:00～
講師：武谷哲宏氏(中国茶芸館清風茶房)、林利志枝氏(林太太茶館)
- タッチ&トーク「肌で感じる山東省ー山東に関する文物を触っちゃおう！」
日時：7月10日(水),24日(水),8月13日(火),21日(水)
各回 14:00～
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
日時：7月21日(日),28日(日),8月11日(日),18日(日),25日(日)
各回 11:00～12:00

大和保男の陶芸-魂の造形-

大和保男は、1933年山口市に生まれ、10歳から家業の手伝いで作陶の道に入りました。以来、伝統的な萩焼の茶陶から現代建築家とコラボレーションした陶壁にいたるまで、制作領域を広範に展開してきました。本展は、現代感覚で萩焼に独自の芸術性を追求し続けてきた、このエネルギッシュな作家の70年におよぶ作陶生活を集大成する回顧展であると同時に、洗練された表現技法でその美的感性を萩焼の伝統素材に映し出した気鋭の新作を発表します。

主催 大和保男展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、
yab山口朝日放送)
後援 山口県教育委員会、公益財団法人日本工芸会
山口支部、萩市、萩陶芸家協会
協力 エフエム山口

会期 9月3日(火)～9月29日(日) 26日間
会場 本館 2階第6,5,4,3展示室
出品点数 60点
観覧者数 3,265人



関連行事

- 記念講演会「ピカソ的女性跪坐像から成熟の陶管へ」
日時：9月21日(土)14:00～15:30 講座室
講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長)
- 「大和保男さんの茶碗で愉しむ」呈茶席 10:00～15:00 本館 1階ロビー
日時：9月21日(土),22日(日)表千家萩地区青年部
9月28日(土),29日(日)茶道裏千家淡交会萩支部青年部
- アーティストトーク(大和保男さんと担当学芸員の展示解説)
毎週日曜日 11:00～12:00

フランス印象派の陶磁器 ジャポニスムの成熟 1866-1886

19世紀後半のフランスで、印象派の画家たちがルネサンス以降の伝統や古典主義から脱して、キャンパスの上で果敢に新たな絵画へ挑んだように、陶芸の世界においても伝統と決別した主題に取り組み、新しい技術やジャポニスムからの発想を生かすなど、近代性を取り入れた革新的な陶磁器が作られました。本展は印象派時代の陶磁器を系統的に紹介する日本で初めての機会です。

主催 印象派陶磁器展実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、
KRY山口放送)
後援 フランス大使館、山口県教育委員会、萩市、
山口日仏協会
協力 エアーフランス
企画協力 アートインプレッション

会期 10月8日(火)～11月24日(日) 44日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 145点

観覧者数 5,158人



関連行事

○記念講演会「フランス印象派の陶磁器～日本の美がフランスの陶磁器が彩った！」

日時：10月12日(土) 14:00～15:30 講座室

講師：三浦弘子氏(滋賀県立陶芸の森陶芸館 主任学芸員)

○記念講演会「ジャポニスムの一断面-ルソーの食器と日本版画-」

日時：10月26日(土) 14:00～15:30 講座室

講師：大久保純一氏(国立歴史民俗博物館 教授)

○Salon de the dans le Musee(サロン・ド・テ・ダン・ル・ミュゼ)

アピランド社〈マダムルソワ〉の碗皿でフランス茶菓を愉しむ午後のひととき

日時：11月2日(土),23日(祝・土) 14:00～15:30

講師：木原純子氏(ティーアドバイザー)

会場：陶芸館多目的室

○チェロコンサート

日時：11月9日(土) 11:00～12:00

出演：田中雅弘氏(東京都交響楽団首席チェロ演者)

会場：エントランスロビー

○クラシック音楽講座～フランス印象派の名曲巡り

日時：11月16日(土) 14:00～15:30

出演：重杉彰氏(音楽イベントプロデューサー)

会場：講座室

○ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)

毎週日曜日 11:00～12:00

現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ

萩焼 400 年の歴史を有する本県の文化資源である陶芸領域の一層の振興と発展を目的に、全国公募された作品の第 3 回目の選抜展である『現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ』を開催します。国内外から応募された作品のうち、二次にわたる厳正な審査を通過した作品が展示されます。「現在形」の陶芸が示す造形表現の歴史性や先端性を感じていただけると存じます。

- 主催 現在形の陶芸萩大賞展Ⅲ実行委員会
(山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会)
- 後援 朝日新聞社、共同通信社、産経新聞社、時事通信社山口支局、中国新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社山口支局、毎日新聞社、山口新聞社、読売新聞社、KRY 山口放送、tys テレビ山口、yab 山口朝日放送、NHK 山口放送局、萩ケーブルネットワーク、エフエム萩
- 助成 カシワバラコーポレーション
- 特別協力 エフエム山口



- 会期 平成 26(2014)年 1 月 2 日(木)～2 月 2 日(日) 29 日間
- 会場 本館 2 階第 6,5,4,3 展示室
- 出品点数 98 点
- 観覧者数 1,550 人

- 応募総数 130 点
- 出品点数(入選)98 点
- 受賞者一覧
- 萩大賞 佐藤典克/縷器
- 準大賞 鬼丸尚幸/青白磁面取鉢「峰」
- 岩国美術館賞 富川秋子/氷青釉輪花組鉢
- 優秀賞(3点)
- 清水一二/吹泥金彩線文十角器
- 森山寛二郎/切り継ぎ一廻一
- Seok Changwon/SELF-PORTRAIT
- 審査員特別賞(3点)
- 坂倉善右衛門/フェイク
- 止原理美/月夜の巖流島
- 古川巻/若香

- 佳作(12点)
- 樋口邦春/青白磁鉢「潮流」
- 宮島正志/遼遥

村尾一哉/白泥器
藤井謙次/炭化象嵌釉彩鉢
山路和夫/剪紙段替り文様食籠(綿帽子)
保立剛/彩陶象嵌鉢
三浦義広/流転
梅澤幸子/透光磁練上茶碗「あさのは」
仲岡信人/宙
小川浩延/萩泥彩紋花器
田中陽子/空のかけら
吉田幸央/金襴手彩色花器

審査員

金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長、多治見市美濃焼ミュージアム 館長)
榎本徹氏(岐阜県現代陶芸美術館 館長)
石崎泰之(当館 学芸専門監兼学芸課長)

関連行事

- 記念講演会「現代陶芸の変貌—「平成 10 年代様式」と以降」
日時：1 月 12 日(日) 10:30~12:00 講座室
講師：金子賢治氏(茨城県陶芸美術館 館長、多治見市美濃焼ミュージアム 館長)
- 陶と花のコラボレーション
日時：平成 26(2014)年 1 月 8 日(水)~1 月 14 日(火)
場所：旧久保田家住宅(萩市呉服町)
- ギャラリーツアー(学芸員による展示解説)
日時：平成 26(2014)年 1 月 5 日(日),19 日(日),2 月 2 日(日)

Ⅱ > 1 > (2)小企画展示

平成 19 年度(2007 年度)

明治の浮世絵

豊原国周、落合芳幾、月岡芳年、三代歌川広重、小林清親、楊洲周延、河鍋暁斎など、幕末の動乱期を行き抜き、新時代の明治で活躍した絵師たちの作品を選び、文明開化絵、美人画、役者絵、風景画、稗史絵、戯画などのジャンルごとに紹介。

会期 12月15日(土)～平成20(2008)年3月2日(日) 57日間

前期 12月15日(土)～平成20(2008)年1月27日(日)

後期 平成20(2008)年1月29日(土)～3月2日(日)

会場 本館1階第1,2展示室

出品点数 前期52点 後期52点

○ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時：12月22日,平成20(2008)年1月12日,26日,2月9日,23日
いずれも土曜日。11:00～12:00

萩陶芸の伝統 - 継承と革新

近世初期の開窯以来、綿々と400年の時を紡いできた萩の作陶活動。朝鮮半島由来の陶技と固有の素材を継承しながら、間断なく独特の造形表現を志向し続けてきた萩陶芸の伝統を、江戸時代からの伝世品や現代作家の作品で紹介。

会期 平成20(2008)年1月22日(月)～3月2日(日) 36日間

会場 本館2階第6,5,4,3展示室

出品点数 71点

○ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時：平成20(2008)年2月2日,16日,3月1日
いずれも土曜日。11:00～12:00



平成 25 年度(2013 年度)

特集展示 追悼 三輪壽雪

2012 年 12 月に 102 歳で逝去された萩焼の人間国宝、三輪壽雪さん。わが国古典芸能の一つである茶の湯と陶磁工芸の技術が融合した茶陶の造形に、近代的な意味で、初めて豊かな芸術性をもたらした偉大な表現者として評価されてきました。その壽雪さんを追悼して、壽雪さんの作品を紹介。

会期 6 月 29 日(土)～11 月 10 日(日) 121 日間

会場 陶芸館 2 階第 8 展示室

出品点数 40 点



○ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日時：8 月 24 日, 11 月 9 日

いずれも土曜日。11:00～12:00

Ⅱ > 1 > (3) 平常展示(平成 21 年度より普通展示と改称)

浮世絵展示

平成 19 年度

歌麿とその時代

展示期間 平成 19(2007)年 4 月 14 日(土)～5 月 13 日(日) 展示室 1

喜多川歌麿は美人画の大家として世界的に知られている絵師です。とくに寛政期(1789～1800)に入って、顔や半身だけを描いた大首絵という様式を用いた作品で人気を得て、たびたび禁止令の出された美人画界にあって一世を風靡します。その人気は文化 3 年(1806)に亡くなるまで衰えず、数多くの歌麿美人を世に送り出したのです。今回は収蔵品のなかから歌麿の作品を中心に、同時代に活躍した春潮、春山、栄之、豊国、長喜などの作品も合わせて紹介します。



江戸の娯楽

展示期間 平成 19(2007)年 5 月 15 日(火)～6 月 17 日(日) 展示室 1

江戸時代の娯楽といえば、江戸の文化を担ってきた歌舞伎、吉原などの遊郭、相撲などがあります。さらには、四季の名所への物見遊山、月々に訪れる寺社詣で、両国花火、祭礼や神楽、見世物など、広い意味での娯楽をとらえてみると、江戸の人々は四季折々いろいろな場所で、さまざまな娯楽を楽しんでいたといえます。今回、広重作品を中心に、豊国や国芳、北斎などの作品を含めて、風俗の視点から娯楽に関して描かれた浮世絵を選んでご紹介します。



子は宝 浮世絵の母子像

展示期間 平成 19(2007)年 10 月 17 日(水)～11 月 11 日(日) 展示室 1

江戸時代、子どもは神様からの授かり物として、おおらかにそして大切に育てられました。浮世絵の人物画といえば役者絵、美人画がほとんどですが、市井の風俗を描いた美人画には子どもが多く登場します。この展覧会では、喜多川歌麿、歌川国芳、鈴木春信、石川豊雅などの作品により、母が子に愛情を注ぐ情景を描いた母子図のほか、子どもの遊び・学習のために制作されたおもちゃ絵、また、子どもたちの遊ぶ様子を描いた浮世絵を紹介します。



浮世絵の歴史

展示期間 平成 19(2007)年 11 月 13 日(火)～12 月 6 日(木) 展示室 1

浮世絵版画は、墨一色による一回摺りという最も基本的な技法で作られた「墨摺絵」にはじまります。シンプルで力強い墨色の線には、素朴な味わいがありますが、色彩への要求は自然に高まったと見え、墨摺絵に手作業で彩色を施す筆彩色が早くから行われました。筆彩色を施した作品は、主に用いられた色料により名称が異なります。元禄年間(1688～1704)後半に登場する、酸化鉛を用いた「丹絵」。享保年間(1716～36)頃から植物性の紅を用いた「紅絵」、膠を含み光沢のある墨を用いた「漆絵」が行われました。寛保 2 年(1742)頃から、版木によって 2～3 色を彩色する「紅摺絵」が登場し、明和 2 年(1765)には版木で自在に色を彩色した「錦絵」が創始されました。錦絵以降、江戸時代後半にかけて、個性的な浮世絵師が続々と登場



し、彫摺の技術革新と共に、時代の美意識をうつした多彩な表現を展開していきました。

平成 20 年度

夏の美人たち

展示期間 平成 20(2008)年 5 月 27 日(火)～6 月 22 日(日) 展示室 1

浮世絵の美人画は、遊女や芸者、水茶屋の評判娘など、実在した女性が描かれている場合もありますが、日常生活のなかで輝く女性の美しさをとらえたり、あるいはこの世のものとは思えないほど理想化された美人像で描かれたりと、実にさまざまな作品があります。

今回は浴衣姿で夕涼みにくつろぐ姿や夕立での情景など、夏にみられる美人たちの風情をテーマに、歌川国貞、国芳、広重、楊洲周延、伊東深水など、代表的な浮世絵師が描きのこした江戸中期から昭和初期にいたる美人画の作品を紹介します。

浮世絵鑑賞
夏の美人たち



浮世絵師 歌川国貞
美人画 浴衣姿の美人

浮世絵鑑賞
妖怪絵



浮世絵師 歌川国貞
妖怪絵 幽霊

妖怪絵

展示期間 平成 20(2008)年 6 月 24 日(火)～7 月 13 日(日) 展示室 1

亡くなった人がこの世への執着から化けて出るのが幽霊、人知を超えた化け物が妖怪。幽霊や妖怪、人に化ける狐や狸などを描いた浮世絵を妖怪絵と呼びます。伝説や昔話に取材した作品では、英雄と闘い、退治されるおどろおどろしい妖怪が描かれています。また、江戸時代の怪談物の芝居から取材した作品では、かっこよく見栄を切る役者を取りまく気色悪い幽霊が、実はとぼけたユーモアで描かれたりしていて愉快です。日本の夏の風物詩、幽霊と妖怪の世界をお楽しみください。

平成 21 年度

源平の武者絵

展示期間 平成 21(2009)年 5 月 2 日(土)～5 月 31 日(日) 展示室 1

『平家物語』をはじめ、『源平盛衰記』『義経記』など平安後期の源氏と平家の興亡を描いた軍記物語は、江戸時代には浄瑠璃、歌舞伎などに好んで取り入れられ、上演されました。浮世絵では、幕末から明治期に歴史上のヒーローを描く武者絵が流行し、源平合戦図の他、義経や弁慶の五条橋でのやりとり、弓矢の名手・源為朝(鎮西八郎)など、源氏の武将の勇姿を描いた作品が多数制作されています。本展では、源平物に焦点を絞り、武者絵を得意とした国芳、芳年の作品を中心に、広重等の作品を交えて紹介します。

浮世絵鑑賞
源平の武者絵



浮世絵師 歌川国貞
源平の武者絵 源平合戦

豊原国周の役者絵

展示期間 平成 21(2009)年 6 月 2 日(火)～6 月 21 日(日) 展示室 1

豊原国周は、浮世絵の衰退期にあたる明治に活躍した浮世絵師で、小林清親、月岡芳年とともに「最後の浮世絵師」と称されます。文明開化による急速な社会変動に伴い、浮世絵も新時代の趣向に対応していく中、国周は最後まで伝統的な江戸の浮世絵様式を描き続けました。とくに、画面いっぱいに

浮世絵鑑賞
豊原国周の役者絵



浮世絵師 豊原国周
役者絵 豊原国周の役者絵

描かれた、迫力ある役者大首絵は人気を博し、「明治の写楽」と評されました。今回は明治初期の大首絵を中心に、大判3枚続の作品も紹介します。

後期浮世絵の美人画

展示期間 平成21(2009)年7月4日(土)～8月2日(日) 展示室1

浮世絵では、江戸時代の文化(1804～1817)から幕末までのおよそ60年間を後期浮世絵の時代と呼んでいます。北斎や広重、国芳の活躍で風景画や花鳥画、武者絵などがジャンルとして大成され、役者絵や美人画は爛熟期に至り、典型化されながらも多様な表現が見られるようになります。今回は美人画に焦点をあて、菊川派の英山、英泉、歌川派の国貞、国芳、広重などが描いた江戸後期の婀娜っぽい美人の姿を紹介します。



小林清親の世界

展示期間 平成21(2009)年8月4日(火)～8月23日(日) 展示室1

明治の浮世絵師、小林清親(1847～1915)は、文明開化後から本格的に移入された油彩画や銅版画、石版画といった西洋絵画の表現や技法を倣い、従来の浮世絵にはない独自の画風を築きました。その後、歌川広重の作品を思わせる風景画、歴史を主題とする作品など、伝統的な浮世絵版画の表現へと画風を転向しました。今回の展示では、江戸情緒が残る東京の開化風景を、光と影の変化を細やかに捉えて描いた「光線画」、油彩画の質感の表現を木版画で試みた花鳥・静物版画を中心に、清親の多彩な画業を紹介します。



相撲絵

展示期間 平成21年(2009)8月29日(土)～10月12日(祝・火) 展示室1

*会期中、9月29日(火)より一部展示替え。

江戸の人々には、相撲は歌舞伎とともに人気の高い娯楽でした。相撲を題材とした浮世絵は、素朴な初期浮世絵にはじまり、錦絵の時代にジャンルとして確立しました。特に勝川派、菊川派、歌川派などの絵師によって、力士の化粧回し姿、土俵入り、取組、支度部屋や場所風景などを描いた作品が残されています。今回は相撲絵の歴史をたどりながら、相撲にちなんだ伝説上の豪傑や、子供力士、萩藩お抱え力士の阿武松緑之助、越ヶ浜岩五郎、菊ヶ浜勝蔵などを描いた作品も紹介します。



月岡芳年 月百姿1～3

展示期間 1 平成21年(2009)12月19日(土)～平成22(2010)年1月24日(日)
展示室1

展示期間 2 平成22年(2010)1月26日(火)～2月21日(日) 展示室1

展示期間 3 平成22年(2010)2月23日(火)～3月22日(月) 展示室1

芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。とくに幕末から明治にかけての政情不安を意識させる残酷絵や西洋の合理的精神に基づいた写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独特の世界といえます。

「月百姿」は晩年の代表作の一つで、明治18年(1885)から同25年(1892)にかけて版行された百枚の大作です。日本や中国の物語、謡曲、稗史、逸話などから題材を得て、月のさまざまな姿を表現しています。





平成 22 年度 春景色

展示期間 平成 22(2010)年 4 月 3 日(土)～4 月 25 日(日) 展示室 1

旧暦の春は 1 月から 3 月です。古くから四季を通じて祭礼や名所巡り、花見などが楽しめましたが、浮世絵にも江戸の市民が親しんだ春の行事や景色が描かれています。天保期に風景画が流行すると、諸国の名所風景が描かれ、花に彩られた各地の春景色も主題になりました。今回は歌川広重の作品を中心に、春の訪れを寿ぐ浮世絵をご紹介します。



月岡芳年 新形三十六怪撰

展示期間 平成 22(2010)年 4 月 27 日(火)～5 月 30 日(日) 展示室 1

月岡芳年は歌川国芳の門人で、浮世絵が終焉を迎える明治時代に活躍したことから、最後の浮世絵師といわれています。「新形三十六怪撰」は伝説や謡曲、歴史譚などから題材を得た古今の妖怪や幽霊を描いたシリーズで、明治 22 年(1889)から 25 年(1892)にかけて制作された芳年最晩年の代表作です。繊細な写実的表現がより静かな妖気を醸し出しています。今回は 36 図に目録を加えたシリーズ全作品を紹介します。



浮世絵に描かれた富士の景

展示期間 平成 22(2010)年 8 月 19 日(木)～9 月 5 日(日) 展示室 1

江戸の町からは富士山がよく見え、江戸の人々にとって、富士山は憧れと信仰の対象でもありました。そうした背景をもとに版行されたのが葛飾北斎の「富嶽三十六景」であり、日本の風景版画の代表作として知られています。浮世絵のなかには、北斎にかぎらず、多くの浮世絵師が美人画や物語絵などにも富士山を描いています。

今回はとくに富士山の壮大さが感じられる風景画から、北斎の「富嶽三十六景」を初めとして、歌川広重の晩年の作品である「富士三十六景」や「名所江戸百景」、二代歌川豊国や歌川国芳など、富士山を描いた作品を紹介し



街道絵の世界

展示期間 平成 22(2010)年 9 月 11 日(土)～10 月 11 日(祝・月)

展示室 1

幕府は江戸日本橋を起点とする道を整備し、主要な幹線として東海道、木曾街道(中山道)、奥州道、日光道、甲州道を五街道と定め、脇街道も設けました。諸大名の参勤交代[さんきんこうたい]によって街道の機能が発達し、公用ではない一般庶民の往来も活発になりました。天保期には、お伊勢参り



に代表される寺社参詣や名所旧跡巡りなどを目的にする旅行が大流行し、浮世絵では街道や宿駅を題材にした風景画が描かれるようになります。今回の展示では、東海道と木曾街道を主題にする作品をご紹介します。

武者絵

展示期間 平成22(2010)年10月13日(水)～11月21日(日) 展示室1

江戸時代、歴史上の武者や豪傑たちは、読本や歌舞伎に脚色され人気を博しました。浮世絵では、文学に登場する想像上の英雄なども含めて絵画化され、武者絵としてひとつのジャンルを形成するほど多数制作されました。今回の展示では、「牛若丸と弁慶」「南総里見八犬伝」「西遊記」「三国志」「水滸伝」「大内義隆」「毛利元就」などのコーナーを設け、江戸時代末に武者絵で成功を収めた歌川国芳と、明治期にその流れを汲んだ月岡芳年の作品を中心に、武者絵の世界を紹介します。



忠臣蔵

展示期間 平成22(2010)年11月23日(祝・火)～12月26日(日) 展示室1

元禄15年(1702)12月14日夜、赤穂浪士が吉良上野介義央の屋敷に討ち入り、主君の赤穂藩主浅野内匠頭長矩の恨みを晴らす仇討ち事件が起こった。浪士の忠義心は人々の共感を呼び、事件を脚色した芝居や文学が作られる。なかでも寛延元年(1748)初演の浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』は、優れた劇構成と人情描写によって大評判となり、歌舞伎にも移され人気演目として定着する。同演目の略称「忠臣蔵」は、一連の事件とそれを主題とする諸作品をさすようになった。浮世絵においても11段からなる「忠臣蔵」の各段を描いた揃物や役者絵、見立絵などが様々な絵師によって描かれている。



尾形月耕の美人画

展示期間 平成23(2011)年1月2日(日)～1月30日(日) 展示室1

尾形月耕は浮世絵の流派と異なり独学で絵を習得して、挿絵画家として人気を博し、新聞や洋装本の挿絵、錦絵や肉筆画などに、美人画や明治の諸相を描いて、明治から大正にかけて活躍した絵師です。

今回は、月耕の作品から「美人花競」「婦人風俗尽」「花美人名所合」「美人名所合」など代表的なシリーズを中心に、明治の人々を魅了した月耕の美人画を紹介します。



落合芳幾の世界 I・II

展示期間 I 平成23(2011)年2月1日(火)～3月6日(日) 展示室1

展示期間 II 平成23(2011)年3月8日(火)～4月3日(日) 展示室1

幕末から明治にかけて政治や文化が激変し、世紀末の混乱と新時代への希望が混在した時代でした。この時代に活躍した浮世絵師、落合芳幾は歌川国芳の門弟で、月岡芳年や豊原国周とともに、明治浮世絵界をリードした絵師の一人に数えられています。芳幾は師の国芳が得意とした戯画や武者絵を描きのこしていますが、新時代の好みを反映した表現にも挑戦しています。明治7年(1874)創刊の「東京日々新聞」に挿図を描き、錦絵新聞の流行のさきがけとなったことは注目されます。



平成 23 年度

月岡芳年 風俗三十二相

展示期間 平成 23(2011)年 4 月 5 日(火)～4 月 24 日(日) 展示室 1

月岡芳年(1839～1892)は、明治時代に活躍した浮世絵師です。『風俗三十二相』は明治 21 年(1888)に刊行された 32 枚のシリーズで、明治 20 年(1887)頃から流行した江戸懐古の風潮を反映し、寛政期から明治の時代風俗で女性を描いた芳年の美人画の代表作です。「三十二相」とは、仏が備えている 32 の優れた身体的特徴をいいますが、本作品では遊女、奥方、娘など様々な階層の女性たちの表情を描き分けています。

豊原国周の美人画

展示期間 平成 23(2011)年 7 月 5 日(火)～7 月 31 日(日) 展示室 1

豊原国周(1835～1900)は、幕末から明治時代に活躍した浮世絵師です。はじめ豊原周信に就いて羽子板押絵の原図を描いたとされ、歌川国貞に入門した後、安政 2 年(1855)頃から国周と署名するようになりました。江戸っ子と伝えられる人柄のとおり、文明開化のさなかにも伝統的な様式の浮世絵を描き続けました。「明治の写楽」と称され、役者絵の評価が高い国周ですが、美人画も数多く手がけています。今回は国周の美人画を取り上げ、初期の作品や代表的な揃物を含む 31 点をご紹介します。

山口県と浮世絵

展示期間 平成 23(2011)年 8 月 2 日(火)～8 月 28 日(日) 展示室 1

浮世絵には山口県に関連した題材を描いた作品が少なからず版行されています。壇ノ浦での源平の合戦、海賊の毛剃九右衛門、錦帯橋などの名所風景、萩藩が抱えた相撲力士たち、さらには木戸孝允、伊藤博文、山県有朋など明治維新の元勳たちなど。今回は武者絵や稗史絵、風景画、相撲絵、明治絵とジャンルに分けて紹介します。

江戸の娯楽

展示期間 平成 23(2011)年 8 月 30 日(火)～9 月 25 日(日) 展示室 1

江戸時代の娯楽は、1 日に千両が費やされる二大悪所といわれた歌舞伎と吉原に代表されます。それぞれにしきたりがあり、一年を通じて様々な催事が行われるなど独特な文化を形成しました。この他にも相撲や両国の川開きと花火、寺社の祭礼、物見遊山、縁日や見世物など、身分によって関わり方は異なりますが、江戸の人々は四季折々にさまざまな娯楽を楽しみました。今回は風俗の視点から、浮世絵に描かれた江戸の娯楽をご紹介します。

広重三代の世界 Part I 初代広重

展示期間 平成 23(2011)年 12 月 10 日(土)～

平成 24 年(2012)1 月 15 日(日) 展示室 1

初代の歌川広重は歌川豊広の門人で、文政期(1818～1829)から役者絵、美人画、版本の挿絵などで活動を始め、天保期に入って一幽斎がき「東都名所」シリーズで開花し、代表作「東海道五十三次之内」シリーズで人気を得、風景画の絵師として地位を確かなものとします。その後、多数の江戸名所や



街道、諸国名所などのシリーズを制作し、晩年の「名所江戸百景」まで、自然と人間が織りなす詩情あふれる作品を描き続けます。

広重三代の世界 Part II 二代広重

展示期間 平成 24(2012)年 1月 17日(火)～2月 19日(日) 展示室 1

二代広重は初代広重の門人で、はじめ重宣と名乗っていました。初代の画風に倣った風景画などを制作していましたが、初代が安政 5 年(1858)に没すると、翌年、師の養女お辰の婿となり、二代を襲名しました。師風を継承した風景画や美人画、花鳥画を得意とし、また安政 6 年(1859)に鎖国を解いて開港した横浜を題材とした、異国情緒の溢れる横浜絵などを残しています。慶応 1 年(1865)に離縁した後は、喜斎立祥に改名し、明治 2 年(1869)に没しました。

広重三代の世界 Part III 三代広重

展示期間 平成 24(2012)年 2月 21日(火)～3月 25日(日) 展示室 1

三代広重は安政 2,3 年(1855,56)頃に初代広重に入門し、初代没後は二代広重に学び、二代広重が師家を去った後、三代目を継承します。三代広重は明治初年頃より、文明開化によって急速に西洋化していく東京の風景を開化錦絵と称される作品に表わし、多くの東京名所風景画を制作します。また、諸国の物産を紹介した「大日本物産図会」シリーズも描き、明治 27 年(1894)に没するまで、伝統的な歌川派の浮世絵師として明治の浮世絵界で活躍しました。

平成 24 年度 江戸のグルメ

展示期間 平成 24(2012)年 4月 7日(土)～5月 13日(日) 展示室 1

握り寿司、鰻の蒲焼、天麩羅、蕎麦などが誕生したのが江戸時代です。長く太平の世が続き、生産量の増えた穀類や野菜は、整備された陸運や水運によって流通しました。都市では多彩な食材の入手が可能となり、料理は洗練され、庶民までが食を楽しむようになりました。特に江戸は地方から移り住んだ独身男性が多かったこともあり、江戸後期には町中に料理屋や屋台があふれます。今回の展示では、浮世絵に描かれた江戸の食文化を紹介します。



江戸の一年

展示期間 平成 24(2012)年 5 月 15 日(火)～6 月 17 日(日) 展示室 1

江戸の人々は、現代の私たちとくらべて、より自然に親しむ暮らしを営んでいました。五節句や祭礼など、年中行事が生活と溶け込んでおり、四季おりおりには、花見や夕涼みといった物見遊山を楽しんでいました。このような江戸の人々の、季節にそくした生活習慣を感じられるものが、浮世絵には多く描かれています。今回の展示は、春夏秋冬の四季にあわせて、江戸の一年を紹介します。

諸国名所風景画

展示期間 平成 24(2012)年 6 月 19 日(火)～7 月 22 日(日) 展示室 1

歌川広重の活躍で、名所風景画は江戸の地域だけではなく、京都や大坂、さらには日本全国の名所が描かれるようになった。こうした諸国名所風景画は全て絵師がその実景を見て、表現したものではないが、絵師の創意工夫もみられ、十分に江戸庶民の諸国名所への関心を満たしたものと思われる。今回は「六十余州名所図会」を中心に、「本朝名所」「京都名所之内」「浪花名所図会」など、広重がえがいた諸国名所の作品を紹介します。

戯画展

展示期間 平成 24(2012)年 7 月 24 日(火)～8 月 26 日(日) 展示室 1

美人、役者、風景、花鳥など、浮世(この世)のあらゆる事柄を描いた浮世絵はまた、戯画と呼ばれる一群の作品があります。これには風刺画、擬人画、影絵など様々なものが含まれています。戯画の作品は初期の時代から、七福神や年中行事、東海道などを題材に描かれてきていますが、とくに、天保の改革時、歌川国芳の作品によって人気が高まり、多くの作品が描かれるようになります。今回は後期浮世絵の時代から幕末・明治の時代を中心に、機知とユーモアたっぷりの作品を紹介します。

明治の美人画 楊洲周延 PartI～III

展示期間 Part I 平成 24(2012)年 8 月 28 日(火)～9 月 30 日(日)
展示室 1

展示期間 Part II 平成 24(2012)年 10 月 2 日(火)～11 月 4 日(日)
展示室 1

展示期間 Part III 平成 24(2012)年 11 月 6 日(火)～12 月 9 日(日)
展示室 1

楊洲周延は新潟の高田藩士の子に生まれ、幕末の戊辰戦争時、旧幕府軍側に参戦し生き残り、明治に入って、歌川派の浮世絵師として活躍した人です。とくに、官女の姿を和装や洋装で描いた御所絵、江戸時代の大奥風俗や女性たちを描いて、美人画の世界で一世を風靡します。今年は周延が没してから 100 年という記念の年にあたります。明治の新しい様相を感じさせる周延の美人画を 3 回に分けて紹介します。





雪月花一雪一

展示期間 平成 24(2012)年 12月 11日(火)～平成 25(2013)年 1月 20日(日)
展示室 1

四季折々の自然を愛する日本人は、雪・月・花を好んで画題に取り上げました。浮世絵の表現では、雪は紙の白い色を生かして描かれます。柔らかい白色をした和紙は雪の表現に実に適っており、雪景色を描いた浮世絵には優れたものが多いといえます。「雪月花」の浮世絵展シリーズとして、今回は館蔵品の中から雪中の人物、説話・戯曲、雪景の富士、江戸や諸国名所の雪景色など、雪をテーマにした作品を幅広く展示します。



溪斎英泉

展示期間 平成 25(2013)年 1月 22日(火)～2月 24日(日) 展示室 1

溪斎英泉は、菊川英二・英山の門弟で、歌川派や北斎一門が急速に台頭する文政・天保期に活躍し人気を博しました。英泉の妖艶で凄絶な美人画は、女性の内に秘めた情念を感じさせ、退廃美の極致と評されています。また風景画にも力を入れており、広重や北斎を意識しながらも、和漢洋の画法をうまく調和させ、自然の中での人間の営みを描くなど、独特の味わいをもっています。今回の展示では、美人画と風景画の代表作「木曾海道六十九次」を中心にご紹介いたします。



歌川国貞の美人画

展示期間 平成 25(2013)年 3月 5日(火)～4月 7日(日) 展示室 1

歌川国貞は、初代歌川豊国の門弟で、画壇に登場して間もなく頭角を現し、版本の挿絵や役者絵、美人画、風景画と浮世絵のあらゆる画題において活躍しました。生涯に万を越すといわれるほど多くの作品を残し、初代豊国の実質的な後継者として歌川派を最盛に導いた国貞は、三代豊国を襲名し幕末の浮世絵界をリードしていきました。今回の展示では、幕末の世相を反映し、庶民感覚にあふれた女性風俗や、芸者に代表される粋で伝法肌な女性の気質を描き出した国貞の美人画を紹介します。



平成 25 年度

明治のヒーロー 稗史絵

展示期間 平成 25(2013)年 4 月 9 日(火)～5 月 12 日(日) 展示室 1

国家によって編纂された歴史を正史というのに対し、民間で書かれた歴史や、言い伝えなどによる歴史を稗史といいます。フィクションに富む稗史の登場人物たちは、読本や歌舞伎などでヒーローとして活躍しました。浮世絵では、江戸末頃から人気を博した歴史上の英雄を描く武者絵がよく知られていますが、今回の展示では、明治 10～20 年代に制作された「大日本名将鑑」「教導立志基」「日本名女咄」など、教訓的、教導的な独特の色合いをもつ作品を中心に、稗史絵を紹介します。

浮世絵展示
明治のヒーロー 稗史絵



明治 10～20 年代に制作された「大日本名将鑑」「教導立志基」「日本名女咄」など、教訓的、教導的な独特の色合いをもつ作品を中心に、稗史絵を紹介します。

歌川派の役者絵

展示期間 平成 25(2013)年 5 月 14 日(火)～6 月 9 日(日) 展示室 1

歌川派は江戸後期に浮世絵界で最も大きな流派へと発展した一派です。始祖の歌川豊春にはじまり、門人の初代豊国が役者絵や美人画の分野で活躍して、多くの門人が集まりました。流派としての活動は浮世絵が終焉をむかえる明治期までつづきます。

今回は歌川派が華々しく活躍した役者絵に焦点をあて、館蔵品のなかから初代豊国、国政、国貞、国芳、芳虎、落合芳幾、豊原国周、月岡芳年らが描いた作品を紹介します。

浮世絵展示
歌川派の役者絵



歌川派が華々しく活躍した役者絵に焦点をあて、館蔵品のなかから初代豊国、国政、国貞、国芳、芳虎、落合芳幾、豊原国周、月岡芳年らが描いた作品を紹介します。

夏の美人たち

展示期間 平成 25(2013)年 6 月 29 日(火)～7 月 28 日(日) 展示室 1

浮世絵の美人画には、遊女や芸者、評判娘など実在した人物が描かれている場合もありますが、日常生活でのふとした表情や仕草の美しさをとらえたり、各時代に理想とされた定型の美人像を描いたり、実にさまざまな作品があります。

今回は、夕涼みにくつろぐ浴衣姿や夕立の情景など、夏に見られる女性風俗をテーマに、代表的な浮世絵師が描いた、江戸から明治、昭和初期にいたる美人画をご紹介いたします。

浮世絵展示
夏の美人たち



夏の美人たち

雪月花一月景色

展示期間 平成 25(2013)年 9 月 3 日(火)～9 月 29 日(日) 展示室 1

春の桜、秋の月、冬の雪に代表される、人々に親しまれた美しい四季折々の景観を意味して「雪月花」という言葉があります。白楽天の漢詩に「雪月花の時に最も君を思う」と詠まれて以来、日本の文学や和歌の題材にされてきました。絵画において雪月花は伝統的な画題として定着しています。浮世絵にもこの画題を描いたものが多く、今回は秋の季節にちなんで、歌川広重の作品を中心に月景色や月下の美人図などを、ご紹介いたします。

浮世絵展示
雪月花一月景色



雪月花一月景色

相撲絵

展示期間 平成 25(2013)年 10 月 8 日(火)～11 月 10 日(日) 展示室 1

江戸の人々には、相撲は歌舞伎とともに人気の高い娯楽でした。相撲を題材とした浮世絵は、素朴な初期浮世絵にはじまり、錦絵の時代にジャンルと

浮世絵展示
相撲絵



相撲絵

して確立しました。特に勝川派、菊川派、歌川派などの絵師によって、力士の化粧回し姿、土俵入り、取組、支度部屋や場所風景などを描いた作品が残されています。今回は相撲絵の歴史をたどりながら、相撲にちなんだ伝説上の豪傑や、子供力士、萩藩お抱え力士の阿武松緑之助、越ヶ浜岩五郎、菊ヶ浜勝蔵などを描いた作品も紹介します。

忠臣蔵

展示期間 平成 25(2013)年 11月 12日(火)～12月 15日(日) 展示室 1

故主君浅野内匠頭長矩の怨みを晴らすため、赤穂浪士が吉良邸を襲い、吉良上野助義央の首を挙げた赤穂事件は、文学や演劇など多くの分野で取り上げられています。十一段から成る『仮名手本忠臣蔵』(竹田出雲他作・寛延1年)によって浄瑠璃や歌舞伎で上演され評判を取ってからは、その略称である「忠臣蔵」という言葉で一連の事件や赤穂浪士劇一般を指すようになりました。浮世絵においても、役者絵、十一段の場面を描いたシリーズ、浪士を描いた武者絵や見立絵などが、様々な絵師によって数多く制作されています。

浮世絵師 忠臣蔵

展示期間 平成25(2013)年11月12日(火)～12月15日(日)



この作品は、赤穂浪士の十一段の場面を描いたシリーズの一枚です。赤穂浪士が吉良邸を襲い、吉良上野助義央の首を挙げた赤穂事件は、文学や演劇など多くの分野で取り上げられています。十一段から成る『仮名手本忠臣蔵』(竹田出雲他作・寛延1年)によって浄瑠璃や歌舞伎で上演され評判を取ってからは、その略称である「忠臣蔵」という言葉で一連の事件や赤穂浪士劇一般を指すようになりました。浮世絵においても、役者絵、十一段の場面を描いたシリーズ、浪士を描いた武者絵や見立絵などが、様々な絵師によって数多く制作されています。

浮世絵に描かれた動物たち

展示期間 平成 25(2013)年 12月 17日(火)～

平成 26(2014)年 1月 26日(日) 展示室 1

伝統的な絵画の主題に、花木や小動物、虫などを描く花鳥画があります。

浮世絵版画では、天保期(1830～1843)が花鳥画の大成期とされており、特に風景画で名高い歌川広重(1797～1858)は、絵に調和した俳諧を添えた爽やかな作品を数多く制作しました。今回の展示では、広重の花鳥画を中心に、干支にちなんだ動物や伝説上の霊獣、物語に登場する動物、擬人化された動物などが描かれた作品をご紹介します。

浮世絵師 浮世絵に描かれた動物たち

展示期間 平成25(2013)年12月17日(火)～平成26(2014)年1月26日(日)



この作品は、天保期(1830～1843)が花鳥画の大成期とされており、特に風景画で名高い歌川広重(1797～1858)は、絵に調和した俳諧を添えた爽やかな作品を数多く制作しました。今回の展示では、広重の花鳥画を中心に、干支にちなんだ動物や伝説上の霊獣、物語に登場する動物、擬人化された動物などが描かれた作品をご紹介します。

明治の役者絵

展示期間 平成 26(2014)年 2月 1日(土)～3月 9日(日) 展示室 1

明治時代、役者絵の分野で最も活躍したのが豊原国周です。文明開化という新しい流れのなかにありながら、ちゃきちゃきの江戸っ子浮世絵師として、歌川派様式による役者絵を大首絵や3枚続の作品に数多く描いています。彼の役者絵はのち「明治の写楽」と称されたほど、迫力のある画面となっています。今回は演劇改良運動から生まれた活歴劇や新趣向の散切狂言を描いた作品も含めて、国周を中心に、芳虎、芳幾、三代国貞など、明治期に描かれた役者絵を紹介します。

浮世絵師 明治の役者絵

展示期間 平成26(2014)年2月1日(土)～3月9日(日)



この作品は、明治時代、役者絵の分野で最も活躍したのが豊原国周です。文明開化という新しい流れのなかにありながら、ちゃきちゃきの江戸っ子浮世絵師として、歌川派様式による役者絵を大首絵や3枚続の作品に数多く描いています。彼の役者絵はのち「明治の写楽」と称されたほど、迫力のある画面となっています。今回は演劇改良運動から生まれた活歴劇や新趣向の散切狂言を描いた作品も含めて、国周を中心に、芳虎、芳幾、三代国貞など、明治期に描かれた役者絵を紹介します。

月岡芳年 風俗三十二相

展示期間 平成 26(2014)年 3月 11日(火)～4月 13日(日) 展示室 1

月岡芳年(1839～1892)は、豊原国周、小林清親とともに、明治時代に最も活躍した浮世絵師です。「風俗三十二相」は明治21年(1888)に刊行された32枚のシリーズで、寛政期(1789～1800)から明治の時代風俗で女性を描き、芳年美人画の代表作として知られています。「三十二相」とは仏が備えている32の優れた身体的特徴をいいますが、この作品では遊女、奥方、娘など、さまざまな階層の女性たちがみせる多様な表情を描き分けています。

浮世絵師 月岡芳年 風俗三十二相

展示期間 平成26(2014)年3月11日(火)～4月13日(日)



この作品は、月岡芳年(1839～1892)は、豊原国周、小林清親とともに、明治時代に最も活躍した浮世絵師です。「風俗三十二相」は明治21年(1888)に刊行された32枚のシリーズで、寛政期(1789～1800)から明治の時代風俗で女性を描き、芳年美人画の代表作として知られています。「三十二相」とは仏が備えている32の優れた身体的特徴をいいますが、この作品では遊女、奥方、娘など、さまざまな階層の女性たちがみせる多様な表情を描き分けています。

Ⅱ > 1 > (3) 平常展示(平成 21 年度より普通展示と改称)

東洋陶磁展示

平成 19 年度

もう一つの景德鎮 - 古染付と天啓赤絵 -

展示期間 平成 19(2007)年 4 月 14 日(土)～6 月 17 日(日) 展示室 2

古染付は、明代末期の天啓年間(1621～1627)に江西省景德鎮の民窯でつくられた磁器です。成形や高台の削り、釉下に呉須で描いた文様の手慣れた筆遣い、また粗野ともいえる仕上がり具合にも、練熟した陶工の手業が光っており、同じ景德鎮であっても、これらに先立つ時期に生産された、繊細巧妙ながらもやや堅苦しい印象の官窯精品とは全く違った趣を示しています。また古染付は、日本の茶人から受注した、輸出用もしくは日用雑器として量産されたものらしく、従来の中国陶磁の伝統にない奇抜な形態は奔放な絵付けのものが多数伝わって来ます。このような古染付からは、景德鎮で働く民間の陶工たちに備わっていた、造形力の寛さや技術力の高さをうかがい知ることができます。

今回は、わずか 7 年間という天啓期につくられた、古染付や天啓赤絵(古染付を下地にして、赤・緑・黄・黒の色料を上絵付けしたもの)の自由奔放な造形をとおして、民窯というもう一つの景德鎮の魅力をします。



朝鮮半島のやきもの

展示期間 平成 19(2007)年 10 月 17 日(水)～平成 20(2008)年 1 月 14 日(祝・月)
展示室 2

朝鮮島のやきもの史上、その技術的側面と芸術的水準において、めざましい発達が見られたのは、中国・五代の越州窯産青磁の受容が拡大していった 10 世紀以降の高麗時代(918～1392)でした。高麗貴族の中華文物に親しむ風潮が、彼の地の製品に似たやきものの製作をうながしたのです。はじめは江南地方の呉越国が産する「秘色青磁」をその模倣対象に生産が進められましたが、12 世紀に入る頃からしだいに中国製品にならった造形から離れ、高麗的な器形、文様が成熟し、やがて白黒象嵌という超絶技巧で加飾した繊細優美な青磁を創出します。

その高麗校長を倒した朝鮮王朝[李朝]の時代(1392～1910)になると、前王朝期の貴族文化否定とともに青磁生産は終わり、高麗貴族に替わった新興支配層である両班の精神とその趣向に沿ったやきものがつくられました。この時代のやきもののイメージは清楚な「白」と言い切れるほど、時代の儒教的精神を反映した高潔な象徴としての白色を志向する造形表現に明確な特徴が見られました。

今回は、やきもの造形に反映された時代精神と民族の美意識を、館蔵品の高麗時代の青磁と朝鮮時代の白磁や粉青沙器で紹介します。



平成 20 年度

碧い器 - 青磁

展示期間 平成 20(2008)年 5 月 27 日(火)～7 月 13 日(日) 展示室 2

灰釉に改良が加えられ、進化を遂げた青磁釉。1200℃以上の高温で還元



炎

焼成すると、灰に含まれるわずかな鉄分が発色し、深みのある明るい青色または緑色を呈します。さらに胎土に含まれる鉄分も釉の呈色に影響するため、陶磁器・磁器質・半磁器質とそれぞれ用いられる胎土の性質やその調整しだいで、明暗の異なった釉調が表れます。

青磁はまた、釉層に含まれるおびただしい大小の気泡や鉱物細片によって、複雑に反射する透過光に感応して知覚されるため、光源の種類や光線の状況といった鑑賞するときの環境にも左右されるほどです。古来中国で玉の肌合いにたとえられてきた青磁釉の美感は、東アジアにおける陶磁製作の本流をなし、精品の数々を生み出しました。

今回は青磁の釉色に焦点をあて、その淵源とされる灰釉陶器から現代における陶芸作品まで、優美で深みのある色彩の妙味を紹介します。

平成 21 年度 色鮮やかなやきもの

展示期間 平成 21(2009)年 5 月 2 日(土)～6 月 21 日(日) 展示室 2

いまから 1 万年以上まえに出現したやきもの。すでに 7000 年程前くらいから中国においては彩陶に代表されるやきものを加色などによって装飾する技術がうみだされました。それらのやきものは、日常の生活品からハレの場で用いられるもの、あるいは死者とともに埋葬される甕にまでひろがっていきます。そして漢代では緑釉・褐釉、さらには唐三彩、遼三彩、宋三彩、元三彩、明代の青花・五彩などますます華やかに彩られていきます。その技術は、中国のみならず朝鮮半島、そして我国にも招来し、新しいやきもの文化を生み出してく源流にもなっていたのです。色鮮やかに彩られたやきもの世界へ誘います。



白いやきもの

展示期間 平成 21(2009)年 12 月 19 日(土)～平成 22(2010)年 3 月 22 日(祝・月)
展示室 2

「白」と一口に言っても、純白のほかには黄みがかった白や青みがかった白のようにさまざまな「白」があり、その特徴を美しく表現したものが中国で誕生した「白磁」です。

白磁の「白」は、素地に白い化粧土をかける、青磁の胎土や釉薬から鉄分や不純物を取り除くといった技術の発展に伴い変化しました。そのため、初めは青磁と白磁の中間色のように純粋な白色ではありませんでしたが、唐時代末期には河北省邢窯においてそれまでにない白いものが作られるようになりまし。また、北宋時代後期になると景德鎮窯では白磁の生産が盛んになり「青白磁」と呼ばれる淡く青みがかったものが生産され、元時代になると同じ景德鎮窯において良質の磁石を原材料として白さをより極めていきました。

白磁への憧れは中国のみにとどまらず、朝鮮半島でも 15 世紀に入って本格的な生産が展開し、中国の白磁に劣らない高品質なものを作るまでに発展しました。

時代と地域を越えてつながる「白いやきもの」の道程をご紹介します。



平成 22 年度

中国・朝鮮古陶磁の美Ⅰ－土器・陶器・三彩－

展示期間 平成 22(2010)年 8 月 19 日(木)～10 月 11 日(祝・月)

展示室 2

土器は紀元前 1 万年頃から世界の各地で多元的に発生します。素材である粘土をそのまま用いて成形、焼成して作り出され、耐燃性、耐久性に優れた特性を有する土器の発生は、人間が最初に手に入れた化学とも言えます。中国では土器を釉薬のかかった陶器へと独自に発展させることに成功し、さらには灰釉陶とも言える原始瓷器が改良され青磁が生み出されていきます。これら中国で生み出された製品や製作技術は直接的・間接的に朝鮮半島、日本へ広がり、各地域の陶磁器文化に大きな影響を与えていきます。

中国・朝鮮古陶磁の美Ⅰではやきものの始まりである土器をはじめ、陶器、三彩といった中国のやきものを中心にその歴史性と、優れた造形品を生み出してきた美的創造性をご紹介します。

展示期間 平成 22(2010)年 8 月 19 日(木)～10 月 11 日(祝・月)



中国・朝鮮古陶磁の美Ⅰ
「土器・陶器・三彩」
展示室 2

中国・朝鮮古陶磁の美Ⅱ－青磁・白磁－

展示期間 平成 22(2010)年 10 月 13 日(水)～12 月 26 日(日) 展示室 2

青磁は「玉の如し」と称されて、高級な趣味性の高いやきものとして重視されてきました。中国では晩唐(9 世紀)に秘色青磁と呼ばれる緑の青磁、北宋(11 世紀)には翡色とよばれる高貴な釉調の青磁が生み出され、高麗青磁や日本の灰釉陶器の出現に大きな影響を与えました。

一方、「雪の如し」と謳われる「白磁」は食卓の器として北朝(6 世紀後半)頃に突如として出現します。その後、青花や五彩などの絵付けのキャンパスの役割を果たすようになる一方で、宮廷御器としても尊重され、造形的にも洗練されていきます。中国官窯白磁は独特の涼しげな青みをたたえた李朝白磁を生み出すこととなりました。

本展では、東洋陶磁を代表する「青磁」「白磁」の魅力をご紹介します。

展示期間 平成 22(2010)年 10 月 13 日(水)～12 月 26 日(日)



中国・朝鮮古陶磁の美Ⅱ
「青磁・白磁」
展示室 2

中国・朝鮮王朝時代古陶磁の美Ⅲ－動物意匠と中国・朝鮮王朝時代の古陶磁－

展示期間 平成 23(2011)年 1 月 2 日(日)～3 月 6 日(日) 展示室 2

古来より、動物は家畜や愛玩の対象として、人類と強い関わりを持ってきました。また人類は動物のもつ生態的特徴等から、吉祥や幻想的な特質を見出し、それらの動物を絵画や陶磁器の意匠としてとりあげてきました。そして、それらの動物意匠を有する器物を所有することで、この世における富や繁栄、また来世における安寧を祈願してきたのです。また中国では龍や鳳凰など現存しない幻の生物を生み出し、権威のシンボルや各時代の宇宙観を表象するものとされ、その思想は広く東アジアに広がり、陶磁器の意匠にも用いられてきました。

本展では、陶磁器の文様や造形に組み入れられた、動物意匠を紹介しながら、中国・朝鮮王朝時代古陶磁の魅力をご紹介します。

展示期間 平成 23(2011)年 1 月 2 日(日)～3 月 6 日(日)



中国・朝鮮王朝時代古陶磁の美Ⅲ
「動物意匠と中国・朝鮮王朝時代の古陶磁」
展示室 2

古染付の世界

展示期間 平成 23(2011)年 3 月 8 日(火)～4 月 24 日(日) 展示室 2

明時代末期、天啓年間(1621～1627)頃の短い期間に景德鎮民窯で作られた白磁青花を「古染付」と呼びます。古染付には 2 種類あり、一つは碗・

展示期間 平成 23(2011)年 3 月 8 日(火)～4 月 24 日(日)



古染付の世界
展示室 2

皿を中心とする食器、もう一つは茶道具です。江戸初期、茶の湯において唐物や舶来などと珍重され、とくに器の縁辺にある「虫喰い」と呼ばれる釉薬の剥落には、古拙な風情があると当時の茶人に楽しまれました。絵画調の構図とその主題の豊富さ、透明度の高い白磁釉のもと、明るく澄んだ青花と胎土の色調とがおりなす略筆の味わい深い絵付にも古染付ならではの魅力があります。

本展では古染付を中心に、彩り豊かな五彩、またそれらの影響を受けて焼造された朝鮮、日本の染付などもあわせてその魅力をご紹介します。

平成 23 年度

YOU! 俑一愛すべき土偶たち

展示期間 平成 23(2011)年 7 月 5 日(火)～9 月 25 日(日) 展示室 2

古来より人類は、身の回りの動物をはじめ、想像上の生き物、あるいは人類そのものを具象的/抽象的に、岩画・壁画をはじめ、石や土など素材を通して、表わしてきました。特に中国では、墓の副葬用の模型(明器)が発達します。殉葬の代わりとも言われるように、それらの俑(人物・動物)の表情は、生き生きとし、躍動感にみなぎり、又時にはユニークで愛らしい表情が見られます。本展では、中国で古来より重要視されてきた俑(土偶)たちの魅力をご紹介します。

展示期間
YOU! 俑一愛すべき土偶たち



中国の歴史は、古くは殷周の時代から始まり、春秋戦国時代を経て、秦漢の時代へと発展しました。この時代には、墓の副葬用の模型(明器)が発達し、俑(土偶)が作られました。俑は、死者の死後、冥界で活躍するために作られたと考えられています。俑の表情は、生き生きとし、躍動感にみなぎり、又時にはユニークで愛らしい表情が見られます。

優美 VS 清浄 高麗と朝鮮のやきもの

展示期間 平成 23(2011)年 12 月 10 日(土)～

平成 24(2012)年 3 月 25 日(日) 展示室 2

多様な加飾で貴族的、女性的とも形容され、優美さに満ちた高麗青磁と大らかで男性的とも形容され、静かな深みのある魅力に満ちた朝鮮王朝時代の所謂李朝白磁の魅力をご紹介します。

高麗青磁は、高麗時代(918～1392)の 12 世紀頃に大きく発展したと考えられています。器は、彫り文様や型押し文様をはじめとして、鉄絵具を使った鉄絵や鉄彩、銅の絵具を使った辰砂、白土と赤土を使った象嵌や練り上げを行い、単調になりがちな青磁釉の色彩を優美に引き立てます。

一方、白磁は 15 世紀後半頃に完成したと考えられています。そして 17 世紀以降に白磁は全盛期を迎えます。広州郡の諸窯を中心に、様々の白磁が焼造されています。白磁は、曲線に独特のやわらかみがあり、非常に力強い存在感があります。その清らかでけがれの無い清浄な雰囲気は、朝鮮王朝時代(1392～1910)に儒教がゆきわたったため、白が尊ばれたことに背景があると考えられています。

朝鮮のやきものがもつ優美と清浄の世界をご堪能ください。

展示期間
優美と清浄のやきもの



朝鮮の歴史は、古くは新羅の時代から始まり、高麗の時代へと発展しました。この時代には、白磁が作られました。白磁は、曲線に独特のやわらかみがあり、非常に力強い存在感があります。その清らかでけがれの無い清浄な雰囲気は、朝鮮王朝時代に儒教がゆきわたったため、白が尊ばれたことに背景があると考えられています。

平成 24 年度 東洋陶磁の美<形>

展示期間 平成 24(2012)年 4 月 7 日(土)～7 月 22 日(日) 展示室 2

やきものを構成する<形><装飾><釉><土>は、さまざまな技術でつくられ、それぞれに特性を発揮しています。

たとえば、形。

材料である粘土の変形しやすい性質を利用して、壺、甕、瓶、碗、鉢、合子ほかいろいろな器形が作られます。また、壺ひとつを例にあげても「無頸壺」「長頸壺」「広口壺」など部分的な違いでさらにその種類は多くなります。時代や地域、さらに陶器、磁器などの質の違いをこえて共通する形、また限られたなかでのみ存在する形、そのあり方はさまざまです。本展では、多様に展開するやきものの形に注目して東洋陶磁をご紹介します。

東洋陶磁展
東洋陶磁の美<形>



この壺は、中国の青銅器を模倣した緑釉の壺、緑や黄、藍など鮮やかに色をかけた三彩、黒釉の魅力の一つの碗のなかで展開する天目と、釉薬の使い方

東洋陶磁の美<装飾>

展示期間 平成 24(2012)年 7 月 24 日(火)～11 月 4 日(日) 展示室 2

陶磁器の魅力の一つに装飾があります。描く、象る、彫るなどさまざまな方法で装飾される陶磁器は表情豊かなものとなります。

赤や白など鮮やかに幾何学模様が施される中国古代の土器。余すところなく伸びやかに描かれる優雅な牡丹や天を翔る龍が印象的な磁器。また、器の足に象られた可愛らしい熊や小壺の肩に居る閑人は小さいながらも存在感があり、息吹を感じるようです。装飾のない陶磁器は質素でありながら力強い美しさをもっていますが、装飾の施された陶磁器は華やかに、また作り手の思いや社会環境を感性豊かに映し、一層面白いものとなります。

本展では、さまざまな装飾とその意味を作品とともにをご紹介します。

東洋陶磁展
東洋陶磁の美<装飾>



この壺は、中国の青銅器を模倣した緑釉の壺、緑や黄、藍など鮮やかに色をかけた三彩、黒釉の魅力の一つの碗のなかで展開する天目と、釉薬の使い方

東洋陶磁の美<釉>

展示期間 平成 24(2012)年 11 月 6 日(火)～

平成 25(2013)年 2 月 24 日(日) 展示室 2

陶磁器の魅力の一つに釉薬があります。

釉薬な陶磁器を薄く覆うガラス質のもので、色彩や滑らかさを与えるのみでなく、素地表面を強化することで傷などからの保護や水漏れを防ぐなど機能的な効果も与えます。中国古代の青銅器を模倣した緑釉の壺、緑や黄、藍など鮮やかに色をかけた三彩、黒釉の魅力の一つの碗のなかで展開する天目と、釉薬の使い方

多様な表現が放つ釉薬の魅力やその施釉方法などを作品とともにをご紹介します。

東洋陶磁展
東洋陶磁の美<釉>



この壺は、中国の青銅器を模倣した緑釉の壺、緑や黄、藍など鮮やかに色をかけた三彩、黒釉の魅力の一つの碗のなかで展開する天目と、釉薬の使い方

東洋陶磁の美<土>

展示期間 平成 25(2013)年 3 月 5(火)日～6 月 9 日(日) 展示室 2

陶磁器を鑑賞するとき、形や装飾、また表面に掛かる釉薬に目を奪われますが、「繊細さ」や「深み」などの言葉で伝える陶磁器の印象は土により変化します。

土は、耳慣れた言葉で「粘土」のことです。陶磁器の粘土は、自然にある土を基礎に、長石や石英などを混ぜて粘りを調整し、成形しやすくしたものです。土に含まれる物質やその量により陶磁器の肌の粗精や色に違いが表れ、

東洋陶磁展
東洋陶磁の美<土>



この壺は、中国の青銅器を模倣した緑釉の壺、緑や黄、藍など鮮やかに色をかけた三彩、黒釉の魅力の一つの碗のなかで展開する天目と、釉薬の使い方

陶磁器の印象を様々にしています。

釉薬に覆われることが多いため注目する機会の少ない土ですが、魅力に富んだ見所のひとつです。本展覧会では、土に注目して陶磁器の様々な魅力をご紹介します。

平成 25 年度 日本陶磁の魅力

展示期間 平成 25(2013)年 6 月 29 日(土)～9 月 29 日(日) 展示室 2

中国や朝鮮をはじめとする周辺各国との影響のなかで日本のやきものは独自の歴史を展開してきました。素焼きの縄文土器、硬く焼き締まった中世陶器、絵付けや施釉の技術による近世の多様な陶磁器。またそれは器に留まらず、古墳時代の墓に並べられた埴輪や、床の間を飾る置物も作られました。わが国の陶磁器の時代的な流れにそって各時代で花開いた日本らしい陶磁器とその魅力をご紹介します。

粉青沙器

展示期間 平成 25(2013)年 10 月 8 日(火)～

平成 26 (2014) 年 1 月 26 日(日) 展示室 2

「粉青沙器」は「粉粧灰青沙器」の略称です。白磁とともに朝鮮時代(1392～1910)前期を代表するやきもので、14 世紀にはその萌芽がみられ 16 世紀まで盛んにつくられました。清涼な印象の白磁にくらべて土はぬくもりのある質感で、器面は白土によって白く化粧され、その上からやや灰青色の釉薬がかかるのが特徴です。さらに象嵌や印花、掻き落とし、線刻、鉄絵などの豊かな技法により描かれた文様は、時に緻密で、自由闊達で、いくつもの表情をつくり出しています。歴史的なつながりが言われている前時代につくられた高麗青磁や、並存期を経てやがて隆盛していく朝鮮白磁、技術的な共通点がみられるわが国の萩焼とともに、その魅力をご紹介します。

緑釉陶器の歴史

展示期間 平成 26(2014)年 2 月 1 日(土)～5 月 18 日(日) 展示室 2

緑釉陶器は、器面に「緑釉」とよばれる緑色の釉薬がかかった陶器の総称です。緑釉は、鉛を原料とする「鉛釉」と、木灰などを原料とする「灰釉」によるものの 2 種があり、それぞれ酸化銅を配合することで緑色にしています。

東アジアでは、中国前漢時代の終わりから後漢時代のはじめの頃(紀元の前後)にいちじるしく発達し、長い歴史のなかで盛衰をみせます。漢時代には墓に用いられる副葬品として、また遼時代には色鮮やかな黄釉や褐釉などいくつかある釉色のひとつとしてよく用いられました。

また、わが国で緑釉をかけた陶器は平安時代において寺や官衙などで使用され、かつて「長門国」、「周防国」であった、ここ、山口県域でも生産していたことをうかがわせる遺跡が確認されています。

同じ緑釉を用いながら、時代や地域で異なる緑釉陶器の特徴に注目してその歴史を紹介します。

展示陶磁器
日本陶磁の魅力



展示期間 平成 25(2013)年 6 月 29 日(土)～9 月 29 日(日) 展示室 2

展示陶磁器
粉青沙器



展示期間 平成 25(2013)年 10 月 8 日(火)～平成 26(2014)年 1 月 26 日(日) 展示室 2

展示陶磁器
緑釉陶器の歴史



展示期間 平成 26(2014)年 2 月 1 日(土)～5 月 18 日(日) 展示室 2

Ⅱ > 1 > (3) 平常展示(平成21年度より普通展示と改称)

陶芸展示

平成22年度

半泥子と休和、壽雪

展示期間 平成22(2010)年4月3日(土)～5月30日(日) 展示室2

「一楽、二萩、三唐津」という言葉があるように、萩焼は茶陶として珍重・重宝され、400年の伝統・歴史を有しています。三輪窯は毛利家の御用窯の一つとして、地域の作陶史を生み出し支えてきました。

休和は昭和初期の経済不況に起因した地方窯の苦難の時代にありながらも、自らの作陶活動や萩焼のみにこだわらず、桃山陶も広く研究を行い、また1942年には財界人でもあり、自ら作陶活動を行っていた川喜田半泥子らと「からひね会」を結成し、萩茶陶のさらなる発展を志しました。壽雪は旧制中学校を卒業後、家業に従事し、15歳上の兄・休和を支えます。そして半泥子の近代的個性を重視する言動に直接触れることで、作陶活動に大きな影響を受け、茶陶制作の意味を再構築し、伝統の素材と技術を自己の表現のうちに生かす、創造性重視の作陶姿勢を確立してきました。

半泥子と深い親交をもち、そして「萩焼」をこよなく愛し、近代から現代の「萩焼」を主導してきた三輪休和、壽雪の作品を展観します。



山口県のわざと美

展示期間 平成22(2010)年11月3日(祝・水)～12月5日(日) 展示室8

山口県の伝統的な工芸技術のうち代表的なものとして「萩焼」、「赤間硯」、「金工」があります。萩焼は、素朴な土の雰囲気や表面にかかる釉薬、またその形といくつかの見所が合わさって多様な魅力を持ちます。赤間硯は、紫とも赤ともつかない美しい色合いの赤間石を磨き、彫り、そしてまた磨くことで作り出されるなめらかな風合が特徴です。金工では、金属という涼しげな材料でありながら、いくつもの細やかな技巧により作られた彩りと温かみある意匠が魅力です。

これらは、作り手と、彼らが受け継ぎ培った技術によって今日まで伝えられ、発展してきました。今回はとくに山口県指定無形文化財の工芸技術による作品をはじめ、制作時に使用する道具や材料、製作工程などを展示し、普段知ることのない「わざ」と「美」をご紹介します。



萩焼の茶碗

展示期間 平成23(2011)年1月18日(火)～4月3日(日) 展示室8

萩焼400年の伝統は、侘び数寄の具足として高い声価を獲得してきた歴史に培われてきました。特に毛利藩の御用窯で焼造されはじめた茶碗は、近代以降にも「一楽、二萩、三唐津」と謳われるほど、その品格が茶の湯の世界に広く認められてきました。一方で、それは開窯の草創期から当時流行の高麗茶碗の造形的特徴をアレンジし、また古田織部好みの「ひずみ」の美意識を取り込むなど、単なる写し(模倣)の製作から脱して、独創の造形表現を志向する、革新的な造形思考の成果であったといえるでしょう。

本展では、独自の気品と風格を備えた近世期萩焼(古萩)の茶碗から、伝統の本質を固有の素材と技術のうちに見つめながら受け継いできた近代的個人作家の茶碗までを通観します。また参考として、萩焼古窯出土資料の一部



を紹介します。

三輪休雪のかたち —愛—

展示期間 平成 22(2010)年 11 月 3 日(祝・水)～
平成 23(2011)年 4 月 17 日(日) 展示室 7

十二代三輪休雪氏(本名は龍作、1940 年生まれ)は、「愛 (エロス)」と「死 (タナトス)」をテーマに、人間存在の重さを陶芸として問い続けてきた作家です。かつて長州藩御用を務めた伝統窯に生まれ育ち、萩焼 400 年の歴史的個性を踏まえながらも、これまでは器という形式から離れてかたどられることがまれであったやきものの領域で、彫刻的具象表現を中心に自己をかたちにしてきました。

そのかたちは、ときには情念の赤裸々な暴露として、またあるときは崇高なる観念の感覚的啓示として表現され、観る者たちの情感を激しく揺さぶってきました。

今回は最新の連作「龍人伝説」を中心に、人の心根の奥深いところにある愛欲や情念を包み飾らず可視化した陶造形が示す、豊かな「愛」の世界を紹介します。



平成 23 年度 萩焼の花器

展示期間 平成 23(2011)年 4 月 5 日(火)～6 月 26 日(日) 展示室 8

花器とは本来、花を飾るための容器の総称です。

わが国では古くから、野辺の花を器に生けて仏前や死者を荘厳する供花の習俗がありました。それが社会の変化とともに伸展し、室町時代には立花という室内芸能としてのいけばなへと高められていきました。

花瓶・花入・花生・花立などと呼ばれる器は、この芸術的美意識や思想の深まりとともに発達した造形です。これらは金属(主に銅)・陶磁・竹・木・ガラスといった素材を用いて多種多様な器形でつくられてきました。やがていけばなの庶民層への拡がりにもない、江戸中期から幕末にかけては陶磁製の花器が普及し、とくに近代以降は華道や茶道の隆盛を受けて大いに焼造されました。

一方で、表現としての陶芸をめざす個人作家にとっては、居住空間の近代化(西欧化)という問題にまず直面したいけばなの造形意識の変革に影響され、用途に縛られない創作の対象として、花器の制作が注目されるようになりました。

今回はこのような背景を持った花器の近代性に注目した展示です。伝統の素材や技術を造形的要素として表現された、近現代の萩焼作品を紹介します。



受贈記念 辻清明

展示期間 平成 23(2011)年 7 月 5 日(火)～9 月 25 日(日) 展示室 8

独自の作陶世界を展開して一世を風靡した、辻清明(1927～2008)。本展は、2009 年度にご遺族から寄贈された、辻が東京都多摩市の自宅で晩年まで傍らにおいて愛おしんでいた自作品 28 点を紹介します。

古美術愛好家であった父親の影響を受けて、幼時からやきものに興味を示



した辻は、14歳にして世田谷の自宅に倒炎式石炭窯を築き、また板谷波山、富本憲吉、濱田庄司ら当代一流の陶芸家たち訪ねて教えを受けるなど、早熟な芸術的才能に恵まれていました。この作陶への意欲は、戦後もますます旺盛となり、多くの才人と幅広い交流を重ねるなかで練りあげられ、信楽土による焼締陶の独創的表現の確立へと高揚していったのです。辻は、信楽焼の伝統的技法を極めるとともに、素材である土が見せる触覚性をも造形美に追求しました。その作風は辻の人柄に同様に温厚で親しみのあるものでしたので、陶芸愛好家をはじめ多くの人々に愛されたのです。

最後になりましたが、この貴重な作品をご寄贈賜りました、辻啓子様、辻清一様、島田史子様、辻文夫様をはじめ、ご関係の皆様にご心から御礼申し上げます。

萩焼の置物

展示期間 平成 23(2011)年 7月 5日(火)～9月 25日(日) 展示室 8

近世期につくられた萩焼の置物の優品を紹介します。萩焼における置物の製作は、元禄 13年(1700)に初代の三輪休雪が齢七十にして楽焼修業の藩命を受けて上洛し、楽焼を習得して戻って来てきたころか、延享 4年(1744)に同じく三輪家の四代休雪がやはり藩命により楽焼修業をしにいった京から戻ってきたころの、どちらかに始まると考えられます。楽家初代の長次郎は、楽焼を創始したことで知られていますが、もともと細工物の高い技量を備えた焼物師でした。このことから楽家には楽茶碗のほかにも置物などの造形的作陶の伝統が生まれ、代々継承されてきました。三輪家は「長州楽焼師」を名乗るように、楽焼の茶碗づくりとともにその細工技術を萩に持ち帰ってきたのです。

今回は、細工上手もあって萩焼の近世史上名工の誉れが高い、六代三輪喜楽と七代三輪休雪の置物を紹介します。

陶芸家
萩焼の置物



六代三輪喜楽の萩焼の置物。これは、寛政10年(1798)に作られたと推定される。丸みを帯びたフォルムと、土の質感を活かした表現が特徴的である。作者の巧みさと、素材との親和的な交感をよく示している。

藤笠砂都子展—現在形の陶芸 萩大賞展 2010 大賞受賞者展

展示期間 平成 23(2011)年 10月 1日(土)～11月 27日(日) 展示室 8

当館で昨年度開催された公募展、「現在形の陶芸 萩大賞 2010」で大賞を受賞した、藤笠砂都子は、2007年の東京藝術大学大学院修了制作から、自然現象に観られる「動いている力や流れ」の作品化を追究し、空間に躍動する生命感ともよぶべき、力強い動態表現を陶造形で現出してきました。土を構築するプロセスのうちに自己を表現しようとする揺るぎない意思で貫かれた、藤笠砂都子の手捻りによるその制作は、素材との濃密で親和的な交感の痕跡そのものといつてよいでしょう。

大賞受賞者を顕彰する本展では、受賞作《風伯》と昨年の公募展以降に制作された新作 15点を紹介します。この作家が自身のスタイルをどのように変化させていこうとしているのかをご覧いただき、今後、造形的にも技術的にも大きく飛躍して成長していくことを、皆様とともに見守っていきたいと思います。

陶芸家
藤笠砂都子展



藤笠砂都子の萩焼の置物。これは、現在形の陶芸の代表作として知られている。自然現象に観られる「動いている力や流れ」の作品化を追究し、空間に躍動する生命感ともよぶべき、力強い動態表現を陶造形で現出してきた。

萩焼の人間国宝 三輪壽雪の鬼萩

展示期間 平成 23(2011)年 12月 10日(土)～

平成 24(2012)年 3月 25日(日) 展示室 8

明治 43 年(1910)生まれの三輪壽雪(本名節夫、十一代休雪)は、昭和 58 年(1983)4 月 13 日に重要無形文化財「萩焼」の保持者に認定された、現在最高齢の人間国宝です。やはり萩焼の人間国宝だった次兄の休和(本名邦廣、十代休雪)とともに、心血を注いで改良した藁灰釉(白萩釉)は「休雪白」とよばれ、今日では萩焼の造形的美質を語るうえで非常に重要な要素の一つとなっています。

職人的器用さを称揚する写し物的作陶とは一線を画した、独創への強い意志を早くから表明していた壽雪は、この「休雪白」をはじめとする、萩の歴史的作陶素材(土・釉薬)を徹底的に吟味することで、茶陶の造形に独自の境地を探ってきました。

「内なるものを表現する」という一貫した意思のもとに、壽雪は素材固有の質感や表情を自在に形態のうちに取り込みつつ、作家自身の心象を器の形に刻んだ立体造形として成立させようとしたのです。そしてこの卓越した造形思考は、豪放磊落な「割高台」の「鬼萩」茶碗へと結実し、萩焼四百年の作陶史に新たな地平を拓きました。

本展では、壽雪陶芸の最高峰である「鬼萩」と、そこに至るまでの造形表現の軌跡をご覧ください。

オブジェ陶造形の潜勢力

展示期間 平成 23(2011)年年 4 月 29 日(祝・金)～
11 月 27 日(日) 展示室 7

自己表現として制作された現代のやきもののうち、作り手が自身の潜在的イメージを器以外のかたちとして表現したオブジェ陶の造形を紹介します。今回はとくに、作り手が土という物質に豊かな生命力を読み取って成立させた作品をご覧ください。

これらのオブジェは、土の粒子のぬめりやざらつき、焼結の固さや緩さ、そして色、窯変、熔着、崩壊、さらには重さや量塊などといった、陶土の物質的特性から生起するさまざまな視覚的な知覚を造形要素として抽出したうえで構築されています。言い換えれば、それらの作品は細部にまで至るかたちの総体において、作り手が素材や技法との離れがたい関係性をつねに意識しながら、独特の感性や思考を素材の物質性のなかで展開させた痕跡でもあるわけです。

造形素材である土に自己を反照させ、その物質的特性に内面に潜むイメージを抽象化または具体化して力強く表現するオブジェ陶の現在をご堪能ください。

婀娜めく素材一転化するかたち

展示期間 平成 23(2011)年 12 月 10 日(土)～
平成 24(2012)年 7 月 1 日(日) 展示室 7

陶土や釉薬が見せる物質としての粘性や弾性、また亀裂・ざらつき・ぬめりといった肌合いや風合いへ向けられるまなざしは、多分に情緒的ではありますが、すぐれて個性的な鑑賞者の審美眼に誘われて、やきものがもつ美質に対するわたしたちの認識を深化させる働きを担ってきました。茶陶を主な対象としたこの近世以来のまなざし(鑑賞法)は、良くも悪くも、日本のやきものに対する美的価値観を形づくってきたのです。



一方で、このようなまなざしの過度な洗練が、近代陶芸の黎明期においては、作り手個人の問題意識を喚起することとなり、かえって茶陶を主流とする日本陶磁史のくびきから脱するきっかけの一つともなりました。

今日では、自分自身を明確にかたちへと表現しようとする作り手にとって、陶土や釉薬が見せる肌合いや風合いといった質感は、情緒性などに訴えることなく観者の潜在的な触感を呼び覚ます、視覚的造形要素として認識され、かたちへと直結する合理的な表現手法として用いられています。

焼結されることで土から陶へと転化する素材の物質性を視覚的触感に訴えて、表現の核心であるかたちへ誘う陶造形を、三輪休雪(12代)の作品で紹介します。

平成 24 年度 萩陶芸—花器

展示期間 平成 24(2012)年 4月 7日(火)～8月 26日(日) 展示室 8

わが国では古くから、野辺の花を器に生けて仏前や死者を荘厳する供花の習俗がありました。それが社会の変化とともに伸展し、室町時代には立花という室内芸能としてのいけばなへと高められ、やがて現代にいたるまでに、生活空間をより豊かなものとする造形表現の一つとして発達してきました。

花瓶・花入・花生などと呼ばれてきた、花を飾る器も生花を活けて愛でる美意識やいけばなの芸能思想の深まりとともに造形的に多様な展開を見せてきました。とくに陶磁製の花器は、近代以降には華道や茶道の隆盛もあって、生活のさまざまな場面に定着しています。

一方で、表現としての陶芸をめざす個人作家にとっては、居住空間の近代化(西欧化)という問題にまず直面したいけばなの造形意識の変革に影響され、用途に縛られない創作の対象として、花器の制作が注目されるようになりました。

今回はこのような背景を持った花器のモダニズムに注目した展示です。萩焼伝統の素材や技術を用いながら、建築空間との整合を意識した近現代の花器を紹介します。



萩焼の近代

展示期間 平成 24(2012)年 8月 28日(火)～

平成 25(2013)年 1月 20日(日) 展示室 8

わが国のやきものづくりに、個人作家による芸術活動としての作陶という意味合いで、「陶芸」概念が浸透したのは、大正後期から昭和初期にかけての 1920 年代でした。このような自律的な表現行為としてのやきものづくりへの志向性は、はじめ京都の陶磁器試験所や東京美術学校、東京高等工業学校といった専門教育機関の出身者などが主導しましたが、昭和初期になると、地方の産地で閉塞感を覚えていた若い作り手たちの共感を呼び、かれらの作陶姿勢にも影響をおよぼしていきました。

ところで、このころの山口県では、整備された鉄道で流入する大窯業地の量産品に地域市場を奪われるなど、販路が狭まった窯元が厳しい不況にあえいでいました。このような社会の急激な変化は茶陶の需要にも例外なく作用し、旧萩藩御用窯だった名門陶家の退潮ぶりとともに、萩焼の生産現場全体



が存続の危機に瀕していました。この苦境から脱するため、名門窯の当主たちのなかには、旧家や寺社に伝世する茶道具の優品や古窯の出土資料をつぶさに調査するなど、過去の陶技や作行に倣い、桃山以来の茶陶製作で培われた歴史的個性を再興しようと努力を重ねる作り手も現れてきました。

今回は、産業を離れた個人的造形表現としての「陶芸」を志向する意識と、歴史的個性の再生をとおして自己や地域の文化的自律・産業復興をめざす動きとが交錯した、萩焼の近代を紹介します。昭和初年からはじまったこのような状況は、明快に分離されることなく高度経済成長期後も継続され、ときには個人の創作活動のうちにもクロスオーバーしています。「陶工から陶芸家へ」といわれるように、芸術性を前面に押し立てて作陶することのほうがかむしろまれであった、昭和 40 年代までの萩焼における創作陶芸への歩みをご覧ください。

萩焼の茶陶

展示期間 平成 25(2013)年 1 月 22 日(火)～ 6 月 9 日(日) 展示室 8

茶事に必要な各種の道具類は茶道具と総称され、そのうち陶磁製のものが茶陶と呼ばれます。

この茶陶という呼称は、昭和 10 年代(1935～44)から用いられ始め、美術展覧会や出版物のタイトルとして、昭和 30 年代(1955～64)以降に定着した用語です。その背景には、室町時代から桃山時代にかけて隆盛した、茶の湯と美術・工芸の展開を関連づけて再評価しようとする気運と、その芸術性を現代に再生しようとする作陶意識の高揚がありました。

ところで茶道具は、茶席の床を飾る装飾道具、炭点前や点茶に必要な点前道具、懐石の食器として用いられる懐石道具、勝手道具とも呼ばれる水屋道具、そして待合・露地道具の五種類に大別されます。近現代の茶陶をながめると、主に前三者として用いられるために製作されています。

今回は、装飾道具として花入・陶箱、点前道具としての香合や茶入・茶碗・水指、そして懐石道具として酒器など、茶陶という近代的工芸観のもとにつくられた萩焼を紹介します。



記憶の触感 一土にこめた想い

展示期間 平成 24 年(2012) 7 月 7 日(土)～12 月 24 日(月・振替休日)
展示室 7

対象を手で触れるという経験をとおして把握される感覚には、形状や質感のようなその表面の状態のほか、たとえばその内部の状況を推し測ることもできる、重さや固さ、熱といった情報や現象への感受性があります。このような広くゆたかな触感(皮膚感覚)の記憶を蓄積することによって、私たちはより高い密度の知覚を得ています。今回は、この「触知覚」に焦点をあて、記憶された触感に視覚的に作用して表現の可能性を拡げた陶造形を紹介します。

視認される陶土の物質的特性やかたちは、記憶の深奥に潜んでいる触感と連絡して、しばしばかたちがもつ意味を明示(あるいは暗示)するとともに、観者に生命力やときには霊性といった多種多様なイメージを立ち上げさせます。視覚的触感とも呼ぶべきこのはたらきを自己の表現意図と同調させ、観る者に豊かな想像力を喚起する作品をお楽しみください。



生の愉悦を物語ること ―三輪休雪の陶芸― およびオブジェ作品(陶芸、金工)の常設的展示

展示期間 平成 25 年(2013) 1 月 2 日(水)～ 6 月 9 日(日) 展示室 7

三輪休雪氏(本名龍作、1940 年生)は、エロス(愛)とタナトス(死)をテーマに、人間存在の重さを陶芸表現で問い続けてきた作家です。かつて長州藩の御用を務めた伝統窯に生まれ育ち、萩焼 400 年の歴史的個性を踏まえながらも、これまでは器という形式から離れてかたどられることが稀であったやきものの領域で、彫刻的具象表現を中心に自己をかたちにしてきました。彼のかたちは、ときには情念の赤裸々な暴露として、またあるときは崇高なる観念の感覚的啓示として表され、それを観る私たちの情感を激しく揺さぶってきました。

今回は、最新の連作である〈龍人伝説〉のなかから、喜怒哀楽の感情が率直に表現された作品を中心に、物語られる「生」の表現を紹介します。人の心根の奥深いところにある愛憎や諦念を可視化したそれらの陶造形は、そのまま三輪休雪氏の「生」についての思想です。現実に臆することなく、豊かなエロスと永遠のタナトスのうちに「生」の愉悦を求めたその陶芸表現に、私たちは自らの「生」と向き合うこれからを重ね合わせることもできそうです。



平成 25 年度

〈龍人伝説〉の世界

展示期間 平成 25(2013)年 11 月 12 日(火)～

平成 26(2014)年 4 月 13 日(日) 展示室 7,8

十二代三輪休雪(1940 年生まれ、本名龍作)は、「愛(エロス)」と「死(タナトス)」をテーマに、人間存在の重さを陶芸表現で問い続けてきた作家です。かつて長州藩御用を務めた伝統窯に生まれ育ち、茶陶を中心に据えた萩焼 400 年の歴史的個性を踏まえながらも、これまでは器という形式から離れてかたどられることがまれであったやきものの領域で、具象的表現手法で自己をかたちにしてきました。そのかたちは、ときには情念の赤裸々な暴露として、またあるときは崇高なる観念の感覚的啓示として表され、観る者の情感を激しく揺さぶります。今回は最新の連作、〈龍人伝説〉シリーズの全作品(17 点)を紹介します。



オブジェー陶造形の潜勢力Ⅱ

展示期間 平成 25(2013)年 6 月 29 日(土)～

平成 26 年(2014) 6 月 22 日(日) 展示室 7

自己表現として制作された現代のやきもののうち、作り手が自身に潜在する素材のイメージを作品化したオブジェ陶造形を紹介します。

《黒の遺構》は、三輪和彦さん(1951 年、萩市生まれ)が、信楽にある滋賀県立陶芸の森研修館に足かけ 3 年通い詰めて完成させた、巨大なオブジェ陶の作品群です。展示では、総重量が 20 トンもの粘土を立ち上げて焼成した、これら角柱状の無垢の土塊を雄大なインスタレーションとしてご覧いただきます。













陶土の素性が露わとなった激しい断裂や湾曲、釉薬や金彩を施された滑らかさと粗さを同時にみせる肌合い、また重量物の発する堂々たる姿など、これらオブジェ陶一つ一つのテクスチャーだけを眺めても気圧されるほどの迫力は伝わってきますが、インスタレーションされて相互に関係性を構築したこれら土塊群が占有する空間の張り詰めた緊張感は、観る者の存在すら軽く想わせるほどの圧倒的支配力を誇示しています。



ここに到る道のりで、この作家の制作態度は規矩を超えた大きなモノの制作へと向かう行為を表現に組み込もうとする意志と、その実現可能性との間で幾度も揺れたそうです。しかしながら、陶土を量塊として立ち上げることが許される構造や、乾燥と焼成の過程に生じる素材の変容を、土塊が崩落する極限にまで突き詰めて制作することをあきらめず、ついにその行為のリアルな痕跡そのままをオブジェ陶に作品化させました。三輪和彦さんが全身全霊を賭して向き合ったこの制作は、ミニマルに素材と技術の親和をめざした、純粋な創造実験だったといえるでしょう。

造形素材である土に自己を参照させ、その物質的特性に内面に潜むイメージを抽象化または具体化して力強く表現するオブジェ陶の潜勢力をご堪能ください。





Ⅱ > 1 > (4)特別展示室展示(平成 22 年度以降は特選鑑賞室展示と名称を変更)

平成 19(2007)年度

4月	歌川国政	初世岩井柔三郎	大判錦絵	
5月	歌川豊国	初世松本米三郎	大判錦絵	
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 静玉屋志津加	大判錦絵	
7月	歌川国芳	東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二	横大判錦絵	
8月	喜多川歌麿	青楼仁和嘉女芸者 大万度 荻江 おいよ 竹次	大判錦絵	
9月	二代歌川豊国	名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図	横大判錦絵	
10月	東洲斎写楽	二世中島三甫右衛門と 中村富十郎	大判錦絵	
11月	鳥居清長	風俗東之錦 袴着	大判錦絵	
12月	溪斎英泉	美艶仙女香 はつ雪や	大判錦絵	
1月	鳥居清長	大坂新町西槌屋琴鶴太夫 りきの ふじの	大判錦絵	

2月	二代歌川広重	諸国名所百景 周防岩国錦帯橋	大判錦絵	
3月	鈴木春信	風俗四季哥仙 三月	中判錦絵	

平成 20(2008)年度












4月	歌川国政	初世岩井糸三郎	大判錦絵	
5月	歌川豊国	初世松本米三郎	大判錦絵	
6月	鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 静玉屋志津加	大判錦絵	
7月	歌川国芳	東都富士見三十六景 佃沖晴天の不二	横大判錦絵	
8月	喜多川歌麿	青楼仁和嘉女芸者 大万度 荻江 おいよ 竹次	大判錦絵	
9月	二代歌川豊国	名勝八景 大山夜雨 従前不動頂上之図	横大判錦絵	
10月	東洲斎写楽	二世中島三甫右衛門と 中村富十郎	大判錦絵	


※平成 22 年度に開館を予定する陶芸館の建築工事にとまない平成 20(2008)年
10月 27 日(月)～平成 21(2009)年 3 月 31 日(火)の期間休館

平成 21(2009)年度










※平成 22 年度に開館を予定する陶芸館の建築工事にとまない特別展示室の展示は休止。
特選鑑賞室展示と名称を変更。




平成 22(2010)年度

4月	歌川広重	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	大判錦絵	
5月	歌川広重	名所江戸百景 駒形堂吾孀橋	大判錦絵	
6月	歌川広重	名所江戸百景 亀戸天神境内	大判錦絵	
7月	二代歌川広重	名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい	大判錦絵	
8月	歌川広重	名所江戸百景 両国花火	大判錦絵	
9月	歌川広重	名所江戸百景 猿わか町よるの景	大判錦絵	
10月	歌川広重	名所江戸百景 よし原日本堤	大判錦絵	
11月	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	大判錦絵	
12月	歌川広重	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	大判錦絵	
1月	歌川広重	名所江戸百景 日本橋雪晴	大判錦絵	
2月	二代歌川広重	諸国名所百景 周防岩国錦帯橋	大判錦絵	

3月	歌川広重	名所江戸百景 隅田川水神の森真崎	大判錦絵	
----	------	---------------------	------	---

平成 23(2011)年度～平成 25(2013)年度

4月	歌川広重	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	大判錦絵	
5月	歌川広重	名所江戸百景 駒形堂吾孀橋	大判錦絵	
6月	歌川広重	名所江戸百景 亀戸天神境内	大判錦絵	
7月	二代歌川広重	名所江戸百景 赤坂桐畑雨中夕けい	大判錦絵	
8月	歌川広重	名所江戸百景 両国花火	大判錦絵	
9月	歌川広重	名所江戸百景 猿わか町よるの景	大判錦絵	
10月	歌川広重	名所江戸百景 よし原日本堤	大判錦絵	
11月	歌川広重	名所江戸百景 浅草田甫酉の町詣	大判錦絵	
12月	歌川広重	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	大判錦絵	

1月	歌川広重	名所江戸百景 日本橋雪晴	大判錦絵	
2月	歌川広重	名所江戸百景 廓中東雲	大判錦絵	
3月	歌川広重	名所江戸百景 隅田川水神の森真崎	大判錦絵	

Ⅱ > 1 > (5)和風展示室

1.趣旨

当館の和風展示室は、茶の湯の舞台装置として現代建築空間の内部に包含され規格化された「茶室」の形式を採っている。このことは「茶室」という建築様式が、わが国のさまざまな文化形態が歴史的に発展あるいは変転していく過程において形成された、日本的建築空間の典型として認識されているところに依拠すると捉えている。

当館はこのようにして成立し整ったかに見える典型的日本建築空間の「茶室」も、現在のさまざまな文化形態の表現「現場」としてありつづけるならば、今日においてなおも遷移し得る対象と認識し、芸術文化における『伝統と創造』という主題について、同時代的視点で主張し提言する優れた芸術表現者に継続的に提供するものである。

2.概要

平成 19 年度 茶室 「風、水、根を張るべき場所」

会期 平成 19(2007)年 4 月 14 日(土)～平成 20(2008)年 3 月 2 日(日)

制作者 古伏 脇 司

展示作品

〈茶室〉

「風、水、根を張るべき場所 07-01」	漆	麻布	綿布	石	鉛板
「風、水、根を張るべき場所 07-02」	漆	麻布	石		
「風、水、根を張るべき場所 07-03」	漆	麻布	綿布	試験管	
「風、水、根を張るべき場所 07-04」	漆	麻布	石		



〈バルコニー〉

「風、水、根を張るべき場所 07-05-1」	漆	麻布	綿布	石	ボルトナット
「風、水、根を張るべき場所 07-05-2」	漆	麻布	綿布	石	ボルトナット
「風、水、根を張るべき場所 07-05-3」	漆	麻布	綿布	石	ボルトナット
「風、水、根を張るべき場所 07-05-4」	漆	麻布	綿布	石	ボルトナット
「風、水、根を張るべき場所 07-05-5」	漆	麻布	綿布	石	ボルトナット

平成 20 年度 茶室「種々(くさぐさ)」

会期 平成 20(2008)年 4 月 5 日(土)～平成 21(2009)年 10 月 26 日(日)

平成 22 年度に開館を予定する陶芸館の建築工事にともない 10 月 27 日(月)～

平成 21 年 3 月 31 日(火)の期間休館のため、通常より会期が短くなっています。

制作者 金子 司

展示作品

陶を素材としたインスタレーション



平成 21 年度 茶室「煉獄の茶室」

会期 平成 21(2009)年 5 月 2 日(土)～平成 22(2010)年 3 月 22 日(日)

制作者 吉村芳生

展示作品

「新聞と自画像」 新聞紙に鉛筆

「ケシ」 紙に色鉛筆



平成 22 年度 茶室「人間というもの」

会期 平成 22(2010)年 4 月 3 日(土)～平成 23(2011)年 3 月 21 日(祝・月)

制作者 禹 寛壕

展示作品

インスタレーション セラミックアート(磁器)



平成 23 年度 茶室「茶室・空室・四畳半」

会期 平成 23(2011)年 4 月 29 日(祝・金)～平成 24(2012)年 3 月 25 日(日)

制作者 柳原睦夫

展示作品

床 陶板 銘「白雲独行」

花入 四点組 銘「烏合」

風炉 鉄釉カセ

水指 浮水指 大取っ手

茶入 共蓋 銘「メタボ」

建水

蓋置

菓子鉢 取っ手付つき 銘「手ちがい」

柄立 鉄釉カセ 銘「呵呵」

茶盤 銘「初もの」

替 銘「それぞれに」

替 銘「やきたて」

香合



方形展示台

ケツル 銘「デロンギ」

ケツル台 銘「デロンギの平袴」

水指 浮水指 大ツノ取ッ手

蓋置

建水

茶盤 銘「うづき」

菓子器

平成 24 年度 茶室「さびのけしき」

会期 平成 24(2012)年 4 月 7 日(土)～平成 25(2013)年 3 月 24 日(日)

制作者 留守 玲

展示作品

〈茶室〉「蒼樹」 鉄(熔接)

「瞬花」 和紙 さび

〈バルコニー〉

「下露に咲く花」 鉄(熔接)



平成 25 年度 茶室「偶然が縁となり 宇宙になる - Coincidence -」

会期 平成 25(2013)年 4 月 27 日(土)～平成 26(2014)年 3 月 23 日(日)

制作者 小高良作

展示作品

和紙に墨流しにより染色を行い、ウレタンフォームの上へのせ、ガラス繊維で巻きつけ、樹脂でコーティングしてユニットを作り、それらを組み合わせたインスタレーション展示。



Ⅱ > 1 > (6) 貸館展示

平成 24 年度(2012 年度)

第 35 回 山口伝統工芸展 4 月 12 日(木)～4 月 22 日(日)

萩美術協会創設 80 周年記念展 2013 年 3 月 8 日(金)～3 月 17 日(日)

平成 25 年度(2013 年度)

第 36 回 山口伝統工芸展 5 月 23 日(水)～6 月 2 日(日)

第 65 回 山口県学校美術展覧会・第 53 回山口県幼児児童生徒版画作品展覧会
2014 年 2 月 8 日(土),9 日(日)

2 教育普及事業
Ⅱ>2>(1)美術講座

平成 19 年度 美術講座

回	日時	講師(敬称略)	所属・職	演題	聴講者数
1	4月14日(土) 13:30~15:00	今井 敦	東京国立博物館 事業部事業企画課 特別展室長	景德鎮千年の歴史	54
2	6月30日(土) 13:30~15:00	柳原睦夫	陶芸家 大阪芸術大学 名誉教授	苛烈と洗練の人ー富本憲吉	55
3	9月1日(土) 13:30~15:00	日野原健司	太田記念美術館 学芸員	ヴィクトリア アンド アル バート美術館の浮世絵コレ クションについて	25
4	9月17日(祝・月) 13:30~15:00	加美山史子	河鍋暁斎記念美術館 学芸員	絵師・河鍋暁斎の魅力と子 孫の創った美術館	13
5	10月20日(土) 13:30~15:00	唐澤昌宏	東京国立近代美術館 主任研究員	岡部嶺男の陶芸	35
6	12月16日(日) 13:30~15:00	金子賢治	東京国立近代美術館 工芸課長	現代陶芸 Outlook	28

第1回美術講座は、兼『皇帝の器から毛沢東の食器まで 景德鎮千年展』 記念講演会

第2回美術講座は、兼『生誕 120 年 富本憲吉展』 記念講演会

第3・4回美術講座は、兼『ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 初公開 浮世絵
名品展』 記念講演会

第5回美術講座は、兼『青磁を極めるー岡部嶺男展』 記念講演会

第6回美術講座は、兼『現在形の陶芸 萩大賞展』 記念講演会

平成 20 年度 美術講座

回	日時	講師(敬称略)	所属・職	演題	聴講者数
1	4月5日(土) 13:30~15:00	神谷 浩	名古屋市美術館 学芸課長	多彩な北斎の芸術世界	33
2	5月27日(火) 10:00~11:30	楊 波	山東省博物館 考古部主任研究員	中国山東省北朝期の仏像 について	21
3	7月19日(土) 13:30~15:00	大久保純一	国立歴史民俗博物館 教授	広重風景画の手法と主題	25
4	10月11日(土) 14:00~15:30	渡部誠一	岐阜県現代陶芸美術館 副館長	カルロ・ザウリと 現代イタリア陶芸の魅力	42

第1回美術講座は、兼『北斎ーシーボルトの見た日本ー』 記念講演会

第2回美術講座は、兼『仏教美術の黎明ー中国山東省石仏展』 記念講演会

第3回美術講座は、兼『没後 150 年記念 広重の風景画展』 記念講演会

第4回美術講座は、兼『カルロ・ザウリ展ーイタリア現代陶芸の巨匠』 記念講演会

平成 21 年度 美術講座

回	日時	講師(敬称略)	所属・職	演題	聴講者数
1	5月2日(土) 13:30~15:00	唐澤昌宏	東京国立近代美術館 主任研究員	荒川豊藏の〈志野〉 ー自然と生命の賛歌	49
2	8月1日(土) 14:30~16:00	中村卓夫	陶芸家	ウェッジウッドの中村卓夫 ーかたちに結んだ伝統と革新の精神	43
3	8月29日(土) 13:30~15:00	谷 晃	野村美術館学芸部長 茶の湯文化学会会長	茶の湯と福建省	31
4	10月24日(土) 13:00~14:30	フィリップ・ ル・ステュム	県立ブルターニュ 博物館 館長	アンリ・リヴィエールと ブルターニュ	33
5	11月3日(祝・火) 13:30~15:00	藤村忠範	当館学芸課 主査	アンリ・リヴィエールの 人と芸術	26
6	12月19日(土) 13:00~14:30	梁 中合	中国社会科学院 考古研究所 研究員	山東省の古玉器の世界	18

第 1 回美術講座は、兼『受贈記念特別展 染野夫妻陶芸コレクション リーチ・濱田・豊藏・
壽雪』 記念講演会

第 2 回美術講座は、兼『ウェッジウッドーヨーロッパ陶磁器デザインの歴史』 記念講演会

第 3 回美術講座は、兼『海のシルクロードの出発点 福建 沈没船、貿易都市、陶磁器、茶
文化』 記念講演会

第 4・5 回美術講座は、兼『フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール展』 記念講演会

第 6 回美術講座は、兼『シリーズ山東文物 8 中華のかがやきー中国山東省古玉器』 記念
講演会

平成 22 年度 美術講座

回	日時	講師(敬称略)	所属・職	演題	聴講者数
1	4月10日(土) 13:30~15:00	榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 館長	川喜田半泥子の陶芸	71
2	6月12日(土) 13:30~15:00	西山純子	千葉市美術館 学芸員	棟方志功・版画家としての 出発	52
3	7月31日(土) 13:30~15:00	日野原健司	太田記念美術館 主幹学芸員	坂本龍馬と幕末の浮世絵	28
4	9月11日(土) 13:30~15:00	乾 由明 三輪休雪	兵庫陶芸美術館 館長 陶芸作家	対談「龍人伝説」への道 十二代休雪の芸術	98
5	11月7日(日) 14:00~15:30	金子賢治	茨城県陶芸美術館 館長	伝統工芸のいま	17
6	12月19日(日) 13:00~14:30	榎本 徹	岐阜県現代陶芸美術館 館長	陶芸公募展今昔と、その功 罪	26

第 1 回美術講座は、兼『川喜田半泥子のすべて』 記念講演会

第 2・3 回美術講座は、兼『棟方志功 祈りと旅』 記念講演会

第 4 回美術講座は、兼『龍人伝説への道 三輪休雪展』 記念講演会

第 5 回美術講座は、兼『日本のわざと美展ー重要無形文化財とそれを支える人々ー』

記念講演会

第 6 回美術講座は、兼『現在形の陶芸 萩大賞展 2010』 記念講演会

平成 23 年度 美術講座

回	日時	講師(敬称略)	所属・職	演題	聴講者数
1	4月29日(土) 13:30~15:00	金子賢治	茨城県陶芸美術館 館長	工芸とモダンデザイン: ルーシー・リーの時代	61
2	7月9日(土) 13:30~15:00	清水真砂	世田谷美術館 学芸部長	駒井哲郎 福原コレクションについて	40
3	8月13日(土) 13:30~15:00	井上喜久男	陶磁研究家	中世のやきもの -六古窯とその周辺-	27
4	11月5日(土) 13:30~15:00	浅野秀剛	大和文華館 館長	最新の写楽研究について	55

第 1 回美術講座は、兼『ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家 ルーシー・リー展』
記念講演会

第 2 回美術講座は、兼『駒井哲郎 1920-1976』 記念講演会

第 3 回美術講座は、兼『古陶の譜 中世のやきもの-六古窯とその周辺-』 記念講演会

第 4 回美術講座は、兼『開館 15 周年記念 浮世絵名品 300 選』 記念講演会

平成 24 年度以降、美術講座は行わず、特別展示の際に少なくとも 1 回以上の記念講演会
の形で、教育普及(講演)を開催している。

Ⅱ > 2 > (2)こどものミュージアムスクール

平成 19 年度

「色絵に挑戦！」

日時:8月11日(土),12日(日) 13:00~,15:00~

場所:本館講座室

対象:小学生以上(各回 15名)

講師:松尾優子氏(陶芸家)

参加:30名

平成 20 年度

「キノコラツクルヒトビト 2008 夏」

日時:8月10日(日) 10:00~,13:30~

場所:本館 1 階ロビー

対象:小学生(各回 10名)

講師:金子 司氏(陶芸家)

参加:20名

平成 21 年度

「小さいきものを作ろう！」

日時:9月22日(祝・火) 10:00~,13:30~

場所:本館 1 階ロビー

対象:小学生(各回 10名)

講師:渡邊陽子氏(陶芸家)

参加:14名

平成 22 年度

こどものための陶芸ワークショップ 土火っと遊び隊 2010

「夏休みだ。やきものづくりにチャレンジ！ーのぼり窯体験ー」

日時:7月17日(土)10:30 ~ 成形(自由造形やカップ・腕などの器作りを体験)

8月 7日(土) 9:00 ~ 窯焚き

8月12日(木)13:00 ~ 窯出し

場所:城山窯

対象:小学生 30名

講師:金子信彦氏(陶芸家)

参加:43名(うち保護者 17名)

アーティスト・ワークショップ:禹(Woo)先生のワークショップ

- 素焼きしたやきものにさまざまな絵付けをしてみよう！

日時:10月9日(土) 10:00~

場所:陶芸館多目的室

対象:小学生以上(15名)

講師:禹 寛壕氏(韓国・弘益大学 教授)

参加:12名

親子で参加する陶芸ワークショップ

「大切な人のために作る器

～普段、お世話になっている人のために、心を込めて器などを作ってみよう！～」

日時:平成 23 年 1 月 8 日(土) 10:30～

場所:陶芸館多目的室

対象:小学生以上 20 名

講師:船崎透氏(陶芸家)

参加:参加者 20 名

平成 23 年度

～夏休み 親子体験プログラム 今日からキミもまんが家だ！～

「わだかつよ先生のまんが・イラスト教室」

日時:7 月 24 日(日),31 日(日) 各回 10:00～

場所:陶芸館 多目的室

対象:小学校高学年～中学生と保護者(各回 24 名)

講師:わだかつよ氏(まんが家)

参加:7 月 24 日(日) 21 名(うち保護者 9 名)

7 月 30 日(日) 24 名(うち保護者 11 名)

平成 24 年度

～陶芸ワークショップ「土火っと遊び隊 2012」～

「夏休みだ。やきものづくりにチャレンジ！ーのぼり窯体験ー」

日時:7 月 21 日(土)10:30～ 成形(自由造形やカップ・腕などの器作りを体験)

8 月 4 日(土) 9:00～ 窯焚き(温度があがる過程を体験)

8 月 5 日(日) 9:00～ 窯焚きの仕上げの段階を体験

8 月 10 日(金)13:00～ 窯出し

場所:城山窯

対象:小学生 30 名

講師:金子信彦氏(陶芸家)

参加:29 名(うち保護者 11 名)

平成 25 年度

美術館子ども芸術文化普及事業

「和紙と土に描く不思議なマーブル模様挑戦！」

日時:8 月 11 日(日) 10:00～,13:00～

場所:陶芸館 多目的室

対象:小学生 20 名(各回 10 名)

講師:小高良作氏(和紙染色作家、平成 25 年度当館茶室展示の展示作家)

金子司氏(陶芸家)

参加:午前の部 23 名(うち保護者 11 名) 午後の部 23 名(うち保護者 11 名)

Ⅱ > 2 > (3) 各種イベント

2008 年度

「萩まちなかアート」

文化施設や文化芸術活動団体等が、相互に地域と連携した特色ある文化芸術活動を展開することにより、地域における「文化力」の向上に寄与するとともに、これらのアート(活動や作品)を活用した交流の活発化等による賑わいづくりなど、地域づくりや地域活性化を図ることを目的。

主催 萩まちなかアート実行委員会

(山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会)

後援 萩商工会議所、萩市観光協会

会期 平成 20(2008)年 5 月 15 日(木)～8 月 17 日(日)

会場 萩市内各会場

①アートドキュメント・萩百景 2008

さまざまな手法による記録作成行為をとおして、「萩」という環境や場を作品化しようとする試み。

ワークショップ開催時期 7 月 1 日(火)～8 月 17 日(日)

展示・公開期間と会場 8 月 9 日(土)～8 月 17 日(日)

当館、萩市内田町商店街内「ジョイ 201」ほか

【ワークショップ部門】

ワークショップ(WS)タイトル	講師	開催日	参加人数	内容
WS 画像表現 『出会い』	下瀬信雄さん (写真家)	7/5,6	4 名	画像表現(写真)を通して、「萩」という環境や場を参加者の方々それぞれの視点で作品化。
うた & 演奏 WS 「萩の音百景」	山中知子さん (パオラ代表) ほか会員のみ なさん	8/12	50 名	「萩のなゝいろ」ほか、萩にちなんだ歌をはじめ、日本の四季を織り込んで、うたと楽器の演奏。
スタンドグラス WS 「萩の色」	中村和子さん (スタンドグラス教室「ゆとりろ」主宰)	7/20, 21	43 名	色とりどりのガラスを用い、自分の印象による「萩」のイメージカラーをスタンドグラスで表現する。
ダンス WS 「フラメンコを踊ってみよう」	ロス・アミー ゴス田万川	7/26	25 名	初心者も楽しめるフラメンコを、フラメンコ舞踊家山本壬子さんの指導で、学ぶ。
彫金 WS 真鍮でカンザシ作り	佐伯和章さん (彫銀作家)	8/16, 17	25 名	真鍮を使い、彫ったり、打ち込んだりして成型し棒カンザシを作製。
詩歌 WS 川柳教室	進藤浩さん (萩川柳会会長)ほか同会 員のみなさん	7/26	5 名	「川柳とはなにか?」からはじめる、初心者を対象とした作句で遊ぶ。
造形 WS 萩人形	岡野芳子さん (萩人形の会 代表)	8/11	10 名	萩の自然と文化・歴史をテーマとして、すべて手づくりの日本人形をつくる。

和太鼓 WS 響	白神順一さん (大板山ただら太鼓同好会 会員)ほか	8/9	12名	創作和太鼓の実演を鑑賞したあと、 和太鼓の基本～バチの握り方、構え 方、打ち方～を学ぶ。
----------	---------------------------------	-----	-----	--

【展示部門】

内 容:歌川広重の「名所江戸百景」シリーズにちなんで、人様々、それぞれのもつ心の中
の原風景「萩百景」をテーマとして表現した作品を展示することにより、「萩でしか
できない表現活動」を模索するきっかけを探った。

出展点数:180点 参観者 2,000名

アートフラワー 20点,人形 6点,生け花 3点,短歌 49点,絵画 15点,陶芸 1点,彫刻
3点,川柳 22点,画像表現 42点,ｽﾌｯﾄｸﾞﾗﾌ 19点

【パフォーマンス部門】

舞踊(平成20年8月16日実施)	参加者 80名
演奏「松陰先生の語りと踊り」(平成20年8月17日実施)	参加者 50名
大正琴(平成20年8月17日実施)	参加者 150名
フレンド・コーラス(平成20年8月17日実施)	参加者 50名

②陶と花のコラボレーション

実施日:8月1日(金)～10日(日)

場 所:旧久保田家住宅

内 容:萩の陶芸家の器作品と公募による花生人との共同制作作品の展示

入場者:3,660名 展示作品 33点,陶作品作成者 33名,花生け人 17名

③和風展示室での呈茶

実施日:8月9日(土),10日(日) 表千家萩地区青年部

8月16日(土),17日(日) (社)茶道裏千家淡交会維新青年部

場 所:本館和風展示室

内 容:金子 司の茶室「種々(くさぐさ)」の中での呈茶席

参加者:240名

④土火っと遊び隊 2008

実施日:8月10日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30

場 所:本館1階スロープ下

内 容:児童を対象とした陶芸ワークショップ

参加者:20名

2009 年度

「萩まちなかアート」

2008 年度からの継続事業として 2009 年度も同様の目的で本事業を開催した。

主 催 萩まちなかアート実行委員会
 (山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会)
 会 期 平成 21(2009)年 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(祝・火)
 会 場 当館、旧久保田家住宅(萩市呉服町)

①「アートドキュメント萩百景 2009」(会場:当館講座室、旧久保田家住宅)

【ワークショップ&パフォーマンス部門】

会期:9 月 19 日(土)～9 月 23 日(祝・水)と 10 月 24 日(土)～10 月 25 日(祝・火)

ワークショップ:箏による作曲,川柳,写真,水引など 参加者 125 名
 パフォーマンス:演奏,コーラスなど 参加者約 250 名

ワークショップ(WS)タイトル	講 師	開催日	内 容
箏による作曲	山本和智さん(作曲家) 日原史絵さん(箏弾き)	9/19	講師のアドバイスを参考に作曲法を学ぶ。
川柳教室	進藤浩さん (萩川柳会会長) 大場洋さん (萩川柳会副会長)	9/21	作句方法の伝授。その後、実際に川柳を自身で詠み、添削まで。
みんなつくろう短歌の一首	赤梨和則さん (山口県歌人協会理事)及 び萩阿武合同短歌会会員	9/21	短歌の作り方を学ぶ。
水引教室	柿並義子さん	9/23	日本の伝統的な工芸である水引を使い、和を身近なものとして体験。
画像表現 「出会い 2009」	下瀬信雄さん (写真家)	10/17	デジタルカメラで撮影した画像を加工し、自分の世界観や通常の世界とは異なる見方・視線での作品化。
ハモってみませんか	県庁グリークラブ	10/17	アカペラによる懐メロや唱歌などを聴いたり、一緒に歌ったりして、アカペラの魅力に触れる。
花を生けてみませんか	華道教授者有志	10/24,25	好みの花器と花を自分で選び、規格や規則にとらわれない花生体験。
思い出のメロディー	フレンドコーラス	10/24	城下町萩を「うた声」で明るく楽しく感じる。
大正琴	愛春会	10/24	大正琴の演奏を一緒に楽しむ。
「萩の音百景」 秋をうたう	パオラ	10/24	マイ・オリジナルカズー(kazoo)をつくり、秋をうたう。
聴いて歌って楽しもう	ユキノほか	10/24	古民家で聴いて歌って秋の夜長を楽しむ。

秋の夕べ 萩を口ず さんで	草野隆司	10/24	萩の景色をメロディーにして、口ず さむ。
------------------	------	-------	-------------------------

【展示部門】

10月24日(土)～11月3日(祝・火) 来場者 465人
ワークショップを行った川柳、短歌、水引、画像表現の作品および「土火っと遊び隊 2009」
の作品の一部の展示。

②土火っと遊び隊 2008ー小さいきものを作ろう！

実施日:9月22日(日) ①10:00～12:00 ②13:30～15:30

場 所:本館1階スロープ下

内 容:児童を対象とした陶芸ワークショップ。身の周りの小さいきもや
身近な動物をモチーフに、土で作る試み。

参加者:14名

③陶と花のコラボレーション

実施日:10月14日(火)～10月21日(火)

場 所:旧久保田家住宅

内 容:萩の陶芸家の器作品と公募による花生人との共同制作作品の展示

来場者:519名 展示作品 28点

2010年度

「萩まちなかアート」

2008、2009年度からの継続事業として2010年度も同様の目的で本事業を開催した。

主 催 萩まちなかアート実行委員会

(山口県立萩美術館・浦上記念館、萩市、萩市文化協会、萩陶芸家協会)

会 期 平成22(2010)年7月17日(土)～10月24日(日)

会 場 当館、旧久保田家住宅(萩市呉服町)

①「アートドキュメント萩百景 2010」

展示部門ワークショップ

8月1日(日)～9月19日(日) 参加者 273名

作品展示

9月18日(土)～9月26日(日) 来場者 884名

場所:旧久保田家住宅

ワークショップの成果発表、土火っと遊び隊 2010の作品展示。

舞台部門ワークショップ 9月18日(土) 来場者 135名

場所:旧久保田家住宅

【ワークショップ部門】

ワークショップ(WS)タイトル	講師	開催日	内 容
各自、自由な表現材料で、人物を表現してみよう。	長岡進氏 藤崎恒頼氏 (萩美術協会)	8/1	ヌードモデルを絵画や彫刻などさまざまな方法で表現してみませんか。
みんなで味わおう 短歌のいろいろ	赤梨 和則氏 (萩阿武合同短歌会)	8/8	短歌についてわかりやすく紹介し、短歌に親しみを持っていただく。
ガラスの良さを見て もらいたい	中村 和子氏(ステンドグラス工房ゆとり)	8/14・15	カットしてある色とりどりのガラスを、銅でできたテーブルで接着して作品をつくります。
ご自分で抹茶を点 て飲んでみませんか	表千家萩千萩会 会 員	8/14・15	ご自分で茶筌を使って点てます。飲み方など簡単な作法を教えます。
川柳中興の祖・井上剣 花坊と萩～川柳で人 生を豊かに～	進藤浩氏、大場洋氏 (萩川柳会)	8/21	川柳中興の祖・井上剣花坊の生涯と萩について、また剣花坊が主唱したことと川柳を学び、作句もしてみましよう。
いけばなワークショ ップ	池坊萩支部・青年部 阿武 紀香氏ほか有志	9/18・19	ふるさと萩の山野に咲く花と好きな花器をえらんで、いっしょに花を生けてみませんか
思い出のメロディー ～童謡・唱歌をうた いませんか～	岩崎 照子氏 (フレンドコーラス萩)	9/18	古くから伝わっている日本の歌、日本のメロディー、童謡、唱歌を楽しく歌いましょう。
大正琴	大正琴愛春会 木村美津枝氏	9/18	大正琴の演奏を通して交流の輪を広げていきましょう。大正琴の体験もできます。
詩吟朗読	堀田 記生氏	9/18	詩吟を身近に感じる。
音の花束 パォラ	山中知子氏 ほか (パォラ)	9/18	みんなの音でひとつになろう！
沖縄民謡エイサー	航空自衛隊 見島エイサー部	9/18	本場沖縄で学んだエイサーを独自のアレンジを加えて演舞

【展示部門】

9月18日(土)～9月26日(日)

ワークショップを行った川柳、短歌、水引、画像表現の作品および「土火っと遊び隊 2010」の作品の一部の展示。

②土火っと遊び隊 2010ー夏休みだ。やきものづくりにチャレンジ！-のぼり窯体験-

実施日:成形 7月17日(火)

窯焚き 8月7日(土),8日(日)

窯出し 8月12日(木)

場 所:城山窯(萩市堀内)

内 容:児童を対象に「成形」、「窯焚き」、「窯出し」とやきものが出来るまでの流れを体験。とくに普段体験できないのぼり窯での窯焚きに挑戦。

参加者:26名

③陶と花のコラボレーション

実施日:9月18日(土)～26日(日)

場 所:旧久保田家住宅

内 容:萩の陶芸家の器作品と公募による花生人との共同制作作品の展示
来場者:884名 展示作品 7点

なお 2011 年度以降指定管理者制度導入に伴い、本事業は山口県立萩美術館・浦上記念館
指定管理者サントリー・パブリシティサービスに移管。2014 年度時点で継続中の事業。

Ⅱ > 2 > (4) ギャラリートーク

ギャラリートーク

平常展示(普通展示)の開催に合わせた担当学芸員による列品解説。

原則として、毎月第2・4土曜日の11:00~12:00に実施

平成19年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4月28日	浮世絵	歌麿とその時代	藤村 忠範
2	5月12日	東洋陶磁	もう一つの景德鎮—古染付と天啓赤絵	石崎 泰之
3	5月26日	浮世絵	江戸の娯楽	吉田 洋子
4	6月9日	東洋陶磁	もう一つの景德鎮—古染付と天啓赤絵	石崎 泰之
5	10月27日	東洋陶磁	朝鮮半島のやきもの	石崎 泰之
6	11月10日	浮世絵	子は宝 浮世絵の母子像	藤村 忠範
7	11月24日	浮世絵	浮世絵の歴史	吉田 洋子
8	12月22日	浮世絵	明治の浮世絵 前期	鈴木 浩平
9	1月12日	浮世絵	明治の浮世絵 前期	鈴木 浩平
10	1月26日	浮世絵	明治の浮世絵 前期	鈴木 浩平
11	2月2日	陶芸	萩陶芸の伝統—継承と革新	石崎 泰之
12	2月9日	浮世絵	明治の浮世絵 後期	鈴木 浩平
13	2月16日	陶芸	萩陶芸の伝統—継承と革新	石崎 泰之
14	2月23日	浮世絵	明治の浮世絵 後期	鈴木 浩平
15	3月1日	陶芸	萩陶芸の伝統—継承と革新	石崎 泰之

平成20年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	6月14日	浮世絵	夏の美人たち	鈴木 浩平
2	6月28日	東洋陶磁	碧い器—青磁	石崎 泰之
3	7月12日	浮世絵	妖怪絵	藤村 忠範

平成21年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	5月9日	浮世絵	源平の武者絵	鈴木 浩平
2	5月23日	東洋陶磁	色鮮やかなやきもの	徳留 大輔
3	6月13日	浮世絵	豊原国周の役者絵	鈴木 浩平
4	7月11日	浮世絵	後期浮世絵の美人画	吉田 洋子
5	8月8日	浮世絵	小林清親の世界	鈴木 浩平
6	9月12日	浮世絵	相撲絵	吉田 洋子
7	10月10日	浮世絵	相撲絵	吉田 洋子

8	12月26日	浮世絵	月岡芳年 月百姿Ⅰ	鈴木 浩平
9	1月9日	浮世絵	月岡芳年 月百姿Ⅰ	鈴木 浩平
10	1月23日	東洋陶磁	白いやきもの	市来 真澄
11	2月13日	浮世絵	月岡芳年 月百姿Ⅱ	吉田 洋子
12	2月27日	東洋陶磁	白いやきもの	市来 真澄
13	3月13日	浮世絵	月岡芳年 月百姿Ⅲ	鈴木 浩平

平成 22 年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4月10日	浮世絵	春景色	吉田 洋子
2	4月24日	陶芸	半泥子と休和、壽雪	徳留 大輔
3	5月8日	浮世絵	月岡芳年 新形三十六怪撰	鈴木 浩平
4	5月22日	陶芸	半泥子と休和、壽雪	徳留 大輔
5	8月21日	浮世絵	浮世絵に描かれた富士の景	鈴木 浩平
6	9月25日	浮世絵	街道絵の世界	吉田 洋子
7	10月9日	東洋陶磁	中国・朝鮮古陶磁の美Ⅰ	徳留 大輔
8	10月23日	浮世絵	武者絵	藤村 忠範
9	11月13日	陶芸	山口県のわざと美	市来 真澄
10	11月27日	浮世絵	忠臣蔵	吉田 洋子
11	12月11日	東洋陶磁	中国・朝鮮古陶磁の美Ⅱ	徳留 大輔
12	12月25日	陶芸	萩大賞展関連行事 婆沙羅の器	石崎 泰之
13	1月8日	浮世絵	尾形月耕の美人画	鈴木 浩平
14	1月22日	東洋陶磁	中国・朝鮮古陶磁の美Ⅲ	徳留 大輔
15	2月12日	浮世絵	落合芳幾の世界Ⅰ	吉田 洋子
16	2月26日	陶芸	萩焼の茶碗	石崎 泰之
17	3月12日	浮世絵	落合芳幾の世界Ⅱ	鈴木 浩平
18	3月26日	東洋陶磁	古染付の世界	徳留 大輔

平成 23 年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4月9日	浮世絵	月岡芳年 風俗三十二相	吉田 洋子
2	4月23日	東洋陶磁	古染付の世界	徳留 大輔
3	5月14日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢カー	石崎 泰之
4	5月28日	陶芸	萩焼の花器	石崎 泰之
5	6月11日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢カー	石崎 泰之
6	7月9日	浮世絵	豊原国周の美人画	鈴木 浩平
7	7月23日	東洋陶磁	YOU! 桶 愛すべき土偶たち	徳留 大輔
8	8月13日	浮世絵	山口県と浮世絵	藤村 忠範

9	8月27日	陶芸	受贈記念 辻清明	石崎 泰之
10	9月10日	浮世絵	江戸の娯楽	吉田 洋子
11	9月24日	陶芸	萩焼の置物	石崎 泰之
12	10月8日	陶芸	藤笠砂都子展 現在形の陶芸 萩大賞展 2010 萩大賞受賞者展	石崎 泰之
13	10月22日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢力ー	石崎 泰之
14	11月12日	陶芸	藤笠砂都子展 現在形の陶芸 萩大賞展 2010 萩大賞受賞者展	石崎 泰之
15	11月26日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢力ー	石崎 泰之
16	12月10日	浮世絵	広重三代の世界 Part I 初代広重	鈴木 浩平
17	12月24日	東洋陶磁	優美 VS 清浄 高麗と朝鮮のやきもの	徳留 大輔
18	1月14日	陶芸	萩焼の人間国宝 三輪壽雪の鬼萩	石崎 泰之
19	1月28日	浮世絵	広重三代の世界 Part II 二代広重	吉田 洋子
20	2月11日	陶芸	婀娜めく素材ー転化するかたちー	石崎 泰之
21	2月25日	浮世絵	広重三代の世界 Part III 三代広重	鈴木 浩平
22	3月10日	東洋陶磁	優美 VS 清浄 高麗と朝鮮のやきもの	徳留 大輔
23	3月24日	陶芸	萩焼の人間国宝 三輪壽雪の鬼萩	石崎 泰之

平成 24 年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4月7日	陶芸	萩焼の花器	石崎 泰之
2	4月21日	浮世絵	江戸のグルメ	鈴木 浩平
3	5月12日	東洋陶磁	東洋陶磁の美 〈形〉	市来 真澄
4	5月26日	浮世絵	江戸の一年	鈴木 浩平
5	6月2日	陶芸	婀娜めく素材ー転化するかたちー	石崎 泰之
6	6月16日	浮世絵	江戸の一年	鈴木 浩平
7	7月14日	浮世絵	諸国名所風景画	鈴木 浩平
8	7月28日	浮世絵	戯画展	鈴木 浩平
9	8月11日	陶芸	記憶の触感ー土にこめた想いー	石崎 泰之
10	8月25日	東洋陶磁	東洋陶磁の美 〈装飾〉	市来 真澄
11	9月1日	浮世絵	明治の美人画 楊洲周延 Part I	鈴木 浩平
12	9月15日	陶芸	萩焼の近代	石崎 泰之
13	10月13日	浮世絵	明治の美人画 楊洲周延 Part II	鈴木 浩平
14	10月27日	陶芸	記憶の触感ー土にこめた想いー	石崎 泰之
15	11月10日	浮世絵	明治の美人画 楊洲周延 Part III	鈴木 浩平
16	11月24日	東洋陶磁	東洋陶磁の美 〈釉〉	市来 真澄
17	12月8日	陶芸	萩焼の近代	石崎 泰之
18	12月22日	浮世絵	雪月花ー雪ー	湊田 恵子

19	1月12日	陶芸	生の愉悦を物語ることー三輪休雪の陶芸ー	石崎 泰之
20	1月26日	浮世絵	溪斎英泉	鈴木 浩平
21	2月9日	陶芸	萩焼の茶陶	石崎 泰之
22	2月23日	東洋陶磁	東洋陶磁の美 〈釉〉	市来 真澄
23	3月9日	浮世絵	歌川国貞の美人画	湊田 恵子
24	3月23日	陶芸	生の愉悦を物語ることー三輪休雪の陶芸ー	石崎 泰之

平成 25 年度 ギャラリートーク

	実施月日	区分	展覧会名称	担当者
1	4月13日	東洋陶磁	東洋陶磁の美 〈土〉	市来 真澄
2	4月27日	浮世絵	明治のヒーロー 稗史絵	鈴木 浩平
3	5月11日	陶芸	生の愉悦を物語ることー三輪休雪の陶芸ー	石崎 泰之
4	5月25日	浮世絵	歌川派の役者絵	湊田 恵子
5	6月8日	陶芸	萩焼の茶陶	石崎 泰之
6	7月13日	浮世絵	夏の美人たち	吉田 洋子
7	7月27日	東洋陶磁	日本陶磁の魅力	市来 真澄
8	8月7日	浮世絵	浮世絵って、なあに？	鈴木 浩平
9	8月8日	浮世絵	浮世絵って、なあに？	鈴木 浩平
10	8月10日	浮世絵	浮世絵って、なあに？	鈴木 浩平
11	8月24日	陶芸	追悼 三輪壽雪	石崎 泰之
12	9月14日	浮世絵	雪月花ー月景色ー	湊田 恵子
13	9月28日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢力Ⅱー	石崎 泰之
14	10月12日	浮世絵	相撲絵	吉田 洋子
15	10月26日	東洋陶磁	粉青沙器	市来 真澄
16	11月9日	陶芸	追悼 三輪壽雪	石崎 泰之
17	11月23日	浮世絵	忠臣蔵	鈴木 浩平
18	12月14日	陶芸	〈龍人伝説〉の世界	石崎 泰之
19	1月11日	浮世絵	浮世絵に描かれた動物たち	吉田 洋子
20	1月25日	陶芸	オブジェー陶造形の潜勢力Ⅱー	石崎 泰之
21	2月8日	浮世絵	明治の役者絵	湊田 恵子
22	2月22日	東洋陶磁	緑釉陶器の歴史	市来 真澄
23	3月8日	陶芸	〈龍人伝説〉の世界	石崎 泰之
24	3月22日	浮世絵	月岡芳年 風俗三十二相	鈴木 浩平

Ⅱ > 2 > (5) 季刊誌「萩」

No.44(平成19年7月15日発行)

「工芸の素材 - その『かたち』」石崎泰之
「ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 初公開 浮世絵名品展」
連載「明治の美人画 第五回 尾形月耕」鈴木浩平
連載「萩焼経行 萩焼の土一金峯土、見島土、地土など」石崎泰之
作品募集のお知らせ 第1回山口県総合芸術文化祭 現在形の陶芸 萩大賞展
陶芸ワークショップ案内



No.45(平成19年10月15日発行)

「青磁を極める - 岡部嶺男展」唐澤昌宏(東京国立近代美術館 主任研究員)
「青磁を極める - 岡部嶺男展」
「山口県・山東省友好25周年記念展覧会 三輪休雪展 開催のお知らせ」
作品募集のお知らせ 第1回山口県総合芸術文化祭 現在形の陶芸 萩大賞展
平常展示案内
連載「萩焼経行 三輪休和」石崎泰之



No.46(平成20年1月15日発行)

「山口県・山東省友好25周年記念事業『三輪休雪展』の一日」石崎泰之
小企画展示(浮世絵・陶芸)案内
連載「明治の美人画 第六回 落合芳幾」鈴木浩平
新収蔵品紹介(平成19年度寄贈作品、購入作品)



No.47(平成20年4月15日発行)

『知らない北斎』と『知ってる北斎』 神谷浩(名古屋市美術館 学芸課長)
「北斎 - シーボルトの見た日本 -」展
「カレーと中華 中国仏像の黎明」岩井共二(山口県立美術館 主任学芸員)
「山口県・山東省友好協定締結25周年 仏教美術の黎明 - 中国山東省石仏展」
第1回山口県総合芸術文化祭「現在形の陶芸 萩大賞展」報告
平常展示案内
平成20年度 年間展示案内



No.48(平成20年7月15日発行)

『種々(くさぐさ)のかたち』石崎泰之
「没後150年記念 広重の風景版画展
花のお江戸の日本橋 - 広重の名所絵に描かれたイメージ」鈴木浩平
「没後150年記念 広重の風景版画展」
「イタリア現代陶芸の巨匠 カルロ・ザウリ展」
「1950年代のザウリからピアンキ・ザウリへ」
渡部誠一(岐阜県現代陶芸美術館 副館長)
萩まちなかアート開催のお知らせ



No.49(平成20年10月15日発行)

「美術館事業活動報告 萩まちなかアート」長岡彩、津村直子、徳留大輔
連載「最終回 明治の美人画 水野年方」鈴木浩平
カルロ・ザウリ展イタリア現代陶芸の巨匠 - 講演会を通しての魅力の紹介 -



No.50(平成21年1月15日発行)

山口県立萩美術館・浦上記念館 陶芸展示施設 案内
事業報告「アンリ・リヴィエールって誰なの？」
アンリ・リヴィエール日蔵浮世絵作品調査」藤村忠範
連載「萩焼経行 毛利輝元の割高台茶碗」石崎泰之



No.51(平成21年3月31日発行)

「受贈記念特別展 染野夫妻陶芸コレクションーリーチ・濱田・豊藏・壽雪」
「豪放と優雅と - 休雪さんのこと」染野義信(故人)※解説 石崎泰之
平常展示案内
「コレクション(東洋陶磁)紹介」徳留大輔
平成21年度 年間展示案内



No.52(平成21年7月15日発行)

「『煉獄の茶室』案内 吉村芳生の日常」石崎泰之
「創立250周年記念 ウェッジウッド ヨーロッパ陶磁器デザインの歴史」
「中近世・海のシルクロードを介した山口と中国との交流」徳留大輔
「海のシルクロードの出発点“福建” 沈没船、貿易都市、陶磁器、茶文化」
平常展示案内
アートドキュメント萩百景2009 ワークショップ企画募集



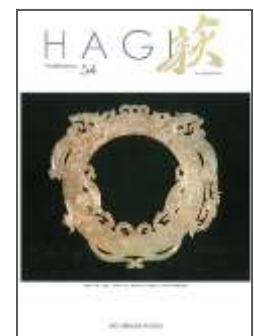
No.53(平成21年10月15日発行)

「アンリ・リヴィエールの愛したブルターニュ」藤村忠範
「フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール展」
オルセー美術館 フランス国立図書館所蔵
「シリーズ山東文物8 中華のかかやきー中国山東省古玉器」展
浮世絵展示案内 月岡芳年「月百姿」
記念講演会報告
萩まちなかアート開催のお知らせ
第2回現在形の陶芸 萩大賞展 開催・作品募集のお知らせ
活動報告 土火っと遊び隊2009 小さいきものを作ろう



No.54(平成22年1月15日発行)

「ジェードロード(玉の道)が生み出した中華のかかやき」徳留大輔
「シリーズ山東文物8 中華のかかやき - 中国山東省古玉器 - 」展
東洋陶磁展示案内 「白いやきもの」
活動報告 萩まちなかアート
現在形の陶芸 萩大賞展2010 作品募集のお知らせ



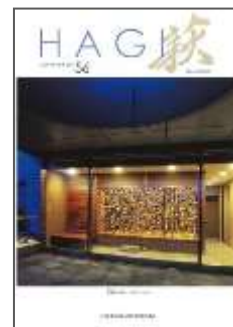
No.55(平成22年3月31日発行)

「嗚呼 半泥子さん」渡辺弓雄(展覧会プロデューサー)
「川喜田半泥子のすべて」展
「棟方志功 祈りと旅」展
現在形の陶芸 萩大賞展2010 作品募集のお知らせ
平常展示案内
特選鑑賞室案内
平成22年度 年間展示案内



No.56(平成22年7月15日発行)

「禹寛塚の茶室『人間というもの』現代韓国の陶芸的表現の作法」石崎泰之
「棟方志功の信仰と美について」藤村忠範
「棟方志功 祈りと旅」展
「陶芸館開館記念Ⅰ 龍人伝説への道 三輪休雪展」
「物語る陶造形 ー<龍人伝説>」石崎泰之
萩まちなかアート アートドキュメント・萩百景 2010
ワークショップ&展示のお知らせ
現在形の陶芸 萩大賞展 2010 作品募集のお知らせ



No.57(平成22年10月15日発行)

「陶芸館開館記念Ⅱ『日本のわざと美』展ー重要無形文化財とそれを支える人々ー」
山口県のわざと美
寄贈者 浦上敏朗の軌跡
寄贈作品(平成21~22年度)
「おいでませ!山口国体・山口大会文化プログラム事業」募集のお知らせ
全国伝統的工芸品フェスタ in 萩
現在形の陶芸 萩大賞展 2010 関連イベントと参加募集のお知らせ



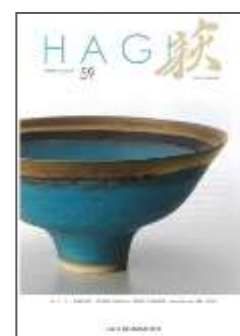
No.58(平成23年1月15日発行)

「現在形の陶芸 萩大賞展 2010」受賞作品 紹介
「日本のわざと美」展 関連事業報告(講演会、製作実演)
普通展示案内 2011年1月2日~5月8日



No.59(平成23年3月31日発行)

「ルーシー・リー:制作の秘密」金子賢治(茨城県陶芸美術館 館長)
「ルーシー・リー展 ウィーン、ロンドン、都市に生きた陶芸家」
「駒井哲郎 1920-1976」
「世田谷美術館と駒井哲郎」清水真砂(世田谷美術館 学芸部長)
普通展示案内 2011年4月5日~11月27日
特選鑑賞室展示案内
平成23(2011)年度 年間展示案内(11月まで)
平成23(2011)年度 美術講座(上半期)



No.60(平成23年7月15日発行)

「反語的茶陶—柳原睦夫『茶室・空室・四畳半』に寄せて」石崎泰之
「古陶の譜 中世のやきもの—六古窯とその周辺—」
「実用と鑑賞の中世のやきもの」市来真澄
「駒井哲郎 1920-1976」
「おいでませ！山口国体・山口大会文化プログラム事業
開館 15周年記念 浮世絵名品 300選」



No.61(平成23年10月15日発行)

「遠く、江戸の錦絵に描かれた錦帯橋」鈴木浩平
「おいでませ！山口国体・山口大会文化プログラム事業
開館 15周年記念 浮世絵名品 300選」
「イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師 ゲッリーノ・トラモンティ展」
藤笠砂都子展 現在形の陶芸 萩大賞展 2010大賞受賞者展
受贈作品(平成23年度)
「萩美術館・浦上記念館 開館 15周年に、つらつら想う私事」上田秀夫



No.62(平成24年1月15日発行)

「多彩な芸術家、ゲッリーノ・トラモンティの創作活動について」
唐澤昌宏(東京国立近代美術館 工芸課長)
「イタリア・ファエンツァが育んだ色の魔術師 ゲッリーノ・トラモンティ展」
活動報告「萩まちなかアート」
普通展示案内



No.63(平成24年3月31日発行)

「アール・デコ 光のエleganceあるいはマチエールの誘惑」池田まゆみ(美術工芸史家)
「アール・デコ 光のエlegance」
「第35回 山口伝統工芸展」
「日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展」
普通展示案内
特選鑑賞室展示案内
平成24年度展示案内



No.64(平成24年7月15日発行)

「熔接観という造形思考についてーさびのけしき - 留守玲の茶室」石崎泰之
「世界的有名陶磁ブランド 龍泉窯青磁の歴史」徳留大輔
「光と影へのノスタルジー 明治期と大正期」菊屋吉生(山口大学 教授)
「日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展」
「清親と安治 光線画の時代」

美術館まちなが交流促進事業 HAGI URAGAMI MUSEUM★★

アート・フェスティバルのご案内

土火っと遊び隊2012 夏休みだ。やきものづくりにチャレンジ！参加者募集



No.65(平成24年10月15日発行)

「『古萩』と呼ばれる萩焼」石崎泰之
「古萩ー江戸の美意識ー」

普通展示案内

山口県・山東省友好協定締結30周年記念「萩焼ー山口県の陶芸」展 報告

美術館まちなが交流促進事業 HAGI URAGAMI MUSEUM★★

アート・フェスティバル 活動報告



No.66(平成25年1月15日発行)

「溪斎英泉の艶」鈴木浩平
「陶磁器にかけられた和菓の魅力に迫る」

平成24年度 寄贈作品紹介



No.67(平成25年4月15日発行)

「萩陶芸家協会設立20周年記念 萩の陶芸家たち展」

「第36回 山口伝統工芸展」

「山口県・山東省友好協定締結30周年記念

黄河と泰山展ー中華文明の源と世界遺産ー」

普通展示案内

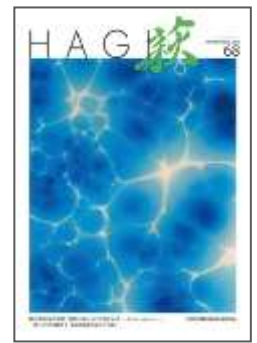
特選鑑賞室展示案内

平成25年度 年間展示案内



No.68(平成25年7月15日発行)

「小高良作の茶室 偶然が縁となり宇宙になる—Coincidence—」徳留大輔
『黄河と泰山展』を楽しむためのミニ・ギャラリートーク」徳留大輔
「山口県・山東省友好協定締結30周年記念
黄河と泰山展—中華文明の源と世界遺産」
「大和保男の陶芸—魂の造形—」
「大和保男の陶芸—魂の造形展の開催に寄せて」石崎泰之
浮世絵ウィーク参加募集のお知らせ
現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 開催・作品募集のお知らせ



No.69(平成25年10月15日発行)

「日本の美をみせるフランスの陶磁器」三浦弘子(滋賀県立陶芸の森 主任学芸員)
「フランス印象派の陶磁器—ジャポニズムの成熟 1866-1886」
特集展示 追悼 三輪壽雪
東洋陶磁展示案内 「粉青沙器」
浮世絵展示案内 「相撲絵」



No.70(平成26年1月15日発行)

「現在形の陶芸—萩大賞展Ⅲ」受賞作品 紹介
平成25年度 寄贈作品紹介
普通展示案内
東洋陶磁展示案内 「緑釉陶器の歴史」



Ⅱ > 2 > (6) 博物館実習

博物館実習の受入

期間	日 数	人数	実習生の在籍校
平成 19 年度	8 月 7 日～8 月 13 日 7 日間	2 名	京都精華大学, 筑紫女学園大学
平成 20 年度	8 月 5 日～8 月 11 日 7 日間	1 名	成安造形大学
平成 21 年度	7 月 28 日～8 月 3 日 7 日間	1 名	広島女学院大学
平成 22 年度	実績なし		
平成 23 年度	8 月 23 日～8 月 29 日 7 日間	2 名	大阪国際大学, 奈良女子大学
平成 24 年度	実績なし		
平成 25 年度	8 月 5 日～8 月 11 日 7 日間	1 名	京都女子大学

Ⅱ > 3 館蔵品貸出利用状況

展示会名称:ようこそ!狸御殿へーおもしろき日本のためき表現

展示会開催館名:滋賀県立陶芸の森

貸出年月日:2007/3/5~2007/6/10

貸出先:滋賀県立陶芸の森

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
歌川国芳	狸のすもゝ 狸の夜見世	横中判 2丁掛 1枚 (U517)

展示会名称:鳥居清長展

展示会開催館名:千葉市美術館

貸出年月日:2007/4/14~2007/6/24

貸出先:千葉市美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
鳥居清長	中村里好と遊女	間判 1枚 (U32)
鳥居清長	少女玉花子の席書	中判 1枚 (U33)
鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判 1枚 (U34)
鳥居清長	五節遊 雛祭	中判 1枚 (U36)
鳥居清長	出語図 四天王大江山入	大判 1枚 (U37)
鳥居清長	金太郎の凧上げ	大判 1枚 (U40)
鳥居清長	浮世七小町 関寺	中判 1枚 (U41)
鳥居清長	和国美人略集 小式部内侍	中判 1枚 (U2662)
鳥居清長	雛形若菜の初模様 あふきや内遠路 里次 浦次	大判 1枚 (U2664)
鳥居清長	女三の宮	大判 1枚 (U2666)
鳥居清長	隅田川渡し船	大判 3枚続 (U2667)
鳥居清長	四代世松本幸四郎と美人	細判 1枚 (U2668)
鳥居清長	社頭の見合い	大判 1枚 (U2793)
鳥居清長	当世遊里美人合 又江	大判 2枚続 (U4919)

展示会名称:北斎

展示会開催館名:江戸東京博物館、名古屋市美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

貸出年月日:2007/11/15~2008/6/10

貸出先:東京新聞事業局

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
葛飾北斎	諸国瀧廻り 相州大山 ろうべんの瀧	大判 1枚 (U2733)
葛飾北斎	諸国瀧廻り 東都葵ヶ岡の滝	大判 1枚 (U5003)
葛飾北斎	諸国瀧廻り 和州吉野義経馬洗滝	大判 1枚 (U130)

葛飾北斎	諸国瀧廻り 木曾海道小野ノ瀑布	大判 1 枚(U129)
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 飛越の堺つりはし	横大判 1 枚(U133)
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 東海道岡崎 矢はきのはし	横大判 1 枚(U134)
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 すほうの国きんたいはし	横大判 1 枚(U132)
葛飾北斎	諸国名橋奇覧 足利行道山 くものかけはし	横大判 1 枚(U131)
葛飾北斎	百物語 さらやしき	中判 1 枚(U145)
葛飾北斎	百物語 こはだ小平二	中判 1 枚(U144)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	横大判 1 枚(U2712)
葛飾北斎	富嶽三十六景 相州七里浜	横大判 1 枚(U113)
葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	横大判 1 枚(U2714)
葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州石班澤	横大判 1 枚(U114)
葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三嶋越	横大判 1 枚(U2715)
葛飾北斎	富嶽三十六景 信州諏訪湖	横大判 1 枚(U116)
葛飾北斎	富嶽三十六景 駿州江尻	横大判 1 枚(U117)
葛飾北斎	富嶽三十六景 遠江山中	横大判 1 枚(U118)
葛飾北斎	富嶽三十六景 常州牛堀	横大判 1 枚(U2586)
葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	横大判 1 枚(U107)
葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判 1 枚(U2704)
葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	横大判 1 枚(U108)
葛飾北斎	富嶽三十六景 深川万年橋下	横大判 1 枚(U109)
葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	横大判 1 枚(U2710)
葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	横大判 1 枚(U112)
葛飾北斎	富嶽三十六景 江都駿河町三井見世略図	横大判 1 枚(U2716)
葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	横大判 1 枚(U119)
葛飾北斎	富嶽三十六景 五百らかん寺 さゞみどう	横大判 1 枚(U120)
葛飾北斎	富嶽三十六景 礪川雪ノ旦	横大判 1 枚(U121)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	横大判 1 枚(U2723)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	横大判 1 枚(U2724)
葛飾北斎	富嶽三十六景 江戸日本橋	横大判 1 枚(U126)
葛飾北斎	富嶽三十六景 隅田川関屋の里	横大判 1 枚(U5088)
葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	横大判 1 枚(U2727)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道程ヶ谷	横大判 1 枚(U2751)
葛飾北斎	富嶽三十六景 本所立川	横大判 1 枚(U2792)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二	横大判 1 枚(U2730)
葛飾北斎	富嶽三十六景 諸人登山	横大判 1 枚(U2731)
葛飾北斎	風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	大判 1 枚(U105)
葛飾北斎	吉原妓楼の図	大判 5 枚続(U142)

展示会名称:サントリー美術館開館 1 周年記念展 ガレとジャポニスム
 展示会開催館名:サントリー美術館、サントリーミュージアム天保山
 貸出年月日:2008/3/1~2008/7/31

貸出先:サントリー美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
葛飾北斎	北斎漫画 初編	絵本 1冊(U152)
葛飾北斎	北斎漫画 十三編	絵本 1冊(U158)
葛飾北斎	北斎画譜 下編	絵本 1冊(U151)
葛飾北斎	富嶽百景 二編	絵本 1冊(U147)
歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋敷	大判 1枚(U970)
歌川広重	名所江戸百景 堀切の花菖蒲	大判 1枚(U997)

展示会名称:萩陶芸家協会設立 15周年「萩・韓国現代陶芸交流展」

展示会開催館名:旧久保田家住宅

貸出年月日:2008/6/27～2008/7/22

貸出先:萩陶芸家協会

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪休雪(12代)	卑弥呼の書	1基	平成3年(K22)

展示会名称:明治維新 140年記念特別展「明治維新の光と影」

展示会開催館名:萩市博物館

貸出年月日:2008/9/5～2008/11/30

貸出先:萩博物館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
月岡芳年	明治天皇御東幸千代田城御入城之図	大判 3枚続(U3469)
楊洲周延	征韓論之図	大判 3枚続(U2587)
月岡芳年	明治小史年間紀事 鹿児島県下賊徒蜂起之事件	大判 3枚続(U1631)

展示会名称:だまし絵展

展示会開催館名:名古屋市美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、兵庫県立美術館

貸出年月日:2009/4/1～2009/11/13

貸出先:中日新聞社

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
歌川国芳	としよりのよふな若い人だ	大判 1枚(U431)
歌川国芳	みかけはこはゐがとんだいゝ人だ	大判 1枚(U432)
歌川国芳	人かたまって人になる	大判 1枚(U5128)
歌川国芳	猫の当字 なまづ	大判 1枚(U513)

展示会名称:フランスの浮世絵師 アンリ・リヴィエール
 展示会開催館名:石川県立美術館、神奈川県立近代美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館
 貸出年月日:2009/7/1～2009/12/25
 貸出先:財団法人 NHK サービスセンター

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
アンリ・リヴィエール	エッフェル塔三十六景	横判 1冊(U5013)
川瀬巴水	金沢流れのくるわ	— 1枚(U5143)
川瀬巴水	松島桂島	— 1枚(U5140)
川瀬巴水	暮れゆく古川堤	— 1枚(U5141)
吉田博	隅田川 夕	— 1枚(U5151)
吉田博	隅田川	— 1枚(U5152)
吉田博	ヴェニスの方	— 1枚(U5159)

展示会名称:染野夫妻陶芸コレクションーリーチ・濱田・豊藏・壽雪一
 展示会開催館名:東京国立近代美術館工芸館
 貸出年月日:2009/8/10～2009/11/20
 貸出先:独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
バーナード・リーチ	鉄絵茶碗	1口	昭和40年(K36)
バーナード・リーチ	天目碗	1口	昭和41年(K37)
バーナード・リーチ	白磁櫛目茶碗	1口	昭和48年(K42)
バーナード・リーチ	鉄釉瓶	1口	昭和41年(K38)
バーナード・リーチ	角扁壺	1口	昭和43年(K39)
バーナード・リーチ	天目壺	1口	昭和46年(K40)
バーナード・リーチ	柿釉壺	1口	昭和46年(K41)
バーナード・リーチ	花図	1葉	昭和46年(O15)
濱田庄司	掛合釉胴紐茶碗	1口	昭和46年頃(K247)
濱田庄司	胴紐鉄絵茶碗	1口	昭和46年頃(K248)
濱田庄司	灰釉白掛胴紐茶碗	1口	昭和49年(K249)
濱田庄司	赤絵茶碗	1口	昭和40年(K236)
濱田庄司	琉球窯赤絵茶碗	1口	昭和43年(K238)
濱田庄司	海鼠釉縁黒茶碗	1口	昭和44年(K241)
濱田庄司	灰釉縁白切込茶碗	1口	昭和45年(K242)
濱田庄司	灰釉白打胴紐茶碗	1口	昭和46年(K245)
濱田庄司	琉球窯面取赤絵藍差茶碗	1口	昭和46年(K246)
濱田庄司	白釉筆描茶碗	1口	昭和52年(K253)
濱田庄司	柿釉抜絵皿	1口	昭和58年頃(K232)
濱田庄司	焼〆釉描皿	1口	昭和26年頃(K234)
濱田庄司	柿釉赤絵角皿	1口	昭和30年頃(K235)
濱田庄司	黒釉鏝流描皿	1口	昭和42年頃(K237)
濱田庄司	鉄砂丸紋赤絵取皿(6客)	1口	昭和50年(K250)

濱田庄司	塩釉鉄絵鉢	1 □	昭和 50 年(K251)
濱田庄司	白差指描大鉢	1 □	昭和 52 年(K252)
濱田庄司	柿釉青上絵角瓶	1 □	昭和 45 年頃(K233)
濱田庄司	柿釉赤絵六角花生	1 □	昭和 44 年(K240)
濱田庄司	赤絵六角筒	1 □	昭和 44 年(K239)
濱田庄司	塩釉湯呑	1 □	昭和 45 年頃(K243)
濱田庄司	塩釉湯呑	1 □	昭和 45 年頃(K244)
荒川豊蔵	梅絵茶碗	1 □	昭和 40 年頃(K66)
荒川豊蔵	志野茶碗	1 □	昭和 42 年(K67)
荒川豊蔵	瀬戸黒茶碗	1 □	昭和 42(K70)
荒川豊蔵	志野茶碗	1 □	昭和 43 年(K68)
荒川豊蔵	志野茶碗 銘 曙	1 □	昭和 43 年(K69)
荒川豊蔵	唐津茶碗 銘 下崩	1 □	昭和 43 年頃(K71)
荒川豊蔵	志野茶碗 銘 残雪	1 □	昭和 45 年(K72)
荒川豊蔵	茶碗	1 □	昭和 45 年頃(K73)
荒川豊蔵	唐津風月乃絵茶碗	1 □	昭和 45 年頃(K74)
荒川豊蔵	志野茶碗 銘 深山乃雪	1 □	昭和 46 年(K80)
荒川豊蔵	染付馬乃絵茶碗	1 □	昭和 46 年頃(K82)
荒川豊蔵	志野茶碗 銘 早春	1 □	昭和 47 年(K83)
荒川豊蔵	鼠志野鶴絵茶碗 銘 荒磯	1 □	昭和 51 年(K85)
荒川豊蔵	桔梗乃絵錦皿	1 □	昭和 32 年(K81)
荒川豊蔵	牡丹平鉢	1 □	昭和 49 年頃(K84)
荒川豊蔵	黄瀬戸竹花入	1 □	昭和 51 年(K86)
荒川豊蔵	志乃香合	1 □	昭和 45 年頃(K77)
荒川豊蔵	志乃香合	1 □	昭和 45 年頃(K78)
荒川豊蔵	志乃盃	1 □	昭和 45 年頃(K79)
荒川豊蔵	志乃盃	1 □	昭和 45 年頃(K75)
荒川豊蔵	志野酒盃	1 □	昭和 45 年頃(K76)
荒川豊蔵	黄瀬戸盃	1 □	昭和 51 年頃(K65)
荒川豊蔵	花鳥風月	1 □	昭和 52 年(O16)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩茶碗 銘 雲間ノ月	1 □	昭和 42 年(K129)
三輪壽雪(11代休雪)	紅萩茶碗 銘 豊旗雲	1 □	昭和 43 年(K130)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 早瀬	1 □	昭和 43 年(K132)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 暁雲	1 □	昭和 45 年(K134)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩茶碗 銘 若水	1 □	昭和 45 年頃(K135)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩茶碗 銘 陽炎	1 □	昭和 46 年(K136)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 瑞雲	1 □	昭和 47 年(K137)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 獅子	1 □	昭和 47 年(K138)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩茶碗 銘 春雷	1 □	昭和 48 年(K139)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 日和	1 □	昭和 52 年(K140)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩茶碗 仮銘 天女の衣	1 □	昭和 56 年頃(K141)
三輪壽雪(11代休雪)	萩掛分茶碗 銘 舞衣	1 □	昭和 61 年(K144)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 天が火	1 □	昭和 59 年(K142)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩割高台茶碗 銘 風神	1 □	平成元年(K145)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩窯変翠色茶碗 銘 湛静	1 □	平成 2 年(K146)

三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変割高台茶碗 銘 雷神	1 □	平成 2 年(K147)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩茶碗 銘 彩霞	1 □	平成 6 年(K149)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩割高台茶碗 銘 大盤石	1 □	平成 7 年(K150)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変茶碗 銘 垂水の春	1 □	平成 10 年(K156)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩茶碗	1 □	平成 12 年(K159)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩割高台茶碗 銘 瑞龍	1 □	平成 12 年頃(K160)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花	1 □	平成 15 年(K161)
三輪壽雪(11代休雪)	紅萩菱形水指 銘 花篝	1 □	昭和 44 年(K133)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩灰被水指 銘 金剛	1 □	平成 2 年(K148)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩菱形水指 銘 白心	1 □	平成 15 年(K162)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩平皿	1 □	昭和 43 年(K131)
三輪壽雪(11代休雪)	萩面取花入	1 □	昭和 41 年(K128)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩灰被花入 銘 猛虎	1 □	平成 9 年(K151)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩掛花入	1 □	平成 10 年頃(K158)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩窯変壺	1 □	昭和 60 年(K143)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩陶匣 銘 花の宴	1 □	平成 10 年(K157)
三輪壽雪(11代休雪)	萩盃	1 □	昭和 41 年(K126)
三輪壽雪(11代休雪)	萩徳利	1 □	昭和 41 年(K127)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩焼盃 銘 夕吹雪	1 □	平成 9 年(K152)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩焼盃 銘 雪月夜	1 □	平成 9 年頃(K153)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩焼盃 銘 瑞雲	1 □	平成 10 年(K154)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩焼盃 銘 鶴の舞	1 □	平成 10 年(K155)
三輪壽雪(11代休雪)	書「静」	1 幅	昭和 63 年頃(O17)
北大路魯山人	木の葉額皿	1 □	不詳(K229)
北大路魯山人	呉須赤絵ぐい呑	1 □	不詳(K228)
三代井上良斎	黒釉釘彫茶碗	1 □	昭和 41 年(K44)
河井寛次郎	花絵盃	1 □	不詳(K53)
堂本印象	自刻自彩ちゃわん 抽象	1 □	平成 4 年(K219)
石黒宗麿	赤絵双魚小服茶碗	1 □	昭和 43 年(K186)
石黒宗麿	小ぶり鉄絵茶碗	1 □	昭和 43 年頃(K187)
石黒宗麿	文字鉢	1 □	昭和 40-43 年頃(K185)
三輪休和(10代休雪)	萩茶碗	1 □	昭和 42 年頃(K112)
三輪休和(10代休雪)	萩茶碗	1 □	昭和 43 年頃(K113)
三輪休和(10代休雪)	萩割高台茶碗	1 □	昭和 41 年(K108)
三輪休和(10代休雪)	萩茶碗	1 □	昭和 41 年(K109)
三輪休和(10代休雪)	萩茶碗	1 □	昭和 42 年(K110)
三輪休和(10代休雪)	白萩窯変平皿	1 □	昭和 40 年(K111)
三輪休和(10代休雪)	萩雀香合	1 □	昭和 39 年頃(K107)
三輪休和(10代休雪)	萩酒呑	1 □	昭和 45 年頃(K114)
三輪休和(10代休雪)	萩酒呑	1 □	昭和 45 年頃(K115)
三輪休和(10代休雪)	白萩松かさ香合	1 □	昭和 46 年頃(K116)
三輪休和(10代休雪)	白萩焼徳利	1 □	昭和 50 年頃(K117)
三輪休和(10代休雪)	萩酒呑	1 □	昭和 51 年(K118)
三輪休和(10代休雪)	書 和風	1 □	昭和 41 年(O14)
中里無庵(12代太郎衛門)	朝鮮唐津耳付水指	1 □	昭和 43 年(K189)

金重陶陽	備前茶碗	1 □	昭和 40 年頃 (K58)
初代村瀬治兵衛	黒茶碗	1 □	昭和 28-37 年頃 (K188)
十二代今泉今右衛門	色鍋島染地露草額皿	1 □	昭和 49 年頃 (K87)
楠部彌弼	印華文茶碗	1 □	昭和 44 年 (K221)
宮之原謙	彩盛磁竹文茶碗	1 □	昭和 48 年 (K55)
加藤唐九郎	絵唐津茶碗	1 □	昭和 45-49 年頃 (K52)
藤原 啓	備前德利	1 □	昭和 51 年頃 (K195)
藤原 啓	備前酒杯	1 □	昭和 51 年頃 (K196)
藤原 啓	備前酒杯	1 □	昭和 51 年頃 (K197)
加藤土師萌	絵唐津茶碗 銘 龍	1 □	昭和 40 年代前半 (K46)
加藤土師萌	御本内鶴茶碗	1 □	昭和 40 年代前半 (K47)
加藤土師萌	色絵鉄砂梅松文銘々皿 (6 客)	1 □	昭和 40 年代前半 (K48)
加藤土師萌	織部手付角皿	1 □	昭和 45 年 (K50)
加藤土師萌	色絵筋文湯呑 (6 客)	1 □	昭和 41 年 (K49)
加藤土師萌	色絵染付湯呑 (6 客)	1 □	昭和 45 年 (K51)
小山富士夫	種子島酒觴	1 □	昭和 48 年頃 (K167)
六代清水六兵衛	瑞竹茶碗	1 □	昭和 39 年頃 (K179)
六代清水六兵衛	錆拗梅茶碗	1 □	昭和 40 年頃 (K180)
六代清水六兵衛	金彩三島茶碗	1 □	昭和 44 年 (K183)
六代清水六兵衛	古稀彩桔梗飾皿	1 □	昭和 40 年頃 (K181)
六代清水六兵衛	釉象花瓶	1 □	昭和 40 年頃 (K182)
近藤悠三	天目茶碗	1 □	昭和 45 年頃 (K56)
近藤悠三	山染付盃	1 □	昭和 45 年頃 (K57)
山本陶秀	備前酒呑	1 □	昭和 49 年頃 (K164)
山本陶秀	備前酒呑	1 □	昭和 49 年頃 (K163)
井上治男	彩磁菖蒲茶碗	1 □	昭和 45 年 (K43)
十一代坂高麗左衛門	萩茶碗	1 □	昭和 55 年頃 (K90)
塚本快示	青白磁茶碗	1 □	昭和 56 年頃 (K190)
塚本快示	白瓷茶碗	1 □	昭和 56 年頃 (K191)
金城次郎	魚紋鉢	1 □	平成元年 (K63)
金城次郎	魚文抱瓶	1 □	昭和 63 年頃 (K62)
金城次郎	花生	1 □	昭和 63 年頃 (K61)
金城次郎	魚文抱瓶	1 □	平成元年 (K64)
金城次郎	湯呑	1 □	昭和 63 年頃 (K60)
加藤卓男	青釉高台鉢「風韻」	1 □	平成 6 年頃 (K45)
西岡小十	斑唐津ぐい呑	1 □	平成 4 年 (K184)
八木一夫	印花文の器	1 □	昭和 46-52 頃 (K222)
樂 寛入 (14 代吉左衛門)	楽茶碗	1 □	昭和 50 年頃 (K231)
田村耕一	ぐい呑	1 □	不詳 (K192)
藤本能道	赤絵茶碗	1 □	昭和 45-50 年頃 (K201)
藤本能道	鉄絵茶碗	1 □	昭和 45-50 年頃 (K202)
藤本能道	色絵花童児水指	1 □	昭和 48 年頃 (K207)
藤本能道	色絵牡丹図角皿 (5 客)	1 □	昭和 45-50 年頃 (K204)
藤本能道	色絵松林童女図角皿	1 □	昭和 48 年頃 (K208)
藤本能道	色絵童児牡丹大皿	1 □	昭和 48 年頃 (K209)

藤本能道	色絵枯葉と尾長図丸大鉢	1口	昭和48年頃(K210)
藤本能道	色絵ばら之図角皿	1口	昭和48年頃(K211)
藤本能道	赤絵草花文組皿(5客)	1口	昭和49年(K213)
藤本能道	赤絵ぐい呑み	1口	昭和45-50年頃(K200)
藤本能道	柘榴文徳利	1口	昭和45-50年頃(K203)
藤本能道	赤絵ぐい呑み	1口	昭和45-50年頃(K205)
藤本能道	色絵角ぐい呑み	1口	昭和48年頃(K212)
藤本能道	色絵コーヒ碗(6客)	1口	昭和45年(K199)
藤本能道	赤絵汲み出し碗(5客)	1口	昭和48年(K206)
藤本能道	色絵茄子ぐい呑	1口	昭和49年(K214)
藤本能道	色絵椿ぐい呑	1口	昭和50年(K215)
藤本能道	色絵茄子ぐい呑	1口	昭和50年(K216)
藤本能道	色絵椿ぐい呑	1口	昭和50年(K217)
藤本能道	色絵椿ぐい呑	1口	昭和50年(K218)
島岡達三	白掛ぐい呑	1口	平成4年頃(K194)
島岡達三	象嵌赤絵ぐい呑	1口	平成4年(K193)
藤平 伸	盃	1口	平成6年(K198)
篠田義一	金彩盃	1口	昭和49年頃(K166)
清水卯一	白釉茶碗	1口	昭和39年(K173)
清水卯一	灰釉鉄絵茶碗	1口	昭和47年(K177)
清水卯一	白貫入茶碗	1口	昭和47年(K178)
清水卯一	青瓷花瓶	1口	昭和45年(K176)
清水卯一	紅斑文汲出碗(5客)	1口	昭和42年(K174)
清水卯一	紅斑文急須	1口	昭和42年(K175)
松井康成	練上平茶碗	1口	昭和49年(K168)
松井康成	練上青瓷碗	1口	昭和59年頃(K170)
松井康成	練上酒呑	1口	昭和49年頃(K169)
坂田泥珠(14代泥華)	萩茶碗	1口	昭和52年(K89)
坂田泥珠(14代泥華)	萩白釉四方鉢	1口	昭和50年代前半(K88)
徳田八十吉	燿彩茶碗	1口	平成12年(K220)
三浦小平二	染付辰砂フラミンゴ絵皿(6客)	1口	昭和45年(K91)
三浦小平二	青磁バンディアミールぐい呑	1口	昭和53年(K92)
三浦小平二	青磁バンディアミールぐい呑	1口	昭和53年(K93)
三浦小平二	青磁バンディアミールぐい呑	1口	昭和53年(K94)
三浦小平二	青磁バンディアミールぐい呑	1口	昭和53年(K95)
三浦小平二	青磁バンディアミールぐい呑	1口	昭和53年(K96)
金重道明	伊部酒呑	1口	昭和55年頃(K59)
山本雄一	備前一輪花入	1口	平成6年(K165)
三輪休雪(12代)	青雲龍氣碗 銘 龍宮城	1口	平成12年(K104)
三輪休雪(12代)	オーロラ碗 銘 妖酔	1口	平成17年(K106)
三輪休雪(12代)	白萩茶碗 銘 紅塔紅	1口	昭和58年(K99)
三輪休雪(12代)	白萩老梅碗	1口	昭和58年頃(K100)
三輪休雪(12代)	白萩鉢 銘 雷童	1口	昭和56年(K98)
三輪休雪(12代)	花器「まどろみ」NO.23	1口	平成14年(K105)
三輪休雪(12代)	卵	1口	昭和51年(K97)

三輪休雪(12代)「酒楽 勸酒」	皿・徳利・盃・箸置	1口	平成6年(K102)
三輪休雪(12代)	龍氣盃	1口	平成12年(K103)
三輪休雪(12代)	愛文酒盃	1口	平成6年(K101)
豊場惺也	黄瀬戸水指 銘 岩清水	1口	平成6年(K223)
豊場惺也	黄瀬戸花生	1口	平成8年(K224)
豊場惺也	志野酒盃	1口	平成8年頃(K225)
豊場惺也	志野酒盃	1口	平成8年頃(K226)
豊場惺也	志野酒盃	1口	平成8年頃(K227)
新庄貞嗣	白萩焼ぐい呑	1口	平成7年(K171)
新庄貞嗣	白萩焼ぐい呑	1口	平成7年(K172)
三輪和彦	白夢碗	1口	平成8年(K125)
三輪和彦	白い夢	1口	平成3年(K119)
三輪和彦	白夢盃	1口	平成6年(K120)
三輪和彦	金耳盃	1口	平成6年(K121)
三輪和彦	金耳盃	1口	平成6年(K122)
三輪和彦	白夢盃	1口	平成6年(K123)
三輪和彦	白夢盃	1口	平成6年(K124)

展示会名称:水木しげる・妖怪図鑑

展示会開催館名:兵庫県立美術館

貸出年月日:2010/7/20~2010/10/10

貸出先:兵庫県立美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
葛飾北斎	百物語 しょうねん	中判 1枚(U143)
歌川国芳	百物語化物屋敷の図 林屋正蔵工夫の怪談	横大判 1枚(U508)
落合芳幾	百鬼夜行 相馬内裏	大判 3枚続(U1150)
月岡芳年	和漢百物語 頓欲ノ婆々	大判 1枚(U1701)
歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛作妖怪図	大判 3枚続(U5119)

展示会名称:栄西と中世博多

展示会開催館名:福岡市博物館

貸出年月日:2010/8/28~2010/11/14

貸出先:福岡市博物館

生産窯	作品名	員数	時代(収蔵品番号)
吉州窯	玳皮天目碗	1口	南宋頃(T223)
建窯	禾目天目碗	1口	南宋頃(T226)
吉州窯	梅花天目碗	1口	南宋頃(T228)

展示会名称:近代日本木版画の流れ
 展示会開催館名:慶南道立美術館
 貸出年月日:(会期)2010/12/9~2011/2/20
 貸出先:慶南道立美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
歌川芳虎	鉄道開業新橋夜景図	大判 3枚続(U3224)
二代歌川国輝	東京名所海運橋五階造真図	大判 3枚続(U2928)
昇斎一景	元ト昇平阪聖堂二於テ博覧会図	大判 3枚続(U4432)
三代歌川広重	東京駿河衛国立銀行繁栄図	大判 3枚続(U3083)
三代歌川広重	東京名所石橋一覧之図	大判 3枚続(U3101)
三代歌川広重	東京名所之内 常盤ばし内印刷局	横大判 1枚(U3017)
三代歌川広重	上野公園内国勸業第二博覧会美術館并狸々噴水器之図	大判 3枚続(U3103)
井上安治	東京小網町鎧橋通り吾妻亭	大判 3枚続(U4734)
三代歌川広重	東京名所上野公園第三内国勸業博覧会場略図	大判 3枚続(U3104)
歌川国利	しんはん十二かい	大判 1枚(U3193)
豊原国周	きられ与三郎 薪水	大判 1枚(U3497)
豊原国周	けいせい敷島 沢村田之助	大判 1枚(U3507)
豊原国周	名優四君子 五世尾上菊五郎	大判 1枚(U3474)
豊原国周	名優四君子 九世市川団十郎	大判 1枚(U3473)
豊原国周	名優四君子 三世市川九藏	大判 1枚(U3471)
豊原国周	名優四君子 初世市川左団次	大判 1枚(U3472)
豊原国周	伊達競於国戯場 御殿床下之場 荒獅子男之助 市川団十郎 仁木弾正 市川九藏	大判 3枚続(U3875)
豊原国周	東京三十六会席 元大坂町ふち	大判 1枚(U3686)
豊原国周	開花人情鏡 官女	大判 1枚(U3727)
豊原国周	開花人情鏡 傾城	大判 1枚(U3729)
三代歌川広重	東京名所之内 浅草金龍山ノ図	大判 3枚続(U3093)
月岡芳年	新柳二十四時 午前六時	大判 1枚(U3274)
月岡芳年	新柳二十四時 午前十時	大判 1枚(U3277)
三代歌川広重	東京名所別品揃 新吉原仲の町夜桜 吉原江戸町八幡楼小浪 仲の町小せん	大判 1枚(U3029)
楊洲周延	踏舞会 上野桜花観遊ノ図	大判 3枚続(U4357)
楊洲周延	東風俗年中行事 九月	大判 1枚(U4074)
楊斎延一	佳人音曲競	大判 3枚続(U4384)
楊洲周延	時代かゞみ 明治 慈善会	大判 1枚(U4178)
楊洲周延	真美人 三々九度	大判 1枚(U1435)
水野年方	三井好 都のにしき 12 冬 犬と散歩	横大判 1枚(U2039)
月岡芳年	舎那王於鞍馬山学武術之図	大判 2続(U3445)
月岡芳年	藤原保昌月下弄笛図	大判 3枚続(U3462)
月岡芳年	三国志図会内 玄德風雪二孔明ヲ訪フ	大判 3枚続(U5026)
小林清親	九段坂五月夜	横大判 1枚(U4559)
小林清親	武蔵百景之内 江戸ばしより日本橋の景	大判 1枚(U5047)
小林清親	武蔵百景之内 亀井戸天満宮	大判 1枚(U5048)
小林清親	日本名勝図会 嵐山	大判 1枚(U2373)
伊東深水	現代美人集第二輯 吹雪	大判 1枚(U2540)
伊東深水	現代美人集第二輯 十五夜	大判 1枚(U2541)

伊東深水	現代美人集第二輯	朧	大判 1 枚 (U2542)
伊東深水	現代美人集第二輯	炬燵	大判 1 枚 (U2543)
伊東深水	現代美人集第二輯	花火	大判 1 枚 (U2544)
伊東深水	現代美人集第二輯	舞妓	大判 1 枚 (U2545)
伊東深水	現代美人集第二輯	紅梅	大判 1 枚 (U2546)
伊東深水	現代美人集第二輯	髪	大判 1 枚 (U2547)
伊東深水	現代美人集第二輯	蛩	大判 1 枚 (U2548)
伊東深水	現代美人集第二輯	爪	大判 1 枚 (U2549)
伊東深水	現代美人集第二輯	洗い髪	大判 1 枚 (U2550)
伊東深水	現代美人集第二輯	瞳	大判 1 枚 (U2551)
吉田 博	スフィンクス	夜	1 枚 (U5151)
吉田 博	東京拾二題	隅田川 夕	1 枚 (U5152)
吉田 博	東京拾二題	隅田川	1 枚 (U5153)
吉田 博	瀬戸内海集	雨後の夕	1 枚 (U5154)
吉田 博	瀬戸内海集	光る海	1 枚 (U5155)
吉田 博	姫路城		1 枚 (U5156)
吉田 博	姫路城	夕	1 枚 (U5157)
吉田 博	木曾川		1 枚 (U5158)
吉田 博	ふじさん	夕	1 枚 (U5159)
吉田 博	ヴェニス	の夕	1 枚 (U5160)
吉田 博	せとないかい	高浜港	1 枚 (U5161)
吉田 博	東京拾二題	神楽坂通 雨後の夕	1 枚 (U5162)
吉田 博	瀬戸内海	三つ小島	1 枚 (U5163)
吉田 博	瀬戸内海	鞆之港	1 枚 (U5164)
吉田 博	瀬戸内海	潮待ち	1 枚 (U5165)
吉田 博	夕	マハルの庭 夜	1 枚 (U5166)
吉田 博	ヴィクトリア	メモリアル	1 枚 (U5167)
吉田 博	梅之家		1 枚 (U5168)
吉田 博	桜八題	弘前城	1 枚 (U5169)
吉田 博	三保		1 枚 (U5170)
吉田 博	富士ニユウグランドホテル		1 枚 (U5171)
吉田 博	北海波静	利尻山	1 枚 (U5172)
川瀬巴水	松島	かつら島	1 枚 (U5140)
川瀬巴水	暮れゆく	古川堤	1 枚 (U5141)
川瀬巴水	月の松島		1 枚 (U5142)
川瀬巴水	旅みやげ第1集	金沢ながれのくるわ	1 枚 (U5143)
川瀬巴水	旅みやげ第3集	星月夜 (宮嶋)	1 枚 (U5144)
川瀬巴水	福岡西公園		1 枚 (U5145)
川瀬巴水	馬込の月		1 枚 (U5146)
川瀬巴水	品川		1 枚 (U5147)
川瀬巴水	芝公園	の雪	1 枚 (U5148)
川瀬巴水	大坂道頓堀	の朝	1 枚 (U5149)
川瀬巴水	華盛頓記念塔	ポトマック河畔	1 枚 (U5150)

展示会名称:島根県石見美術館開館 5 周年記念 神々のすがた 古事記と近代美術
 展示会開催館名:島根県石見美術館
 貸出年月日:2010/8/21~2010/11/30
 貸出先:島根県立石見美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
月岡芳年	大日本名将鑑 神武天皇	大判 1 枚(U2502)
月岡芳年	大日本名将鑑 神功皇后 武内宿彌	大判 1 枚(U2494)
月岡芳年	大日本名将鑑 天照大神	大判 1 枚(U2493)
月岡芳年	大日本名将鑑 道臣命	大判 1 枚(U2507)
月岡芳年	大日本史略図会 第十五代 神功皇后	大判 3 枚続(U2011)
月岡芳年	芳年漫画 浦嶋之子帰国従龍宮城之図	大判 2 枚続(U3434)
月岡芳年	芳年武者无類 日本武尊 川上臯師	大判 1 枚(U3301)
尾形月耕	月耕随筆 草薙剣 日本武尊	大判 1 枚(U2130)
尾形月耕	月耕随筆 水江浦嶋	大判 1 枚(U2143)
尾形月耕	月耕随筆 伊邪那岐伊邪那美二神 立天浮橋図	大判 1 枚(U2103)
尾形月耕	月耕随筆 仁徳帝望民家之図	大判 1 枚(U2106)

展示会名称:開館 10 周年記念展 人間国宝と古陶一対峙する眼と手
 展示会開催館名:茨城県陶芸美術館
 貸出年月日:2010/9/1~2010/12/6
 貸出先:茨城県陶芸美術館

生産窯・作家名	作品名	員数	時代・制作年(収蔵品番号)
藤原啓	備前徳利	1 □	不詳(K195)
中里無庵	朝鮮唐津耳付水指	1 □	昭和 48 年(K189)
三輪休和(10 代休雪)	萩割高台茶碗	1 □	昭和 41 年(K108)
三輪壽雪(11 代休雪)	鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花	1 □	平成 15 年(K161)
三輪壽雪(11 代休雪)	白萩灰被水指 銘 金剛	1 □	平成 2 年(K148)
金城次郎	壺屋焼魚文抱瓶	1 □	平成元年(K64)
藤本能道	色絵童児牡丹大皿	1 □	昭和 48 年頃(K209)
萩	萩割高台茶碗	1 □	江戸(T501)
萩	萩茶碗	1 □	江戸(T485)
三輪雪山	萩編笠水指	1 □	江戸(T500)
龍泉窯	青磁算木文香炉	1 □	元(T410)

展示会名称:開館 5 周年記念 岩崎彌太郎一三菱の誕生と岩崎家ゆかりのコレクション
 展示会開催館名:長崎歴史文化博物館
 貸出年月日:2010/11/13~2011/1/17
 貸出先:長崎歴史文化博物館

作家名	作品名	判型・員数(収藏品番号)
二代歌川広重	諸国名所百景 長崎 丸山紅葉	大判 1 枚(U1085)
小林清親	日本名勝図会 横須賀 造船所	大判 1 枚(U2371)
二代歌川国貞	神田昌平橋模様換掛替目鏡橋要路光景之真図	大判 3 枚続(U2812)
三代歌川広重	東京名勝筋違目鏡橋之真景	大判 3 枚続(U3097)
三代歌川広重	東京三十六景 品川沖蒸気船	大判 1 枚(U3039)
三代歌川広重	古今東京名所 江戸橋土手蔵日本橋 江戸橋三つ菱の荷蔵	横中判 2 丁掛 1 枚(U2943)
三代歌川広重	東京名所之内 江戸橋三菱蔵郵便局	横大判 1 枚(U3016)

展示会名称:桃山時代の価値観 九州諸窯の成立と美濃

展示会開催館名:土岐市美濃陶磁歴史館

貸出年月日:2011/2/10~2011/5/21

貸出先:財団法人土岐市埋蔵文化財センター

生産窯	作品名	員数	時代(収藏品番号)
建窯	禾目天目碗	1 □	南宋頃(T226)
龍泉窯	青磁琮形瓶	1 □	南宋(T447)

展示会名称:特別展 写楽

展示会開催館名:東京国立博物館

貸出年月日:2011/3/15~2011/5/30

貸出先:東京新聞

作家名	作品名	判型・員数(収藏品番号)
東洲斎写楽	三世市川高麗蔵の衛士姿の新田義貞	細判 1 枚(U2694)
勝川春英	四世岩井半四郎の兼好妹千早と尾上松助の湯浅孫六入道定虎	間判 1 枚(U2659)

展示会名称:日本人の愛した中国陶磁 龍泉窯青磁展

展示会開催館名:愛知県陶磁資料館、山口県立萩美術館・浦上記念館

貸出年月日:2011/9/27~2012/8/27

貸出先:龍泉窯青磁展開催実行委員会

生産窯	作品名	員数	時代(収藏品番号)
龍泉窯	青磁双魚文盤	1 □	南宋(T241)
龍泉窯	青磁印花蓮枝文合子	1 □	南宋(T248)
龍泉窯	青磁刻花唐草文長頸瓶	1 □	北宋(T385)
龍泉窯	青磁管耳瓶	1 □	南宋(T408)
龍泉窯	青磁琮形瓶	1 □	南宋(T447)
龍泉窯	青磁牡丹唐草文瓶	1 □	元(T240)

龍泉窯	青磁刻花牡丹文水注	1 □	明初(T270)
龍泉窯	青磁算木文香炉	1 □	元(T410)

展示会名称:児玉源太郎と近代国家の歩み展
 展示会開催館名:周南市美術博物館
 貸出年月日:2011/11/15~2012/1/31
 貸出先:周南市美術博物館

作家名	作品名	判型・員数(収藏品番号)
月岡芳年	明治天皇御東幸千代田城入城之図	大判 3枚続 (U3469)
安達吟光	大日本婦人束髪図解	大判 3枚続 (U4428)

展示会名称:山口県立萩美術館・浦上記念館コレクション 朝鮮陶磁展—優美と清浄のやきもの
 展示会開催館名:福井県陶芸館
 貸出年月日:2012/4/10~2012/7/6
 貸出先:福井県陶芸館

生産窯	作品名	員数	時代(収藏品番号)
	青磁象嵌菊花文四耳壺	1 □	高麗(T5)
	粉青沙器線刻魚文扁壺	1 □	高麗(T42)
	青花月兔文栗鼠耳角扁壺	1 □	朝鮮(T79)
	青磁洗	1 □	高麗(T6)
	青磁瓜形水注	1 □	高麗(T7)
	青磁線刻鸚鵡文鉢	1 □	高麗(T4)
	青磁鉢	1 □	高麗(T393)
	青磁象嵌牡丹文碗	1 □	高麗(T3)
	青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1 □	高麗(T8)
	青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1 □	高麗(T9)
	青磁象嵌菊花文藥器	1 □	高麗(T10)
鷄龍山窯	粉青沙器鉄絵草文瓶	1 □	朝鮮(T64)
	粉青沙器印花菊花文鉢	1 □	朝鮮(T47)
	粉青沙器印花菊花文平鉢	1 □	朝鮮(T51)
	粉青沙器印花蝶文鉢	1 □	朝鮮(T48)
	粉青沙器線刻線条文壺	1 □	朝鮮(T45)
	粉青沙器搔落牡丹文扁壺	1 □	朝鮮(T43)
	粉青沙器印花菊花文瓶	1 □	朝鮮(T46)
	白磁壺	1 □	朝鮮(T436)
	粉青沙器搔落蓮華文瓶	1 □	朝鮮(T44)
	粉青沙器印花双魚文皿	1 □	高麗(T52)
	青磁象嵌菊花文龍耳坏	1 □	高麗(T11)
	青磁象嵌菊花文松葉形合子	1 □	高麗(T1)
	青磁象嵌菊花文合子	1 □	高麗(T2)

粉青沙器粉引耳坏	1 □	朝鮮 (T83)
白磁耳杯	1 □	朝鮮 (T82)
白磁有蓋壺	1 □	朝鮮 (T54)
白磁鎬文鉢	1 □	朝鮮 (T56)
白磁壺	1 □	朝鮮 (T53)
白磁扁壺	1 □	朝鮮 (T55)
白磁皿	1 □	朝鮮 (T463)
青花葡萄栗鼠文壺	1 □	朝鮮 (T76)
青花辰砂梅鶴文瓶	1 □	朝鮮 (T67)
青花葡萄栗鼠文壺	1 □	朝鮮 (T75)
白磁鉄絵菊花文小壺	1 □	朝鮮 (T59)
白磁鉄絵草文壺	1 □	朝鮮 (T58)
白磁総鉄砂宝尽文瓶	1 □	朝鮮 (T62)
白磁陽刻龍文筆筒	1 □	朝鮮 (T57)
鉄象嵌馬上杯	1 □	朝鮮 (T514)
青花松樹虎文角水滴	1 □	朝鮮 (T26)
白磁冢形水滴	1 □	朝鮮 (T32)
白磁丸水滴	1 □	朝鮮 (T33)
白磁宝珠形水滴	1 □	朝鮮 (T34)
青花花文六角水滴	1 □	朝鮮 (T36)
青花梅竹文蛙口角水滴	1 □	朝鮮 (T28)
青花水禽文角形水滴	1 □	朝鮮 (T27)
青花樹下兔文角水滴	1 □	朝鮮 (T25)
粉青沙器鉄絵草文碗	1 □	朝鮮 (T65)
白磁象嵌蓮華文碗	1 □	朝鮮 (T84)
御本半使茶碗	1 □	朝鮮 (T87)
青花高士騎驢図皿	1 □	朝鮮 (T15)
青花祭字文四方祭器	1 □	朝鮮 (T78)
青花山水人物文角瓶	1 □	朝鮮 (T77)
青花鶴文角皿	5 □	朝鮮 (T24)

鷄龍山窯

展示会名称:開館 25 周年記念 北斎と広重 きそいあう江戸の風景

展示会開催館名:町田市立国際版画美術館

貸出年月日:2012/9/18~2012/12/9

貸出先:町田市立国際版画美術館

作家名	作品名	型・員数(収蔵品番号)
葛飾北斎	風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	大判 1 枚 (U105)
葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	大判 1 枚 (U107)
昇亭北斎	上総九十九里地引網大漁獵正写之図	大判 1 枚 (U166)
歌川国貞	紅毛油画名所尽 錦帯橋	大判 1 枚 (U263)
歌川広重	東都名所 佃嶋初郭公	大判 1 枚 (U666)
歌川広重	東都名所 吉原仲之町夜桜	大判 1 枚 (U669)

喜多川歌麿	唐楼閣美人遊興図	大判 3枚続(U2675)
葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	大判 1枚(U2704)
葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	大判 1枚(U2705)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東都浅草本願寺	大判 1枚(U2712)
葛飾北斎	富嶽三十六景 武陽佃嶋	大判 1枚(U2713)
葛飾北斎	富嶽三十六景 相州梅沢左	大判 1枚(U2714)
葛飾北斎	富嶽三十六景 上総ノ海路	大判 1枚(U2718)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図	大判 1枚(U2723)
葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道吉田	大判 1枚(U2724)
葛飾北斎	富嶽三十六景 甲州三坂水面	大判 1枚(U2727)
勝川春亭	相州江之嶋ノ図	大判 1枚(U2737)

展示会名称:第18回MOA岡田茂吉賞展—現代日本画・工芸の展望—

展示会開催館名:MOA美術館

貸出年月日:2012/3/9~2012/7/20

貸出先:MOA美術館

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪休雪(12代)	初陣前夜	1基	平成16~22年(K472)

展示会名称:西村陽平

展示会開催館名:愛知県陶磁資料館

貸出年月日:2012/3/20~2012/6/10

貸出先:愛知県陶磁資料館

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
西村陽平	伝道の書Ⅱ—白熱の中の崩壊—	3口	昭和50年(K439-1~3)
西村陽平	パンチを侵蝕するアルミ	2口	昭和55年(K440-1~2)
西村陽平	カップを破壊する石	1口	昭和57年(K441)
西村陽平	独逸浪漫主義—アッシジに寄せて—	1口	昭和57年(K442)
西村陽平	独逸浪漫主義 2	1口	昭和57年(K443)
西村陽平	燃えない木	2口	昭和59年(K444-1~2)

展覧会名称:山口県・山東省友好30周年記念「萩焼-山口県の陶芸」展

展示会開催館名:中国山東博物館

貸出年月日:(会期)2012/4/19~2012/5/27

貸出先:中国山東博物館

生産窯/作家名	作品名	員数	時代/制作年(収蔵品番号)
---------	-----	----	---------------

不詳	萩割俵形茶碗	1口	江戸 (T487)
不詳	萩花文割俵形鉢	1口	江戸 (T472)
不詳	萩三島写茶碗 銘 椎葉	1口	江戸 (T502)
三輪休雪(初代)	萩赤楽茶碗	1口	江戸 (T489)
三輪勘七	萩赤楽茶碗	1口	江戸 (T491)
不詳	萩茶碗 銘 立田	1口	江戸 (T477)
不詳	萩茶碗	1口	江戸 (T481)
不詳	萩井戸形茶碗	1口	江戸 (T488)
不詳	萩井戸形茶碗	1口	江戸 (T480)
三輪雪山(8代)	萩編笠水指	1口	江戸 (T500)
林半六(6代泥平)	萩富士凶割高台茶碗	1口	江戸 (T503)
不詳	萩馬上杯形茶碗	1口	江戸 (T476)
不詳	萩茶碗	1口	江戸 (T483)
不詳	萩割高台茶碗	1口	江戸 (T484)
不詳	萩茶碗	1口	江戸 (T485)
三輪喜樂(6代)	萩赤楽大黒天置物	1口	江戸 (T490)
三輪喜樂(6代)	萩鉄拐仙人置物	1口	江戸 (T494)
三輪喜樂(6代)	萩西行置物	1口	江戸 (T495)
三輪喜樂(6代)	萩郭子儀置物	1口	江戸 (T496)
三輪喜樂(6代)	萩牡丹唐草文手洗	1口	江戸 (T478)
三輪喜樂(6代)	萩飛獅子置物	1口	江戸 (T492)
不詳	萩獅子置物	1口	江戸 (T486)
三輪休雪(7代)	萩立獅子置物	1口	江戸 (T498)
三輪休雪(7代)	萩蝦蟇仙人置物	1口	江戸 (T499)
不詳	萩鉄拐仙人置物	1口	江戸 (T482)
三輪休和(10代休雪)	萩長寿樂置物	1口	昭和8年 (K308)
大野瑞峰	萩布袋唐子置物	1口	昭和32年頃 (K326)
坂倉新兵衛(12代)	萩刷毛目茶碗	1口	昭和33年 (K259)
三輪休和(10代休雪)	萩編笠水指	1口	昭和48年 (K274)
坂倉新兵衛(14代)	萩御本手茶碗	1口	昭和49年 (K261)
坂倉新兵衛(14代)	萩平水指	1口	昭和49年 (K265)
三輪休和(10代休雪)	萩筆洗切茶碗	1口	昭和50年 (K276)
田原陶兵衛(12代)	萩灰被水指	1口	昭和53年 (K272)
坂田泥珠(14代泥華)	萩小井戸茶碗	1口	昭和54年 (K283)
坂高麗左衛門(11代)	萩井戸形茶碗	1口	昭和55年 (K294)
吉賀大眉	花器「暁雲」	1口	昭和48年 (K289)
坂高麗左衛門(11代)	萩魚文壺	1口	昭和50年 (K280)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩手桶花入	1口	昭和40年 (K363)
兼田昌尚	萩白釉窯変割貫茶碗	1口	平成7年 (K323)
田原陶兵衛(13代)	萩灰被茶碗	1口	平成8年 (K328)
三輪和彦	白夢碗	1口	平成8年 (K125)
玉村登陽	萩茶碗	1口	平成9年 (K333)
三輪榮造	萩掛分茶碗	1口	平成11年 (K356)
大和吉孝	萩井戸形茶碗	1口	平成11年 (K373)
坂高麗左衛門(12代)	萩茶碗	1口	平成14年 (K522)

野坂康起	萩伊羅保茶碗	1口	平成16年(K035)
三輪休雪(12代)	才一口ラ碗 銘 妖酔	1口	平成17年(K106)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変割高台茶碗	1口	平成18年(K386)
大和保男	鉄線文茶碗	1口	平成18年(K497)
波多野善蔵	萩窯変壺	1口	昭和52年(K372)
吉賀將夫	曜	1口	昭和60年(K518)
野坂康起	萩鉄灰被線文鉢	1口	平成元年(K332)
坂田慶造	萩剥離窯変花器	1口	平成2年(K315)
坂倉新兵衛(15代)	萩菊花文食籠	1口	平成5年(K319)
大和 努	萩粉引箔彩六面花器	1口	平成5年(K320)
新庄貞嗣	萩台鉢	1口	平成8年(K327)
大和祐二	萩窯変掛分皿	1口	平成11年(K374)
坂高麗左衛門(12代)	陶彩景秋草図八角陶管	1口	平成14年(K521)
岡田 裕	萩白釉窯変壺	1口	平成16年(K032)
大和保男	濤海流文長方陶管	1口	平成17年(K510)
波多野善蔵	萩緋色鉢	1口	平成21年(K517)
岡田 裕	炎彩花器	1口	平成22年(K520)
三輪休雪(12代)	続・卑弥呼の書 No.8	1口	平成4年(K543)
金子信彦	天空の華	1口	平成16年(K524)
金子信彦	地動	1口	平成18年(K525)
兼田昌尚	WORK'04 峻	1口	平成16年(K034)
金子 司	種々(組作品)	1組	平成20年(K535)

展示会名称:北斎一風景・美人・奇想一

展示会開催館名:大阪市立美術館

貸出年月日:2012/10/9~2012/12/28

貸出先:大阪市立美術館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
葛飾北斎	富嶽三十六景 御厩川岸より両国橋夕陽見	大判 1枚(U119)
葛飾北斎	百人一首乳母か絵とき 参議篁	大判 1枚(U136)
葛飾北斎	百物語 こはだ小平二	中判 1枚(U144)
葛飾北斎	六歌仙 文屋康秀	大判 1枚(U1887)
葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	大判 1枚(U2710)
葛飾北斎	百人一首 乳母か絵説 中納言家持	大判 1枚(U2735)
葛飾北斎	六歌仙 在原業平	大判 1枚(U2785)

展示会名称:楊洲周延二橋本直義一高田藩士が歩んだ浮世絵師の道一

展示会開催館名:上越市立総合博物館

貸出年月日:2012/8/20~2012/10/31

貸出先:上越市立総合博物館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
楊洲周延	征韓論之図	大判 3枚続(U2587)
楊洲周延	鹿兒島追討之図	大判 3枚続(U4365)
楊洲周延	時事新報 第六百六十六号付録	大判 1枚(U4295)
楊洲周延	金龍山浅草寺之図	大判 3枚続(U4318)
楊洲周延	舞踏会 上野桜花観遊之図	大判 3枚続(U4357)
楊洲周延	東風俗福づくし 大礼服	大判 1枚(U4037)
楊洲周延	東風俗福づくし 洋ふく	大判 1枚(U4056)
楊洲周延	浅草公園遊覧之図	大判 3枚続(U4362)
楊洲周延	勸業博覧会館内一覽之図	大判 3枚続(U2232)
楊洲周延	上野公園奠都三十年祭祝賀会	大判 3枚続(U1822)
楊洲周延	高貴納涼の図	大判 3枚続(U4314)
楊洲周延	彫画共進会之内 徳川家将軍図解	大判 3枚続(U1420)
楊洲周延	雪月花 近江 石山秋の月 紫式部	大判 1枚(U4270)
楊洲周延	雪月花 江戸 廓の月 高尾	大判 1枚(U4281)
楊洲周延	東錦昼夜競 牛若丸	大判 1枚(U1844)
楊洲周延	東錦昼夜競 平知盛ノ靈	大判 1枚(U1847)
楊洲周延	日本名女咄 桂小五郎 芸者竹松	大判 2枚続(U1417)
楊洲周延	日本名女咄 武田勝頼室北の方	大判 2枚続(U1418)
楊洲周延	現世佳人集	大判 3枚続(U4330)
楊洲周延	幻燈写心競 海水浴	大判 1枚(U1413)
楊洲周延	幻燈写心競 女史演説	大判 1枚(U1414)
楊洲周延	東風俗年中行事 九月	大判 1枚(U4074)
楊洲周延	東風俗年中行事 十月	大判 1枚(U4075)
楊洲周延	徳川時代貴婦人の図 的当て	大判 3枚続(U4268)
楊洲周延	徳川時代貴婦人之図 投扇興	大判 3枚続(U4265)
楊洲周延	千代田の御表 流鏝馬上覽	大判 3枚続(U4182)
楊洲周延	千代田の御表 武術上覽	大判 3枚続(U4183)
楊洲周延	千代田の御表 玄猪諸侯登城大手下馬ノ図	大判 3枚続(U4191)
楊洲周延	千代田の御表 山王祭礼上覽	大判 3枚続(U4194)
楊洲周延	千代田の大奥 茶の湯	大判 3枚続(U1455)
楊洲周延	時代かがみ 寛永之頃 洗場がへり	大判 1枚(U1449)
楊洲周延	時代かがみ 文安之頃 見世棚の古図	大判 1枚(U4129)
楊洲周延	時代かがみ 安永之頃 櫛巻 鈴木春信画	大判 1枚(U4153)
楊洲周延	時代かがみ 文政之頃 節季そろ	大判 1枚(U4160)
楊洲周延	時代かがみ 嘉永之頃 上野法華堂常行堂	大判 1枚(U4166)
楊洲周延	真美人 羽子板	大判 1枚(U1434)
楊洲周延	真美人 舞扇	大判 1枚(U1437)
楊洲周延	真美人 手拭	大判 1枚(U1439)
楊洲周延	真美人 合せ鏡	大判 1枚(U1441)
楊洲周延	真美人 祭	大判 1枚(U1445)

展示会名称:江戸への旅一年貢米と上乗人
 展示会開催館名:大分県立先哲史料館
 貸出年月日:2012/9/20~2012/11/30
 貸出先:大分県立先哲史料館

作家名	作品名	判型・員数(収蔵品番号)
歌川国丸	新板江戸浅草観音図	横大判 1 枚(U213)
歌川広重	東都名所 神田明神東阪	横大判 1 枚(U673)
歌川広重	東都名所 芝増上寺	横大判 1 枚(U681)
歌川広重	東都名所 浅草金龍山門前	横大判 1 枚(U684)
歌川広重	東都名所 築地御門跡	横大判 1 枚(U688)
歌川広重	江戸名所 上野東叡山境内	横大判 1 枚(U729)
歌川広重	江戸名所 神田明神	横大判 1 枚(U732)
歌川広重	京都名所之内 淀川	横大判 1 枚(U799)
歌川広重	木曾街道六拾九次之内 御嶽	横大判 1 枚(U808)
歌川広重	東海道五十三次之内 京師 三條大橋	横大判 1 枚(U871)
歌川広重	木曾街道六拾九次之内 上ヶ松	横大判 1 枚(U2433)
歌川広重	木曾街道六拾九次之内 妻籠	横大判 1 枚(U2434)
歌川広重	東都名所 高輪月の景	横大判 1 枚(U697)
歌川広重	名所江戸百景 鉄砲洲築地門跡	大判 1 枚(U1019)
二代歌川広重	東都名所 三縁山増上寺	横大判 1 枚(U1115)
歌川広重	富士三十六景 信州諏訪之湖	大判 1 枚(U2425)

展示会名称:三輪壽雪・休雪一破格の創造
 展示会開催館名:公益財団法人菊池美術財団 菊池寛実記念 智美術館
 貸出年月日:2013/1/9~2013/4/20
 貸出先:公益財団法人菊池美術財団 菊池寛実記念 智美術館

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪壽雪(11代休雪)	紅萩菱形水指 銘 花篝	1 □	昭和 44 年(K133)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩灰被花入 銘 猛虎	1 □	平成 9 年(K151)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花	1 □	平成 15 年(K161)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩手桶花入	1 □	昭和 40 年(K363)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変割高台茶碗	1 □	平成 18 年(K386)
三輪休雪(12代)	卑弥呼の書	1 基	平成 3 年(K22)
三輪休雪(12代)	伏香炉 薫風	1 □	平成 8 年(K25)
三輪休雪(12代)	花 I	1 基	昭和 52 年(K416)
三輪休雪(12代)	女	1 基	昭和 51 年(K420)
三輪休雪(12代)	早春	1 基	昭和 52-53 年(K460-036)
三輪休雪(12代)	ラプソディ	1 基	昭和 52 年(K460-038)
三輪休雪(12代)	被疑者	1 基	昭和 52-53 年(K460-044)
三輪休雪(12代)	泣く II	1 基	昭和 52 年(K460-052)
三輪休雪(12代)	泣く I	1 基	昭和 52 年(K460-085)

三輪休雪(12代) やわらかい海 2	1基	平成8年(K464)
三輪休雪(12代) 誕生	1基	平成16-22年(K469)
三輪休雪(12代) 初陣前夜	1基	平成16-22年(K472)
三輪休雪(12代) 花園	1基	平成16-22年(K474)
三輪休雪(12代) 六鈷杵	1基	平成16-22年(K476)
三輪休雪(12代) 涅槃	1基	平成16-22年(K483)

展示会名称:2013 清州国際工芸ビエンナーレ

展示会開催館名:清州国際工芸ビエンナーレ

貸出年月日:2013/8/19~2013/10/30

貸出先:清州国際工芸ビエンナーレ

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪休雪(12代)	童子	1基	平成16-22年(K470)
三輪休雪(12代)	花園	1基	平成16-22年(K474)
三輪休雪(12代)	六鈷杵	1基	平成16-22年(K476)
三輪休雪(12代)	母子	1基	平成16-22年(K482)
三輪休雪(12代)	愛	1基	平成16-22年(K422)
三輪休雪(12代)	人間シリーズ	1基	昭和52-53年(K419、420)
三輪休雪(12代)	夏子 その後	1基	平成3年(K555)
三輪休雪(12代)	卑弥呼の書	1基	平成3年(K22)
三輪休雪(12代)	古代の人 王妃墓 (K461-2)	1基	昭和54年-平成5年
三輪休雪(12代)	古代の人 王墓 (K461-1)	1基	昭和54年-平成5年

展示会名称:現代の茶碗

展示会開催館名:公益財団法人菊池美術財団 菊池寛実記念 智美術館

貸出年月日:2013/9/2~2014/1/20

貸出先:公益財団法人菊池美術財団 菊池寛実記念 智美術館

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変花冠高台茶碗 銘 命の開花	1口	平成15年(K161)

展示会名称:企画展「幽霊・妖怪大集合展」

展示会開催館名:公益財団法人宮崎文化振興協会 みやざき歴史文化館

貸出年月日:2013/6/25~2013/9/14

貸出先:公益財団法人宮崎文化振興協会 みやざき歴史文化館

作家名	作品名	員数・判型(収蔵品番号)
月岡芳年	和漢百物語 小野川喜三郎	大判 1 枚(U1693)
月岡芳年	和漢百物語 酒顛童子	大判 1 枚(U1706)
月岡芳年	和漢百物語 頓欲ノ婆々	大判 1 枚(U1701)
月岡芳年	和漢百物語 白藤源太	大判 1 枚(U1692)
歌川国芳	東海道五十三対 岡部	大判 1 枚(U511)
歌川国芳	東海道五十三対 桑名	大判 1 枚(U512)
葛飾北斎	北斎漫画 3 編 28 丁裏 三つ目一つ目小僧	半紙判 1 枚(U5106)
葛飾北斎	北斎漫画 10 編 17 丁裏 菊女が霊 三ヶ月上人	半紙判 1 枚(U5107)
葛飾北斎	北斎漫画 10 編 18 丁表 祐天和尚 累の怨魂	半紙判 1 枚(U5108)
葛飾北斎	画本魁初編 14 丁裏 15 丁表 平井保昌土蜘蛛退治	半紙判 1 枚(U5101)
葛飾北斎	画本魁初編 16 丁裏 17 丁表 卜部靱負ノ輔李武	半紙判 1 枚(U5102)
葛飾北斎	北斎漫画 3 編 23 丁表 船鬼	半紙判 1 枚(U5105)
葛飾北斎	北斎漫画 10 編 19 丁裏 鬼	半紙判 1 枚(U5109)
葛飾北斎	北斎漫画 10 編 1 丁裏 2 丁表 孫悟空 殷の王妃	半紙判 1 枚(U5138)
葛飾北斎	北斎漫画 2 編	半紙判絵手本 1 冊(U153)
葛飾北斎	北斎漫画 11 編	半紙判絵手本 1 冊(U157)

展示会名称:和歌と美術

展示会開催館名:島根県立石見美術館

貸出年月日:2013/4/1~2013/6/20

貸出先:島根県立石見美術館

作家名	作品名	員数・判型(収蔵品番号)
歌川国芳	小倉擬百人一首 在原業平朝臣 花和尚魯智深	大判 1 枚(U569)
歌川広重	小倉擬百人一首 光孝天皇	大判 1 枚(U751)
歌川広重	小倉擬百人一首 藤原実方朝臣	大判 1 枚(U1866)
歌川広重	小倉擬百人一首 源兼昌	大判 1 枚(U1867)
葛飾北斎	百人一首うばがえとき 藤原道信朝臣	大判 1 枚(U135)
葛飾北斎	百人一首うばがえとき 在原業平	大判 1 枚(U137)
歌川国芳	百人一首之内 大江千里	大判 1 枚(U598)
歌川国芳	百人一首之内 在原業平朝臣	大判 1 枚(U599)
歌川国芳	百人一首之内 参議篁	大判 1 枚(U605)
歌川国芳	百人一首之内 文屋康秀	大判 1 枚(U606)
鈴木春信	風流六哥仙 大伴黒主	中判 1 枚(U7)

展示会名称:第 36 回山口伝統工芸展

展示会開催館名:山口県立萩美術館・浦上記念館

貸出年月日:2013/5/21~2013/6/2

貸出先:日本工芸会山口支部

作家名	作品名	員数	制作年(収蔵品番号)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 雲間ノ月	1口	昭和42年(K129)
三輪壽雪(11代休雪)	紅萩菱形水指 銘 花篝	1口	昭和44年(K133)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 暁雲	1口	昭和45年(K134)
三輪壽雪(11代休雪)	萩茶碗 銘 獅子	1口	昭和47年(K138)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩窯変壺	1口	昭和60年(K143)
三輪壽雪(11代休雪)	萩掛分茶碗 銘 舞衣	1口	昭和61年(K144)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩割高台茶碗 銘 風神	1口	昭和64年(K145)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩灰被花入 銘 猛虎	1口	平成9年(K151)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩手桶花入	1口	昭和40年(K363)
三輪壽雪(11代休雪)	白萩翠色茶碗 銘 傘寿	1口	平成2年(K548)

展示会名称:日本の「妖怪」を追い!

展示会開催館名:横須賀美術館

貸出年月日:2013/7/1~2013/9/20

貸出先:横須賀美術館

作家名	作品名	員数・判型(収蔵品番号)
葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	中判 1枚(U5222)
葛飾北斎	百物語 しょうねん	中判 1枚(U143)
歌川国芳	百物語化物屋敷の図 林屋正蔵工夫の怪談	横大判 1枚(U508)
歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	大判 3枚続(U5119)
歌川国芳	相馬の古内裏	大判 3枚続(U429)
歌川広景	江戸名所道戯尽 三 浅草反甫の奇怪	大判 1枚(U3139)
歌川広景	江戸名所道戯尽 十六 王子狐火	大判 1枚(U3152)

展示会名称:山口県立萩美術館・浦上記念館名品展 やきものが好き、浮世絵も好き

展示会開催館名:根津美術館

貸出年月日:2013/5/9~2013/7/19

貸出先:公益財団法人根津美術館

作家名	作品名	員数・判型(収蔵品番号)
奥村政信	大黒の打金	横大判 1枚(U2612)
奥村政信	草子洗小町	横大判 1枚(U2617)
筆者不詳	花筏	横中判 1枚(U2618)
石川豊信	炬燵に掛けて文を読む中村喜代三郎	大判 1枚(U2629)
鈴木春信	坐鋪八景 鏡台の秋月	中判 1枚(U3)
鈴木春信	五常 仁	中判 1枚(U2632)
鈴木春信	風俗四季哥仙 三月	中判 1枚(U2631)
鈴木春信	浮世美人寄花 山しろや内はついと 萩	中判 1枚(U4)
一筆斎文調	尾上菊五郎の松風	細判 2枚続の右(U19)

勝川春章	四代目市川団蔵の崇徳院	細判 1 枚 (U2649)
勝川春章	小野川喜三郎 谷風樞之助 行事木村庄之助	横大々判 1 枚 (U2009)
勝川春好	尾上松助 五代目市川団十郎 二代目市川門之助	細判 3 枚続 (U2004)
勝川春好	五代目市川団十郎の弓杖を突く荒事師	細判 1 枚 (U2655)
勝川春英	五代目市川団十郎の奴才平実は源次兵衛広綱と二代目小佐川常世の黒木売	間判 1 枚 (U2658)
勝川春英	娘道成寺	細判 3 枚続 (U29)
歌川豊春	歳時昼夜十二ヶ月 葉月 はぎ つき見	中判 1 枚 (U2660)
歌川豊春	新板浮絵忠臣蔵夜打之図	横大々判 1 枚 (U2450)
鳥居清長	少女玉花子の席書	中判 1 枚 (U33)
鳥居清長	当世遊里美人合 蚊帳の内外	大判 1 枚 (U34)
鳥居清長	見立初夢	大判 3 枚続 (U2566)
鳥居清長	隅田川渡し船	大判 3 枚続 (U2667)
窪 俊満	由良之助 一力遊興	大判 3 枚続 (U2673)
喜多川歌麿	おきたとおひさの首引き	横大判 1 枚 (U46)
喜多川歌麿	煙草を吸う女	大判 1 枚 (U44)
喜多川歌麿	難波屋おきた	大判 1 枚 (U45)
喜多川歌麿	扇屋内花扇 よしの たつた	大判 1 枚 (U2676)
喜多川歌麿	千話鏡月の村雲 契情清川 かりかね文七 雷り庄九郎	大判 1 枚 (U49)
鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 松葉屋喜瀬川	大判 1 枚 (U69)
鳥文斎栄之	青楼美人六花仙 越前屋唐土	大判 1 枚 (U2688)
鳥高斎栄昌	お高祖頭巾 牡丹	大判 1 枚 (U2690)
東洲斎写楽	二代目瀬川富三郎の大岸蔵人妻やどり木	大判 1 枚 (U2692)
東洲斎写楽	三代目瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ	大判 1 枚 (U2691)
東洲斎写楽	三代目市川高麗蔵の志賀大七	大判 1 枚 (U66)
歌川豊国	三代目坂東彦三郎の菅丞相と七代目片岡仁左衛門の白太夫	大判 1 枚 (U2699)
歌川豊国	三代目市川八百蔵の武部源蔵と岩井喜代太郎の戸浪	大判 1 枚 (U2698)
歌川豊国	松本米三郎	大判 1 枚 (U85)
歌川国政	岩井桑三郎の禿たより	大判 1 枚 (U101)
歌川豊広	柳下 屋根舟に乗る美人	大判 2 枚続 (U2703)
葛飾北斎	百物語 こはだ小平二	中判 1 枚 (U144)
葛飾北斎	百物語 さらやしき	中判 1 枚 (U145)
葛飾北斎	風流無くてなゝくせ 遠眼鏡	大判 1 枚 (U105)
葛飾北斎	富嶽三十六景 神奈川沖浪裏	横大判 1 枚 (U107)
葛飾北斎	富嶽三十六景 山下白雨	横大判 1 枚 (U108)
葛飾北斎	富嶽三十六景 凱風快晴	横大判 1 枚 (U2704)
魚屋北溪	諸国名所 上州三国越不動峠	横大短冊判 1 枚 (U2736)
歌川国貞 歌川国芳 溪斎英泉	宝船七福神	大判 3 枚続 (U214)
歌川国貞	当世三十二相 世事がよさ相	大判 1 枚 (U227)
歌川国貞	当世美人合 身じまい芸者	大判 1 枚 (U220)
歌川国芳	東都三ツ股の図	横大判 1 枚 (U400)
歌川国芳	猫の当字 なまづ	大判 1 枚 (U513)
歌川国芳	讚岐院眷属をして為朝をすくふ図	大判 3 枚続 (U533)
歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書(黄腰壁)	大判 3 枚組 (U523)
歌川広重	東海道五十三次之内 蒲原 夜之雪	横大判 1 枚 (U832)
歌川広重	東海道五十三次之内 庄野 白雨	横大判 1 枚 (U862)

歌川広重	木曾海道六十九次之内 宮ノ越	横大判 1 枚(U809)
歌川広重	甲陽猿橋之図	大判縦 2 枚続(U2008)
歌川広重	木曾路之山川	大判 3 枚続(U796)
歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	大判 1 枚(U993)
歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	大判 1 枚(U970)
歌川広重	名所江戸百景 王子装束糸の木大晦日の狐火	大判 1 枚(U1059)
歌川広重	名所江戸百景 両国花火	大判 1 枚(U1039)
歌川貞秀	龍虎	大判 3 枚続(U1188)

生産窯	作品名	員数	時代(収蔵品番号)
	白陶鬻	1 □	大汶口文化(T333)
	彩陶双耳壺	1 □	馬家窯文化・馬廠類型(T89)
	彩陶双耳尖底瓶	1 □	馬家窯文化・馬家窯類型(T348)
	黒陶高脚杯	1 □	山東龍山文化(T335)
	灰釉印文遊環獸耳壺	1 □	戦国(T350)
	灰釉印文獸首鼎	1 □	戦国(T369)
	灰釉印文尊	1 □	戦国(T377)
	青磁神亭壺	1 □	西晋(T337)
	青磁鉄斑文鶏頭壺	1 □	東晋(T126)
	黒釉天鶏壺	1 □	東晋(T125)
	緑褐釉犬	1 □	後漢(T354)
	緑釉犬	1 □	後漢(T121)
	緑釉鴨塘	1 □	後漢(T459)
	褐釉羊	1 □	隋～唐(T136)
	加彩牛	1 □	北魏(T132)
	加彩馬	1 □	北魏(T131)
	加彩駱駝	1 □	北魏(T133)
	加彩牛車	1 □	北魏(T449)
	青磁四耳壺	1 □	南北朝～隋(T345)
	黄釉龍耳瓶	1 □	唐(T139)
	白磁有蓋万年壺	1 □	唐(T144)
	藍三彩有蓋万年壺	1 □	唐(T346)
	藍三彩宝相華文三足盤	1 □	唐(T140)
	三彩長頸瓶	1 □	唐(T141)
	藍三彩兔形腕枕	1 □	唐(T142)
	藍三彩鴛鴦文枕	1 □	唐(T526)
	藍三彩小水注	1 □	唐(T172)
	三彩獅子口小水注	1 □	唐(T185)
	三彩手付杯	1 □	唐(T162)
	緑彩小水注	1 □	唐(T173)
	三彩薰炉	1 □	唐(T401)
	藍彩小壺	1 □	唐(T170)
	三彩手付小壺	1 □	唐(T171)
	三彩印花碗	1 □	唐(T177)

黃釉絞胎碗	1 □	唐(T176)
綠釉杯	1 □	唐(T159)
三彩杯	1 □	唐(T161)
藍釉合子	1 □	唐(T163)
綠彩合子	1 □	唐(T165)
三彩合子	1 □	唐(T166)
白磁合子	1 □	北宋(T249)
白磁有蓋小壺	1 □	北宋(T250)
青白磁有蓋水注	1 □	北宋(T529)
青白磁輪花杯	1 □	北宋(T233)
青白磁輪花托	1 □	北宋(T234)
青白磁唐子唐草文鉢	1 □	北宋(T232)
青白磁七寶繫文合子	1 □	北宋(T239)
青白磁刻線文合子	1 □	北宋(T238)
白磁皮囊壺	1 □	遼(T387)
褐釉龍首水注	1 □	北宋または遼(T202)
黃褐釉瓢形水注	1 □	遼(T446)
黑釉刻花蓮華文瓶	1 □	北宋～金(T208)
黑釉銹斑文瓶	1 □	金～元(T210)
白地鉄絵牡丹文瓶	1 □	北宋～金(T252)
澱青釉紅斑文杯	1 □	金～元(T247)
紫紅釉碗	1 □	金～元(T246)
青磁牡丹唐草文瓶	1 □	南宋～元(T240)
青磁琮形瓶	1 □	南宋(T447)
青磁牡丹文水注	1 □	元～明(T270)
白磁陰刻唐草文瓶	1 □	元(T368)
青花鳳凰文瓶	1 □	元(T260)
青花蓮池文瓶	1 □	元(T398)
青花龍文瓶	1 □	元(T397)
青花牡丹唐草文鉢	1 □	明・宣德在銘(T412)
白磁綠彩龍文鉢	1 □	明・正徳在銘(T267)
五彩龍文角鉢	1 □	明・嘉靖在銘(T269)
五彩龍文角鉢	1 □	明・嘉靖在銘(T413)
五彩龍文壺	1 □	明・萬曆在銘(T273)
青花龍鳳文杯	1 □	明・万曆在銘(T272)
五彩虎人物文杯	1 □	明・万曆在銘(T271)
五彩鴛鴦文皿	1 □	明・万曆在銘(T415)
五彩八仙人文鉢	1 □	明・万曆在銘(T414)
五彩藻魚文鷄形水注	1 □	明(T264)
青花牡丹唐草文鷄形水注	1 □	明(T265)
三彩鷄形水注	1 □	明(T266)
法花蓮華文洗	1 □	明(T262)
法花蓮華文洗	1 □	明(T261)
法花蓮華文壺	1 □	明(T263)
青花指月羅漢文皿	1 □	明(T285)

青花持塔羅漢文皿	1 □	明(T286)
青花蝦蟇仙人文輪花鉢	1 □	明(T282)
青花吹墨玉兔文皿	1 □	明(T287)
青花葡萄栗鼠文皿	1 □	明(T289)
青花吹墨蛙文皿(一對のうち 1)	1 □	明(T305)
青花吹墨蛙文皿(一對のうち 2)	1 □	明(T306)
青花虎文皿	1 □	明(T308)
青磁象嵌菊花文松葉形合子	1 □	高麗(T1)
青磁象嵌牡丹文碗	1 □	高麗(T3)
青磁陰刻鸚鵡文鉢	1 □	高麗(T4)
青磁象嵌菊花文四耳壺	1 □	高麗(T5)
青磁鉢	1 □	高麗(T6)
青磁瓜形水注	1 □	高麗(T7)
青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1 □	高麗(T8)
青磁象嵌菊花文有蓋小壺	1 □	高麗(T9)
青磁象嵌菊花文藥器	1 □	高麗(T10)
青磁象嵌菊花文龍耳杯	1 □	高麗(T11)
青花騎驢人物文皿	1 □	朝鮮(T15)
青花鯰魚文皿	1 □	朝鮮(T17)
青花花格子文皿	1 □	朝鮮(T20)
青花寿字文菊皿	1 □	朝鮮(T23)
青花吉祥文角皿 魚文皿(5 客)	1 □	朝鮮(T24)
青花吉祥文角皿 怪石文皿(5 客)	1 □	朝鮮(T24)
青花吉祥文角皿 鶴文皿(5 客)	1 □	朝鮮(T24)
青花吉祥文角皿 鹿文皿(5 客)	1 □	朝鮮(T24)
青花吉祥文角皿 山水文皿(5 客)	1 □	朝鮮(T24)
青花樹下兔文角水滴	1 □	朝鮮(T25)
青花松樹虎文角水滴	1 □	朝鮮(T26)
青花水禽文角水滴	1 □	朝鮮(T27)
青花梅竹文蛙口角水滴	1 □	朝鮮(T28)
鉄釉家形水滴	1 □	朝鮮(T30)
白磁家形水滴	1 □	朝鮮(T32)
白磁丸水滴	1 □	朝鮮(T33)
青花辰砂桃形水滴	1 □	朝鮮(T35)
青花山水人物文角水滴	1 □	朝鮮(T37)
粉青沙器線刻花文扁壺	1 □	朝鮮(T41)
粉青沙器線刻魚文扁壺	1 □	朝鮮(T42)
粉青沙器搔落牡丹文扁壺	1 □	朝鮮(T43)
粉青沙器線刻線条文壺	1 □	朝鮮(T45)
白磁壺	1 □	朝鮮(T53)
白磁有蓋壺	1 □	朝鮮(T54)
白磁陽刻龍文筆筒	1 □	朝鮮(T57)
白磁鉄砂菊花文小壺	1 □	朝鮮(T59)
白磁総鉄砂宝尽文瓶	1 □	朝鮮(T62)
青花辰砂梅鶻文瓶	1 □	朝鮮(T67)

青花山水人物文瓶	1 □	朝鮮 (T68)
青花花卉文瓶	1 □	朝鮮 (T71)
青花鶴文瓶	1 □	朝鮮 (T72)
青花栗文壺	1 □	朝鮮 (T74)
青花葡萄栗鼠文壺	1 □	朝鮮 (T75)
青花葡萄栗鼠文壺	1 □	朝鮮 (T76)
青花山水人物文角瓶	1 □	朝鮮 (T77)
青花祭字四方祭器	1 □	朝鮮 (T78)
青花月兔文栗鼠耳角扁壺	1 □	朝鮮 (T79)
瑠璃釉十長生文角瓶	1 □	朝鮮 (T80)

展示会名称:一樂・二萩・三唐津
 展示会開催館名:福井県陶芸館
 貸出年月日:2013/4/8~2013/7/5
 貸出先:福井県陶芸館

生産窯	作品名	員数	時代(収蔵品番号)
萩	萩三島写茶碗 銘 椎葉	1 □	江戸 (T502)
萩	萩割高台茶碗	1 □	江戸 (T501)
萩	萩檜垣文筆洗形割高台茶碗	1 □	江戸 (T473)
萩	萩花文割俵形鉢	1 □	江戸 (T472)

展示会名称:国際浮世絵学会創立 50 周年記念 大浮世絵展
 展示会開催館名:江戸東京博物館、名古屋市博物館、山口県立美術館
 貸出年月日:2013/12/1~2014/7/31
 貸出先:国際浮世絵学会、江戸東京博物館、名古屋市博物館、山口県立美術館、読売新聞東京本社

作家名	作品名	員数・判型(収蔵品番号)
歌川国芳	誠忠義士肖像 大星由良之助良雄	大判 1 枚 (U434)
歌川国芳	東都名所 大森	横大判 1 枚 (U2747)
歌川国芳	東都名所 するがだひ	横大判 1 枚 (U2748)
鳥居清長	中村里好と遊女	間判 1 枚 (U32)
鳥居清長	出語図 四天王大江山入	大判 1 枚 (U37)
鳥居清長	雛形若菜の初模様 あふきや内 遠路 里次 浦次	大判 1 枚 (U2664)
月岡芳年	田舎源氏	大判 2 枚続 (U1608)
小林清親	画布に猫	横大判 1 枚 (U2552)
豊原国周	開化三十六会席 深川 平清	大判 1 枚 (U3712)
伊東深水	現代美人集第二輯 吹雪	大判 1 枚 (U2540)

展示会名称:やきものって何ダ?—陶芸美術館 8 館の名品に学ぶ—

展示会開催館名:兵庫陶芸美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館、滋賀県立陶芸の森陶芸館、茨城県陶芸美術館、岐阜県現代陶芸美術館

貸出年月日:2014/2/15~2015/6/10

貸出先:「やきものって何ダ」展全国実行委員会

生産窯・作家名	作品名	員数	時代・制作年(収蔵品番号)
甘肅窯	彩陶双耳尖底瓶	1 □	新石器(T348)
耀州窯	青磁刻花花文盤	1 □	北宋(T242)
	青磁象嵌菊花文薬器	1 □	高麗(T10)
龍泉窯	青磁貼花花文瓶	1 □	南宋~元(T240)
	黄釉絞胎碗	1 □	唐(T176)
定窯	白磁皿	1 □	金代(T456)
景德鎮窯系	青白磁唐子唐草文鉢	1 □	北宋(T232)
景德鎮窯系	青花蓮池文瓶	1 □	元(T398)
	三彩花文稜花長盤	1 □	遼(T186)
	法花蓮華文洗	1 □	明(T261)
磁州窯系	黒釉刻花蓮花文壺	1 □	宋~金(T208)
吉州窯系	黒釉玳皮天目碗	1 □	南宋(T223)
萩	萩割高台茶碗	1 □	江戸(T501)
三輪休和(10代休雪)	白萩割高台茶碗	1 □	昭和 49 年(K338)
景德鎮窯系	青花蝦蟇仙人図稜花鉢	1 □	明末清初(T282)
ピーター・ヴォーコス	スタック	1 □	昭和 57 年(K436)
西村陽平	カップを破壊する石	1 □	昭和 57 年(K441)
	藍三彩宝相華文三足盤	1 □	唐(T140)
三輪壽雪(11代休雪)	鬼萩窯変割高台茶碗	1 □	平成 18 年(K386)

Ⅱ > 4 購入作品

浮世絵

平成 19 年度(浮世絵・近現代版画) 【15 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	鳥居清里	みたれがみのおせん 瀬川菊之丞	細判	紅摺絵	1	U05112
2	石川豊雅	風流十二月 正月	中判	錦絵	1	U05113
3	石川豊雅	風流十二月 二月	中判	錦絵	1	U05114
4	石川豊雅	風流十二月 三月	中判	錦絵	1	U05115
5	石川豊雅	風流十二月 四月	中判	錦絵	1	U05116
6	石川豊雅	風流十二月 五月	中判	錦絵	1	U05117
7	石川豊雅	風流十二月 六月	中判	錦絵	1	U05118
8	歌川国芳	源頼光公館土蜘蛛妖怪図	大判	錦絵	1	U05119
9	小林清親	山口城賊徒新聞	大判	錦絵	1	U05120
10	歌川貞秀	西国名所図会 目録	大判	錦絵	1	U05121
11	歌川貞秀	西国名所之内 二十 岩国錦帯橋	大判	錦絵	1	U05122
12	歌川貞秀	西国名所之内 二十一 上のせき	大判	錦絵	1	U05123
13	歌川貞秀	西国名所之内 二十二 長府の沖	大判	錦絵	1	U05124
14	歌川貞秀	西国名所之内 二十三 龜山八幡宮	大判	錦絵	1	U05125
15	歌川貞秀	西国名所之内 二十四 与治兵衛岩 岩流嶋	大判	錦絵	1	U05126

平成 20 年度(浮世絵・近現代版画) 【3 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	歌川国芳	人かたまつて人になる	大判	錦絵	1	U05128
2	歌川国長	新板阿蘭陀浮画 楽徳海嶋銅人巨像	横大判	錦絵	1	U05129
3	葛飾北斎	東海道名所一覽	横大判版	錦絵	1	U05130

平成 21 年度(浮世絵・近現代版画) 【33 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	川瀬巴水	松島かつら島		多色摺木版画	1	U05140
2	川瀬巴水	暮れゆく古川堤		多色摺木版画	1	U05141
3	川瀬巴水	月の松島		多色摺木版画	1	U05142
4	川瀬巴水	旅みやげ第1集 金沢なかれのくるわ		多色摺木版画	1	U05143
5	川瀬巴水	旅みやげ第3集 星月夜(宮嶋)		多色摺木版画	1	U05144
6	川瀬巴水	福岡西公園		多色摺木版画	1	U05145
7	川瀬巴水	馬込の月		多色摺木版画	1	U05146
8	川瀬巴水	品川		多色摺木版画	1	U05147
9	川瀬巴水	芝公園の雪		多色摺木版画	1	U05148
10	川瀬巴水	大坂道頓堀の朝		多色摺木版画	1	U05149

11	川瀬巴水	華盛頓記念塔 ボトマック河畔		多色摺木版画	1	U05150
12	吉田博	スフィンクス 夜		多色摺木版画	1	U05151
13	吉田博	東京拾二題 隅田川 夕		多色摺木版画	1	U05152
14	吉田博	東京拾二題 隅田川		多色摺木版画	1	U05153
15	吉田博	瀬戸内海集 雨後の夕		多色摺木版画	1	U05154
16	吉田博	瀬戸内海集 光る海		多色摺木版画	1	U05155
17	吉田博	姫路城		多色摺木版画	1	U05156
18	吉田博	姫路城 夕		多色摺木版画	1	U05157
19	吉田博	木曾川		多色摺木版画	1	U05158
20	吉田博	ふじさん 夕		多色摺木版画	1	U05159
21	吉田博	ヴェニス夕		多色摺木版画	1	U05160
22	吉田博	せとないかい 高浜港		多色摺木版画	1	U05161
23	吉田博	東京拾二題 神楽坂通 雨後の夜		多色摺木版画	1	U05162
24	吉田博	瀬戸内海 三つ小島		多色摺木版画	1	U05163
25	吉田博	瀬戸内海 鞆之港		多色摺木版画	1	U05164
26	吉田博	瀬戸内海 潮待ち		多色摺木版画	1	U05165
27	吉田博	タジ マハルの庭 夜		多色摺木版画	1	U05166
28	吉田博	ヴィクトリヤ メモリアル		多色摺木版画	1	U05167
29	吉田博	梅乃屋		多色摺木版画	1	U05168
30	吉田博	桜八題 弘前城		多色摺木版画	1	U05169
31	吉田博	三保		多色摺木版画	1	U05170
32	吉田博	富士ニューグランドホテル		多色摺木版画	1	U05171
33	吉田博	北海道静 利尻山		多色摺木版画	1	U05172

平成 22 年度(浮世絵・近現代版画) 【5 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	葛飾北斎	富嶽三十六景 東海道品川 御殿山ノ不二	横大判	錦絵	1	U05221
2	葛飾北斎	百物語 笑いはんにや	中判	錦絵	1	U05222
3	小林清親	東京名所 川口鍋釜製造図	横大判	錦絵	1	U05223
4	井上安治	浅草橋夕景	横大判	錦絵	1	U05224
5	井上安治	銀座商店夜景	横大判	錦絵	1	U05225

平成 23 年度(浮世絵・近現代版画) 【99 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	栄松斎長喜	風流挿花会	間判	錦絵	1	U05226
2	小林清親	浅草田甫太郎陣稲荷	横大判	錦絵	1	U05227
3	小林清親	天王寺下衣川	横大判	錦絵	1	U05228
4	小林清親	両国大火浅草橋	横大判	錦絵	1	U05229

5	井上安治	新吉原夜桜景	大判	錦絵	1	U05230
6	井上安治	代官町の景	大判	錦絵	1	U05231
7	井上安治	霊岸島高橋之景	大判	錦絵	1	U05232
8	井上安治	京橋松田之景	大判	錦絵	1	U05233
9	井上安治	京橋勸業場之景	大判	錦絵	1	U05234
10	井上安治	永代橋	中判	錦絵	1	U05235
11	川瀬巴水	東京二十景 芝増上寺	大判	多色摺木板画	1	U05236
12	川瀬巴水	東京二十景 荒川の月	大判	多色摺木板画	1	U05237
13	川瀬巴水	日本風景集 東日本篇 松島双子島	横大判	多色摺木板画	1	U05238
14	川瀬巴水	増上寺之雪	横特大判	多色摺木板画	1	U05239
15	吉田博	日本アルプス十二題の内 剣山の朝	横大判	多色摺木板画	1	U05240
16	吉田博	タジマハルの庭	横大判	多色摺木板画	1	U05241
17	橋口五葉	浴場の女		多色摺木板画	1	U05242
18	橋口五葉	化粧の女		多色摺木板画	1	U05243
19	橋口五葉	耶馬溪		多色摺木板画	1	U05244
20	橋口五葉	耶馬溪(変わり摺)		多色摺木板画	1	U05245
21	橋口五葉	耶馬溪(画稿)		多色摺木板画	1	U05246
22	橋口五葉	夏衣の女		多色摺木板画	1	U05247
23	橋口五葉	浴後之女		多色摺木板画	1	U05248
24	橋口五葉	盆持てる女		多色摺木板画	1	U05249
25	橋口五葉	髪梳ける女		多色摺木板画	1	U05250
26	橋口五葉	鴨		多色摺木板画	1	U05251
27	橋口五葉	雪の伊吹山		多色摺木板画	1	U05252
28	橋口五葉	長襦袢を着たる女		多色摺木板画	1	U05253
29	橋口五葉	温泉宿		多色摺木板画	1	U05254
30	橋口五葉	夏装之娘		多色摺木板画	1	U05255
31	橋口五葉	手拭持てる女		多色摺木板画	1	U05256
32	橋口五葉	紅筆を持てる女		多色摺木板画	1	U05257
33	橋口五葉	神戸之宵月		多色摺木板画	1	U05258
34	橋口五葉	京都三條大橋		多色摺木板画	1	U05259
35	橋口五葉	着物をたたむ女		多色摺木板画	1	U05260
36	橋口五葉	髪を洗う女		多色摺木板画	1	U05261
37	橋口五葉	浴後の二人		多色摺木板画	1	U05262
38	橋口五葉	くつろぐ女			1	U05263
39	橋口五葉	化粧する女			1	U05264
40	橋口五葉	横すわりの女、鏡を見る女			1	U05265
41	橋口五葉	鏡を見る二人の女、鏡を見る二人の女			1	U05266
42	橋口五葉	帯を解く女、傘をさす女			1	U05267
43	橋口五葉	もたれる二人の女、立てる女			1	U05268

44	橋口五葉	髪を梳く女			1	U05269
45	橋口五葉	座る女			1	U05270
46	橋口五葉	座る女			1	U05271
47	橋口五葉	本装丁凶案			1	U05272
48	橋口五葉	花(緑園叢書凶案)			1	U05273
49	橋口五葉	漾虚集凶案			1	U05274
50	川瀬巴水	旅みやげ第一集 陸奥蔦沼	大判	多色摺木版	1	U05275
51	川瀬巴水	旅みやげ第一集 陸奥蔦温泉	大判	多色摺木版	1	U05276
52	川瀬巴水	旅みやげ第一集 若狭 久出の浜	大判	多色摺木版	1	U05277
53	川瀬巴水	旅みやげ第一集 小浜堀川	大判	多色摺木版	1	U05278
54	川瀬巴水	旅みやげ第二集 大坂道とん堀の朝	横大判	多色摺木版	1	U05279
55	川瀬巴水	旅みやげ第二集 月明の加茂湖(佐渡)	横大判	多色摺木版	1	U05280
56	川瀬巴水	旅みやげ第三集 大坂高津	大判	多色摺木版	1	U05281
57	川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲松江(おぼろ月)	大判	多色摺木版	1	U05282
58	川瀬巴水	旅みやげ第三集 出雲日乃御崎	横大判	多色摺木版	1	U05283
59	川瀬巴水	旅みやげ第三集 尾州亀崎	大判	多色摺木版	1	U05284
60	川瀬巴水	旅みやげ第三集 別府の夕	大判	多色摺木版	1	U05285
61	川瀬巴水	東京二十景 大根河岸の朝	大判	多色摺木版	1	U05286
62	川瀬巴水	東京二十景 大森海岸	横大判	多色摺木版	1	U05287
63	川瀬巴水	浮世絵紋様集 新日本八景 土佐室戸崎	横大判	多色摺木版	1	U05288
64	川瀬巴水	東海道風景選集 尾州瀬戸	大判	多色摺木版	1	U05289
65	川瀬巴水	房州小湊	横長判	多色摺木版	1	U05290
66	川瀬巴水	日本風景集Ⅱ 関西篇 讃州善通寺	大判	多色摺木版	1	U05291
67	川瀬巴水	続朝鮮風景 朝鮮智異山泉隠寺	大判	多色摺木版	1	U05292
68	川瀬巴水	水戸酒沼之雪	横大判	多色摺木版	1	U05293
69	川瀬巴水	塩原畑下の雨	長判	多色摺木版	1	U05294
70	川瀬巴水	子の山の夕暮(埼玉県)	長判	多色摺木版	1	U05295
71	吉田博	ブライトホルン山	横大判	多色摺木版	1	U05296
72	吉田博	アゼンスの古跡	横大判	多色摺木版	1	U05297
73	吉田博	日本アルプス十二題の内 穂高山	横大判	多色摺木版	1	U05298
74	吉田博	日本アルプス十二題の内 黒部川	横大判	多色摺木版	1	U05299
75	吉田博	日本アルプス十二題の内 鷲羽岳の野営	横大判	多色摺木版	1	U05300
76	吉田博	日本アルプス十二題の内 針木雪溪	横大判	多色摺木版	1	U05301
77	吉田博	日本アルプス十二題の内 雷鳥とこま草	横大判	多色摺木版	1	U05302
78	吉田博	動物園 おぼばたん あうむ	大判	多色摺木版	1	U05303
79	吉田博	利根川	横大判	多色摺木版	1	U05304
80	吉田博	春の日	横大判	多色摺木版	1	U05305
81	吉田博	富士十景 山頂剣ヶ峰	横大判	多色摺木版	1	U05306
82	吉田博	富士十景 興津	横大判	多色摺木版	1	U05307

83	吉田博	日本南アルプス集 露営 北岳間の岳	横大判	多色摺木版画	1	U05308
84	吉田博	瀬戸内海集第二 白石島	横大判	多色摺木版画	1	U05309
85	吉田博	瀬戸内海集第二 倉	横大判	多色摺木版画	1	U05310
86	吉田博	ウダイプールの城	大判	多色摺木版画	1	U05311
87	吉田博	アジヤンタ	横大判	多色摺木版画	1	U05312
88	吉田博	アフガニスタンのキャラバン 月夜	横大判	多色摺木版画	1	U05313
89	吉田博	京都之夜	大判	多色摺木版画	1	U05314
90	吉田博	文之助茶屋	大判	多色摺木版画	1	U05315
91	吉田博	猿沢池	大判	多色摺木版画	1	U05316
92	吉田博	桜八題 春雨	大判	多色摺木版画	1	U05317
93	吉田博	桜八題 花盛り	横大判	多色摺木版画	1	U05318
94	吉田博	奉天市場	横大判	多色摺木版画	1	U05319
95	吉田博	奉天大南門	横大判	多色摺木版画	1	U05320
96	吉田博	風静	大判	多色摺木版画	1	U05321
97	吉田博	池之端	横大判	多色摺木版画	1	U05322
98	吉田博	竹林	大判	多色摺木版画	1	U05323
99	吉田博	皇子	大判	多色摺木版画	1	U05324

平成 24 年度(浮世絵・近現代版画) 【12 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	小林清親	本所御蔵橋	横大判	錦絵	1	U05325
2	小林清親	万代橋朝日出	横大判	錦絵	1	U05326
3	小林清親	川口善光寺雨晴	横大判	錦絵	1	U05327
4	小林清親	今戸有明楼之景	横大判	錦絵	1	U05328
5	小林清親	虎乃門夕景	横大判	錦絵	1	U05329
6	小林清親	浜町より写両国大火	横大判	錦絵	1	U05330
7	小林清親	東京五大橋之一 両国真景	大判	錦絵	1	U05331
8	小林清親	柳原夜雨	横大判	錦絵	1	U05332
9	小林清親	墨田堤雪後	横大倍判	錦絵	1	U05333
10	勝川春好	市川高麗蔵 大谷友右衛門 松本幸四郎 (3 枚続)	細判	錦絵	1	U05334
11	鈴木春信	おすぎ 市村羽左衛門	細判	錦絵	1	U05335
12	磯田湖龍斎	風流十二支 巳	中判	錦絵	1	U05336

平成 25 年度(浮世絵・近現代版画) 【114 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	館蔵品No.
1	楊洲周延	真美人 女教師	大判	錦絵	1	U05344
2	楊洲周延	真美人 香を聞く女性	大判	錦絵	1	U05345
3	一勇斎国芳	嘘実心の表裏 狎を抱く女	大判	錦絵	1	U05346

4	一勇斎国芳	現時雲浮世面合 柏木	大判	錦絵	1	U05347
5	歌川国政	嵐三八・瀬川菊三良	細判	錦絵	1	U05348
6	山本昇雲	今姿 高砂や	大判	錦絵	1	U05349
7	井上安治	東京真画名所図解 新大橋	四つ切判	錦絵	1	U05350
8	井上安治	東京真画名所図解 吹上釣橋	四つ切判	錦絵	1	U05351
9	井上安治	東京真画名所図解 柳島妙見	四つ切判	錦絵	1	U05352
10	井上安治	東京真画名所図解 今戸橋雪	四つ切判	錦絵	1	U05353
11	井上安治	東京真画名所図解 海運橋	四つ切判	錦絵	1	U05354
12	井上安治	東京真画名所図解 滝ノ川紅葉	四つ切判	錦絵	1	U05355
13	井上安治	東京真画名所図解 梅若神社ノ雨	四つ切判	錦絵	1	U05356
14	井上安治	東京真画名所図解 厩橋	四つ切判	錦絵	1	U05357
15	井上安治	東京真画名所図解 品川沖	四つ切判	錦絵	1	U05358
16	井上安治	東京真画名所図解 亀井戸梅屋敷	四つ切判	錦絵	1	U05359
17	井上安治	東京真画名所図解 湯島台白聖堂ノ月	四つ切判	錦絵	1	U05360
18	井上安治	東京真画名所図解 今戸有明楼	四つ切判	錦絵	1	U05361
19	井上安治	東京真画名所図解 堀切	四つ切判	錦絵	1	U05362
20	井上安治	東京真画名所図解 上野東照宮	四つ切判	錦絵	1	U05363
21	井上安治	東京真画名所図解 百本杭ノ三日月	四つ切判	錦絵	1	U05364
22	井上安治	東京真画名所図解 川口善光寺	四つ切判	錦絵	1	U05365
23	井上安治	東京真画名所図解 道灌山	四つ切判	錦絵	1	U05366
24	井上安治	東京真画名所図解 小梅挽舟の雪	四つ切判	錦絵	1	U05367
25	井上安治	東京真画名所図解 上野御霊屋	四つ切判	錦絵	1	U05368
26	井上安治	東京真画名所図解 高縄鉄道	四つ切判	錦絵	1	U05369
27	井上安治	東京真画名所図解 外桜田遠景	四つ切判	錦絵	1	U05370
28	井上安治	東京真画名所図解 大森海	四つ切判	錦絵	1	U05371
29	井上安治	東京真画名所図解 向島桜	四つ切判	錦絵	1	U05372
30	井上安治	東京真画名所図解 橋場ノ渡し	四つ切判	錦絵	1	U05373
31	井上安治	東京真画名所図解 根津神社	四つ切判	錦絵	1	U05374
32	井上安治	東京真画名所図解 佃島	四つ切判	錦絵	1	U05375
33	井上安治	東京真画名所図解 浜丁川岸ヨリ本所一ノ橋	四つ切判	錦絵	1	U05376
34	井上安治	東京真画名所図解 五本松雨月	四つ切判	錦絵	1	U05377
35	井上安治	東京真画名所図解 池の端雪	四つ切判	錦絵	1	U05378
36	井上安治	東京真画名所図解 萬代橋雨ノ景	四つ切判	錦絵	1	U05379
37	井上安治	東京真画名所図解 紙幣局	四つ切判	錦絵	1	U05380
38	井上安治	東京真画名所図解 九段坂	四つ切判	錦絵	1	U05381
39	井上安治	東京真画名所図解 御茶ノ水	四つ切判	錦絵	1	U05382
40	井上安治	東京真画名所図解 虎ノ門工部大学校	四つ切判	錦絵	1	U05383
41	井上安治	東京真画名所図解 天王寺下衣川	四つ切判	錦絵	1	U05384
42	井上安治	東京真画名所図解 両国百本杭之景	四つ切判	錦絵	1	U05385

43	井上安治	東京真画名所図解 浅草田甫太郎稲荷	四つ切判	錦絵	1	U05386
44	井上安治	東京真画名所図解 柳橋夜雨	四つ切判	錦絵	1	U05387
45	井上安治	東京真画名所図解 両国大火浜町川岸ニテ寫ス	四つ切判	錦絵	1	U05388
46	井上安治	東京真画名所図解 両国橋焼跡	四つ切判	錦絵	1	U05389
47	井上安治	東京真画名所図解 神田ヨリ出火久松町焼失の凶	四つ切判	錦絵	1	U05390
48	井上安治	東京真画名所図解 隅田川夜景	四つ切判	錦絵	1	U05391
49	井上安治	東京真画名所図解 亀井戸藤	四つ切判	錦絵	1	U05392
50	井上安治	東京真画名所図解 神田川駿河台	四つ切判	錦絵	1	U05393
51	井上安治	東京真画名所図解 新橋ステーション夜	四つ切判	錦絵	1	U05394
52	井上安治	東京真画名所図解 本丸三重櫓	四つ切判	錦絵	1	U05395
53	井上安治	東京真画名所図解 新吉原の景	四つ切判	錦絵	1	U05396
54	井上安治	東京真画名所図解 枕橋	四つ切判	錦絵	1	U05397
55	井上安治	東京真画名所図解 上野競馬	横中短冊判	錦絵	1	U05398
56	井上安治	東京真画名所図解 芝増上寺	四つ切判	錦絵	1	U05399
57	井上安治	東京真画名所図解 芝口ヨリ虎ノ門	四つ切判	錦絵	1	U05400
58	井上安治	東京真画名所図解 浅草観音	四つ切判	錦絵	1	U05401
59	井上安治	東京真画名所図解 浅草東門跡	四つ切判	錦絵	1	U05402
60	井上安治	東京真画名所図解 永代橋際日本銀行の雪	四つ切判	錦絵	1	U05403
61	井上安治	東京真画名所図解 築地海軍省	四つ切判	錦絵	1	U05404
62	井上安治	東京真画名所図解 吾妻橋(夜)	四つ切判	錦絵	1	U05405
63	井上安治	東京真画名所図解 日本橋夜景	四つ切判	錦絵	1	U05406
64	井上安治	東京真画名所図解 浅草公園夜景	四つ切判	錦絵	1	U05407
65	井上安治	東京真画名所図解 鹿鳴館	四つ切判	錦絵	1	U05408
66	井上安治	東京真画名所図解 駿河町夜景	四つ切判	錦絵	1	U05409
67	井上安治	東京真画名所図解 ゆ嶋天神	四つ切判	錦絵	1	U05410
68	井上安治	東京真画名所図解 鎧橋	四つ切判	錦絵	1	U05411
69	井上安治	東京真画名所図解 鎧橋夜	四つ切判	錦絵	1	U05412
70	井上安治	東京真画名所図解 中洲	四つ切判	錦絵	1	U05413
71	井上安治	東京真画名所図解 洲崎(夜)	四つ切判	錦絵	1	U05414
72	井上安治	東京真画名所図解 向島夜桜	四つ切判	錦絵	1	U05415
73	井上安治	東京真画名所図解 御城二重橋ノ景	四つ切判	錦絵	1	U05416
74	井上安治	東京真画名所図解 銀座通夜景	四つ切判	錦絵	1	U05417
75	井上安治	東京真画名所図解 筋違通夜景	四つ切判	錦絵	1	U05418
76	井上安治	東京真画名所図解 柳橋夜景	四つ切判	錦絵	1	U05419
77	井上安治	東京真画名所図解 元柳橋	四つ切判	錦絵	1	U05420
78	井上安治	東京真画名所図解 小梅枕橋	四つ切判	錦絵	1	U05421
79	井上安治	東京真画名所図解 綾瀬川朝	四つ切判	錦絵	1	U05422
80	井上安治	東京真画名所図解 大川端石原橋	四つ切判	錦絵	1	U05423
81	井上安治	東京真画名所図解 深川仙台堀	四つ切判	錦絵	1	U05424

82	井上安治	東京真画名所図解 浅草橋夕暮	四つ切判	錦絵	1	U05425
83	井上安治	東京真画名所図解 京橋	四つ切判	錦絵	1	U05426
84	井上安治	東京真画名所図解 上野公園地	四つ切判	錦絵	1	U05427
85	井上安治	東京真画名所図解 上野三橋	四つ切判	錦絵	1	U05428
86	井上安治	東京真画名所図解 上野新阪	四つ切判	錦絵	1	U05429
87	井上安治	東京真画名所図解 浅草広小路	四つ切判	錦絵	1	U05430
88	井上安治	東京真画名所図解 四日市	四つ切判	錦絵	1	U05431
89	井上安治	東京真画名所図解 桜田参謀本部	四つ切判	錦絵	1	U05432
90	井上安治	東京真画名所図解 竹橋内	四つ切判	錦絵	1	U05433
91	井上安治	東京真画名所図解 赤坂仮皇居	四つ切判	錦絵	1	U05434
92	井上安治	東京真画名所図解 葵坂	四つ切判	錦絵	1	U05435
93	井上安治	東京真画名所図解 鍛冶橋遠景	四つ切判	錦絵	1	U05436
94	井上安治	東京真画名所図解 日枝神社	四つ切判	錦絵	1	U05437
95	井上安治	東京真画名所図解 靖国神社	四つ切判	錦絵	1	U05438
96	井上安治	東京真画名所図解 水道橋	四つ切判	錦絵	1	U05439
97	井上安治	東京真画名所図解 隅田川堤	四つ切判	錦絵	1	U05440
98	井上安治	東京真画名所図解 洲崎(屋)	四つ切判	錦絵	1	U05441
99	井上安治	東京真画名所図解 向島秋葉境内	四つ切判	錦絵	1	U05442
100	井上安治	東京真画名所図解 本所割下水	四つ切判	錦絵	1	U05443
101	井上安治	東京真画名所図解 谷中天王寺	四つ切判	錦絵	1	U05444
102	井上安治	東京真画名所図解 飛鳥山	四つ切判	錦絵	1	U05445
103	井上安治	東京真画名所図解 道灌山下	四つ切判	錦絵	1	U05446
104	井上安治	東京真画名所図解 千住ラシャ製造場	四つ切判	錦絵	1	U05447
105	井上安治	東京真画名所図解 赤羽根橋景	四つ切判	錦絵	1	U05448
106	井上安治	東京真画名所図解 真間弘法寺	四つ切判	錦絵	1	U05449
107	岳亭春信	浪速名所 天保山勝景一覽 夕立	横大判	錦絵	1	U05450
108	岳亭春信	浪速名所 天保山勝景一覽 雨やどり	横大判	錦絵	1	U05451
109	岳亭春信	浪速名所 天保山勝景一覽 石橋	横大判	錦絵	1	U05452
110	岳亭春信	浪速名所 天保山勝景一覽 風景	横大判	錦絵	1	U05453
111	岳亭春信	浪速名所 天保山勝景一覽 入津	横大判	錦絵	1	U05454
112	歌川国芳	通俗水滸伝 大刀関勝 没羽箭張清	大判	錦絵	1	U05455
113	歌川国芳	通俗水滸伝 大刀関勝 没羽箭張清	大判	錦絵	1	U05456
114	小林清親	大川富士見渡	横大判	錦絵	1	U05457

東洋陶磁

平成 20 年度(東洋陶磁) 【5 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	館藏品No.
1	青磁象嵌花文盒	1	朝鮮	高麗	T00505
2	唐三彩駱駝	1	中国	唐	T00506

3	緑釉龍首水注	1	中国	五代～北宋	T00507
4	白地鉄絵花文壺	1	中国	元	T00508
5	青花人物文皿	1	中国	明	T00509

平成 21 年度は購入実績なし

平成 22 年度(東洋陶磁) 【6 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	館藏品No.
1	黄釉加彩騎馬仕女	1	中国	唐	T00510
2	白磁盤口壺	1	中国	唐	T00511
3	藍彩花文盤	1	中国	唐	T00512
4	褐釉白花雲龍文盤(餅花手)	1	福建・漳州窯	明末	T00513
5	鉄象嵌馬上杯	1	朝鮮	朝鮮	T00514
6	色絵花鳥文皿(柿右衛門様式)	1	日本	江戸	T00515

平成 23 年度(東洋陶磁) 【13 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	館藏品No.
1	灰陶山羊(一対)	2	中国	漢	T00523
2	褐釉人物	3	中国	後漢	T00524
3	三彩印花唐草文枕	1	中国	唐	T00525
4	藍三彩鸞文枕	1	中国	唐	T00526
5	青白磁八稜花盤	1	中国	元	T00527
6	灰陶加彩武人俑	1	中国	初唐	T00528
7	青白磁有蓋水注	1	中国	宋	T00529
8	白地鉄絵花文深鉢	1	中国・磁州窯	宋	T00530
9	青花龍文四耳壺	1	中国	明末	T00531
10	埴輪 人物頭部	1	日本	古墳	T00532
11	埴輪 少女頭部	1	日本	古墳	T00533
12	色絵花鳥文壺(柿右衛門様式)	1	日本	江戸	T00534
13	白磁藍彩芙蓉手獅子文皿	1	イラン	17～18 世紀	T00535

平成 24 年度(東洋陶磁) 【20 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	館藏品No.
1	藍釉万年壺	1	中国	唐	T00536
2	緑釉万年壺	1	中国	唐	T00537
3	緑釉水注	1	中国	唐	T00538
4	灰釉五管瓶	1	中国	後漢	T00539
5	俑頭	5	中国	漢	T00540

6	古染付芦葉羅漢文皿	1	中国	明	T00541
7	縄文式土器 深鉢	1	日本	縄文	T00542
8	弥生式土器 壺(丹塗)	1	日本	弥生	T00543
9	須恵器 長頸瓶	1	日本	平安	T00544
10	信楽 壺	1	日本	室町	T00545
11	丹波 壺	1	日本	室町	T00546
12	備前 瓶(無徳利)	1	日本	桃山	T00547
13	鼠志野秋草文 額皿(4足)	1	日本	桃山	T00548
14	織部藤文 筒向付	5	日本	桃山	T00549
15	古九谷色絵花文 瓶	1	日本	江戸	T00550
16	初期伊万里染付捻花文 皿	1	日本	江戸	T00551
17	初期伊万里染付渦文 皿	5	日本	江戸	T00552
18	初期伊万里染付鸞文 稜花皿	1	日本	江戸	T00553
19	初期伊万里染付兎型 皿	1	日本	江戸	T00554
20	古伊万里染付花鳥文 面取瓶	1	日本	江戸	T00555

平成 25 年度(東洋陶磁) 【5 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	館蔵品No.
1	五彩龍文馬上杯(呉須赤絵)	1	中国	明	T00556
2	柿種輪花盤	1	中国	北宋~金	T00557
3	五彩花鳥文兜鉢(呉須赤絵)	1	中国	明	T00558
4	青花人物風景文鉢	1	中国	清	T00559
5	青花瓶及び水注	5	中国	清	T00560

陶芸

平成 23 年度(陶芸) 【54 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	館蔵品No.
1	受胎	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00468
2	誕生	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00469
3	童子	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00470
4	愛	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00471
5	初陣前夜	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00472
6	愛の季	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00473
7	花園	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00474
8	絆	1	三輪休雪(十二代)	平成 16 年~22(2004~2010)年	K00475

9	六鈷杵	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00476
10	降魔	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00477
11	明日には必ず勝つ	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00478
12	反乱	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00479
13	花の下にて春…	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00480
14	悲	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00481
15	母子	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00482
16	涅槃	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00483
17	蓮華母	1	三輪休雪(十二代)	平成16年~22(2004~2010)年	K00484
18	畝	1	野坂康起	昭和45(1970)年	K00505
19	萩白釉四方水指	1	野坂康起	平成14(2002)年	K00506
20	炎箔文四方鉢	1	大和保男	昭和63(1988)年	K00507
21	炎箔文四方皿	1	大和保男	平成元(1989)年	K00508
22	炎彩貝目四方陶管	1	大和保男	平成14(2002)年	K00509
23	波濤海流文長方陶管	1	大和保男	平成17(2005)年	K00510
24	白釉掛分流水文長方陶管	1	大和保男	平成18(2006)年	K00511
25	炎彩溪流譜陶管・輪廻転生	1	大和保男	平成20(2008)年	K00512
26	陶板「白雲独行」	1	柳原睦夫	昭和55(1980)年	K00513
27	浮水指 大ツノ取ッ手	1	柳原睦夫	平成23(2011)年	K00514
28	茶入 共蓋 銘「メタボ」	1	柳原睦夫	平成23(2011)年	K00515
29	香合	1	柳原睦夫	平成23(2011)年	K00516
30	萩緋色鉢	1	波多野善藏	平成21(2009)年	K00517
31	曜	1	吉賀将夫	昭和60(1985)年	K00518
32	炎彩花器	1	岡田 裕	平成22(2010)年	K00519
33	炎彩花器	1	岡田 裕	平成22(2010)年	K00520
34	陶彩景秋草図八角陶管	1	坂高麗左衛門(12代)	平成14(2002)年	K00521
35	萩茶碗	1	坂高麗左衛門(12代)	平成14(2002)年	K00522
36	干支香合	14	坂高麗左衛門(12代)	昭和60~平成9(1985~1997)年	K00523
37	天空の華	1	金子信彦	平成16(2004)年	K00524
38	地動	1	金子信彦	平成18(2006)年	K00525
39	黒の遺構 (組作品、24基)	1	三輪和彦	平成18(2006)年	K00526
40	Heterophony 3	1	秋山 陽	平成21(2009)年	K00527
41	WORK 2000-88 割貫花器	1	兼田昌尚	平成12(2000)年	K00528

42	WORK 06一方	1	兼田昌尚	平成 18(2006)年	K00529
43	WORK 06一今	1	兼田昌尚	平成 18(2006)年	K00530
44	WORK 06一往 (組作品、3 基)	1	兼田昌尚	平成 18(2006)年	K00531
45	WORK 06一天 (組作品、3 基)	1	兼田昌尚	平成 18(2006)年	K00532
46	人間というもの (組作品、3,800 個)	1	禹寛壕	平成 22(2010)年	K00533
47	静かに動き続ける	1	中井川由季	平成 13(2001)年	K00534
48	種々 (組作品、3,000 本)	1	金子 司	平成 20(2008)年	K00535
49	炎彩掛分水指	1	大和保男	平成 12(2000)年	K00536
50	炎彩火襷文水指	1	大和保男	平成 14(2002)年	K00537
51	火襷文四方水指	1	大和保男	平成 17(2005)年	K00538
52	白釉火襷文壺	1	大和保男	平成 17(2005)年	K00539
53	白釉掛分流水文壺	1	大和保男	平成 19(2007)年	K00540
54	炎彩扁壺・爽風	1	大和保男	平成 22(2010)年	K00541

平成 25 年度購入作品(陶芸) 【1 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	館蔵品No.
1	萩灰被花器	1	坂倉新兵衛(15代)	平成 24(2012)年	K00554

Ⅱ > 5 寄贈作品（寄贈者の敬称は略。）

浮世絵

平成 19 年度(浮世絵・近現代版画) 【1 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	寄贈者	館蔵品No.
1	歌川芳艶	三十六歌仙 和歌御会御作法	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05127

平成 20 年度(浮世絵・近現代版画) 【9 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	寄贈者	館蔵品No.
1	葛飾北斎	富嶽百景 初編 十八丁ウ 元旦の不二	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05131
2	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 銀鼠	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05132
3	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 牛	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05133
4	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 野馬	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05134
5	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 唐犬	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05135
6	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 猪	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05136
7	葛飾北斎	北斎漫画 十四編 犬	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05137
8	葛飾北斎	北斎漫画 十編 孫悟空 殷の王妃	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05138
9	葛飾北斎	釈迦御一代記図絵 巻一 橋曇夫人の妬心 大蛇となる図	絵本	版本挿図	1	浦上敏朗氏	U05139

平成 21 年度(浮世絵・近現代版画) 【48 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	寄贈者	館蔵品No.
1	尾形月耕	月耕随筆 目録	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05173
2	尾形月耕	月耕随筆 伊邪那岐伊邪那美二神立天浮橋図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05174
3	尾形月耕	月耕随筆 盧生夢之図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05175
4	尾形月耕	月耕随筆 花売る人花活る人	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05176
5	尾形月耕	月耕随筆 仁徳帝望民家之図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05177
6	尾形月耕	月耕随筆 河越布袋之図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05178
7	尾形月耕	月耕随筆 井乃頭弁天の真景	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05179
8	尾形月耕	月耕随筆 母里太兵衛 虎狩図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05180
9	尾形月耕	月耕随筆 遊君地獄太夫	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05181
10	尾形月耕	月耕随筆 龍昇天	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05182
11	尾形月耕	月耕随筆 縫乃工 呉織穴織	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05183
12	尾形月耕	月耕随筆 流人俊寛	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05184
13	尾形月耕	月耕随筆 鬼ヶ島	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05185
14	尾形月耕	月耕随筆 佳人わらびつみ	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05186
15	尾形月耕	月耕随筆 加藤清正賤ヶ嶽軍功之図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05187
16	尾形月耕	月耕随筆 養老孝子瀧を汲の図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05188
17	尾形月耕	月耕随筆 大臣武内宿禰	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05189

18	尾形月耕	月耕随筆 連雀	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05190
19	尾形月耕	月耕随筆 衣通姫 わかせこか来へき宵なりさゝかにの 蜘蛛のふるまいかねてしるしも	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05191
20	尾形月耕	月耕随筆 釣 太公望	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05192
21	尾形月耕	月耕随筆 鼠 陸砂黒石 常経寺の猫	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05193
22	尾形月耕	月耕随筆 名古曾関 義家朝臣	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05194
23	尾形月耕	月耕随筆 東中君 咲けば藤花の習いや君の世界 一茶庵口路	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05195
24	尾形月耕	月耕随筆 馬術 間垣平九郎	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05196
25	尾形月耕	月耕随筆 宇佐八幡社景 和気清麿朝臣	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05197
26	尾形月耕	月耕随筆 稻荷山 小鍛冶	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05198
27	尾形月耕	月耕随筆 乗合船 土農工商	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05199
28	尾形月耕	月耕随筆 小野小町 雨乞	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05200
29	尾形月耕	月耕随筆 草薙剣 日本武尊	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05201
30	尾形月耕	月耕随筆 日本魂 侠客	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05202
31	尾形月耕	月耕随筆 舞 静	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05203
32	尾形月耕	月耕随筆 傾城 薄雲	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05204
33	尾形月耕	月耕随筆 不動神力 祐天	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05205
34	尾形月耕	月耕随筆 小督 嵯峨野庵	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05206
35	尾形月耕	月耕随筆 江の嶋参り	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05207
36	尾形月耕	月耕随筆 天拝山 菅原道真	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05208
37	尾形月耕	月耕随筆 浅芽か原 一ツ家	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05209
38	尾形月耕	月耕随筆 西行法師	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05210
39	尾形月耕	月耕随筆 九尾狐	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05211
40	尾形月耕	月耕随筆 雄略天皇 葛城山狩図	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05212
41	尾形月耕	月耕随筆 名工 左甚五郎	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05213
42	尾形月耕	月耕随筆 水江浦嶋	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05214
43	尾形月耕	月耕随筆 芝居	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05215
44	尾形月耕	月耕随筆 遠藤武者盛遠	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05216
45	尾形月耕	月耕随筆 日暮門之景	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05217
46	尾形月耕	月耕随筆 求塚 住わひむ我みなけてむ津乃国の いく田の河はなのみなりけり	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05218
47	尾形月耕	月耕随筆 関の戸	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05219
48	尾形月耕	月耕随筆 相撲	大判	錦絵	1	浦上敏朗氏	U05220

平成 24 年度(浮世絵・近現代版画) 【7 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	寄贈者	館蔵品No.
1	立原位貴	ササガニ 1996		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05337
2	立原位貴	唐辛子と水滴		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05338
3	立原位貴	インテンション		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05339
4	立原位貴	唐辛子(蟻)		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05340
5	立原位貴	露草		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05341
6	立原位貴	露草(摺違い)		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05342
7	立原位貴	Air Mail		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05343

平成 25 年度寄贈作品(浮世絵・近現代版画) 【21 件】

	作者名	作品名	判型	形態	点数	寄贈者	館蔵品No.
1	水野年方	相撲絵		下絵	1	浦上敏朗氏	U05458
2	水野年方	武者絵		下絵	1	浦上敏朗氏	U05459
3	水野年方	菅原道真		下絵	1	浦上敏朗氏	U05460
4	水野年方	「新粧美人」『文芸倶楽部』 第 4 巻 1 編 博文館 明治 31 年	堅判	木版画	1	浦上敏朗氏	U05461
5	水野年方	「号外」『文芸倶楽部』 第 10 巻 8 号 博文館 明治 37 年	堅判	木版画	1	浦上敏朗氏	U05462
6	竹内桂舟	「月下の美人」『文芸倶楽部』 第 2 巻 7 編 博文館 明治 29 年	横判	木版画	1	浦上敏朗氏	U05463
7	鱒崎英朋	「寒紅梅」『文芸倶楽部』第 15 巻 1 編 明治 43 年	柱絵 判	木版画	1	浦上敏朗氏	U05464
8	橋口五葉	東京名所の内 お茶の水	横判	印刷	1	浦上敏朗氏	U05465
9	富永永洗	もの思う美人	横判	木版画	1	浦上敏朗氏	U05466
10	立原位貴	ブラッククラッカー		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05467
11	立原位貴	こでまり		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05468
12	立原位貴	鯖と麦		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05469
13	立原位貴	影青		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05470
14	立原位貴	emile		多色摺	1	浦上敏朗氏	U05471
15	立原位貴	阿古屋		復刻版画	1	立原位貴氏	U05472
16	立原位貴	大當狂言ノ内 梶原源太		復刻版画	1	立原位貴氏	U05473
17	立原位貴	大當狂言之内 菅丞相		復刻版画	1	立原位貴氏	U05474
18	立原位貴	大當狂言内 大工六三郎		復刻版画	1	立原位貴氏	U05475
19	立原位貴	大當狂言内 幡随長兵衛		復刻版画	1	立原位貴氏	U05476
20	立原位貴	大當狂言ノ内 八百屋お七		復刻版画	1	立原位貴氏	U05477
21	立原位貴	大當狂言内 与次郎		復刻版画	1	立原位貴氏	U05478

東洋陶磁

平成 19 年度(東洋陶磁) 【8 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	寄贈者	館蔵品No.
1	褐緑彩水注	1	中国・長沙窯	晩唐	浦上敏朗氏	T00464
2	白磁鳳首瓶	1	中国	五代～北宋	西田宏子氏	T00465
3	素焼瓜形水注	1	朝鮮	高麗	西田宏子氏	T00466
4	絵志野四方入隅鉢	1	日本・久尻窯	桃山	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	T00467
5	絵唐津茶碗 銘 星月夜	1	日本	江戸	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	T00468
6	古伊万里山水文皿	1	日本・有田窯	江戸	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	T00469
7	せんべいつぼ	1	日本・信楽窯	江戸	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	T00470
8	彩画鳥文鉢	1	ペルシア	12 世紀	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	T00471

平成 22 年度(東洋陶磁) 【3 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	寄贈者	館蔵品No.
1	五彩馬文皿	1		明	浦上敏朗氏	T00516
2	五彩馬文皿	1		明	浦上敏朗氏	T00517
3	萩茶碗	1		江戸	目加田さくを氏	T00518

平成 23 年度(東洋陶磁) 【4 件】

	作品名	点数	生産地域	時代区分	寄贈者	館蔵品No.
1	褐釉緑彩罎	1	中国	前漢	浦上敏朗氏	T00519
2	青磁壺	1	中国・越州窯	隋～唐	福島サト子氏	T00520
3	緑釉壺	1	中国	後漢	福島サト子氏	T00521
4	緑釉花文瓢形瓶	1	中国	遼	福島サト子氏	T00522

陶芸

平成 19 年度寄贈作品(陶芸) 【220 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	寄贈者	館蔵品No.
1	鉄絵茶碗	1	バーナード・リーチ	昭和 40(1965) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00036
2	天目碗	1	バーナード・リーチ	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00037
3	鉄釉瓶	1	バーナード・リーチ	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00038

4	角扁壺	1	バーナード・リーチ	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00039
5	天目壺	1	バーナード・リーチ	昭和 46(1971) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00040
6	柿釉壺	1	バーナード・リーチ	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00041
7	白磁葡萄茶碗	1	バーナード・リーチ	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00042
8	彩磁菖蒲茶碗	1	井上治男	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00043
9	黒釉釘彫茶碗	1	井上良斎(3代)	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00044
10	青釉高台鉢「風韻」	1	加藤卓男	平成 6(c.1994) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00045
11	絵唐津茶碗 銘 龍	1	加藤土師萌	昭和 40年代前半	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00046
12	御本内鶴茶碗	1	加藤土師萌	昭和 40年代前半	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00047
13	色絵鉄砂梅松文銘 々皿	6	加藤土師萌	昭和 40年代前半	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00048
14	色絵筋文湯呑	6	加藤土師萌	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00049
15	織部手付角皿	1	加藤土師萌	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00050
16	色絵染付湯呑	6	加藤土師萌	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00051
17	絵唐津茶碗	1	加藤唐九郎	昭和 45-49 (1970-74)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00052
18	花絵盃	1	河井寛次郎	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00053
19	彩盛磁竹文茶碗	1	宮之原謙	昭和 48(1973) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00055
20	天目茶碗	1	近藤悠三	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00056
21	山染付盃	1	近藤悠三	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00057
22	備前茶碗	1	金重陶陽	昭和 40(c.1965) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00058
23	伊部酒呑	1	金重道明	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00059
24	湯呑	1	金城次郎	昭和 63(c.1988) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00060
25	花生	1	金城次郎	昭和 63(c.1988) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00061

26	魚文抱瓶	1	金城次郎	昭和 63(c.1988) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00062
27	魚紋鉢	1	金城次郎	平成元(1989)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00063
28	魚文抱瓶	1	金城次郎	平成元(1989)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00064
29	黄瀬戸盃	1	荒川豊蔵	昭和 51(c.1976) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00065
30	梅絵茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 40(c.1965) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00066
31	志野茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00067
32	志野茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00068
33	志野茶碗 銘 曙	1	荒川豊蔵	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00069
34	瀬戸黒茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00070
35	唐津茶碗 銘 下萌	1	荒川豊蔵	昭和 43(c.1968) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00071
36	志野茶碗 銘 残雪	1	荒川豊蔵	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00072
37	茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00073
38	唐津風月乃絵茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00074
39	志乃盃	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00075
40	志野盃	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00076
41	志乃香合	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00077
42	志乃香合	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00078
43	志乃盃	1	荒川豊蔵	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00079
44	志野茶碗 銘 深山乃雪	1	荒川豊蔵	昭和 46(1971) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00080
45	桔梗乃絵錦皿	1	荒川豊蔵	昭和 46(c.1971) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00081
46	染付馬乃絵茶碗	1	荒川豊蔵	昭和 46(c.1971) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00082
47	志野茶碗 銘 早春	1	荒川豊蔵	昭和 47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00083

48	牡丹平鉢	1	荒川豊蔵	昭和 49(c.1974) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00084
49	鼠志野鶴絵茶碗 銘 荒磯	1	荒川豊蔵	昭和 51(1976) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00085
50	黄瀬戸竹花入	1	荒川豊蔵	昭和 51(1976) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00086
51	色鍋島染地露草額 皿	1	今泉今右衛門 (12代)	昭和 49(c.1974) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00087
52	萩白釉四方鉢	1	坂田泥珠 (14代泥華)	昭和 50年代	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00088
53	萩茶碗	1	坂田泥珠 (14代泥華)	昭和 52(1977) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00089
54	萩焼茶碗	1	坂高麗左衛門 (11代)	昭和 55(c.1980) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00090
55	染付辰砂フラミン ゴ絵皿	6	三浦小平二	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00091
56	青磁バンディアミ ールぐい呑	1	三浦小平二	昭和 53(1978) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00092
57	青磁バンディアミ ールぐい呑	1	三浦小平二	昭和 53(1978) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00093
58	青磁バンディアミ ールぐい呑	1	三浦小平二	昭和 53(1978) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00094
59	青磁バンディアミ ールぐい呑	1	三浦小平二	昭和 53(1978) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00095
60	青磁バンディアミ ールぐい呑	1	三浦小平二	昭和 53(1978) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00096
61	卵	1	三輪休雪(12代)	昭和 51(1976) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00097
62	白萩鉢「雷童」	1	三輪休雪(12代)	昭和 56(1981) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00098
63	萩茶碗「紅塔紅」	1	三輪休雪(12代)	昭和 58(1983) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00099
64	白萩老梅碗	1	三輪休雪(12代)	昭和 58(c.1983) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00100
65	愛文酒盃	1	三輪休雪(12代)	平成 6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00101
66	「酒楽 勸酒」 皿・徳利・盃・箸置	4	三輪休雪(12代)	平成 6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00102
67	龍氣盃	1	三輪休雪(12代)	平成 12(2000) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00103
68	青雲龍氣碗 銘 龍宮城	1	三輪休雪(12代)	平成 12(2000) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00104
69	花器「まどろみ」	1	三輪休雪(12代)	平成 14(2002) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00105

70	オーロラ碗 銘 妖酔	1	三輪休雪(12代)	平成 17(2005) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00106
71	萩雀香合	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 39(c.1964) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00107
72	萩割高台茶碗	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00108
73	萩茶碗	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00109
74	萩茶碗	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00110
75	白萩窯変平皿	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 40(1965) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00111
76	萩茶碗	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 42(c.1967) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00112
77	萩茶碗	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 43(c.1968) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00113
78	萩酒呑	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00114
79	萩酒呑	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00115
80	白萩松かさ香合	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 46(c.1971) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00116
81	萩焼徳利	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 50年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00117
82	萩酒呑	1	三輪休和 (10代休雪)	昭和 51(1976) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00118
83	白い夢	1	三輪和彦	平成 3(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00119
84	白夢盃	1	三輪和彦	平成 6(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00120
85	金耳盃	1	三輪和彦	平成 6(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00121
86	金耳盃	1	三輪和彦	平成 6(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00122
87	白夢盃	1	三輪和彦	平成 6(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00123
88	白夢盃	1	三輪和彦	平成 6(1991)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00124
89	白夢碗	1	三輪和彦	平成 8(1993)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00125
90	萩盃	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00126
91	萩徳利	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和 41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00127

92	萩面取花入	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和41(1966) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00128
93	萩茶碗 銘 雲間ノ月	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00129
94	紅萩茶碗 銘 豊旗雲	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00130
95	白萩平皿	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00131
96	枇杷釉萩茶碗 銘 早瀬	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00132
97	紅萩菱形水指 銘 花篝	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和44(1969) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00133
98	萩茶碗 銘 暁雲	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00134
99	白萩茶碗 銘 若水	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00135
100	白萩茶碗 銘 陽炎	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和46(1971) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00136
101	萩茶碗 銘 瑞雲	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00137
102	萩茶碗 銘 獅子	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00138
103	白萩茶碗 銘 春雷	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00139
104	萩茶碗 銘 日和	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和52(1977) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00140
105	白萩茶碗 銘 天女の衣	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和56(c.1981) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00141
106	萩茶碗 銘 天が火	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和59(1984) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00142
107	白萩窯変壺	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和60(1985) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00143
108	萩掛分茶碗 銘 舞衣	1	三輪壽雪 (11代休雪)	昭和61(1986) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00144
109	鬼萩割高台茶碗 銘 風神	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成元(1989)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00145
110	白萩翠色茶碗 銘 湛静	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成2(1990)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00146
111	鬼萩窯変割高台茶 碗 銘 雷神	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成2(1990)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00147
112	白萩灰被水指 銘 金剛	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成2(1990)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00148
113	鬼萩茶碗 銘 彩霞	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00149

114	鬼萩割高台茶碗 銘 大盤石	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成7(1995)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00150
115	白萩灰被花入 銘 猛虎	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成9(1997)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00151
116	白萩盃 銘 夕吹雪	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成9(1997)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00152
117	白萩盃 銘 雪月夜	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成9(c.1997) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00153
118	白萩盃 銘 瑞雲	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成10(1998) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00154
119	白萩盃 銘 鶴の舞	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成10(1998) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00155
120	白萩窯変茶碗 銘 垂水の春	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成10(1998) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00156
121	白萩陶匣 銘 花の宴	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成10(1998) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00157
122	白萩掛花入	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成10(c.1998) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00158
123	鬼萩茶碗	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成12(2000) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00159
124	鬼萩割高台茶碗 銘 瑞龍	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成12(c.2000) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00160
125	鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成15(2003) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00161
126	白萩菱形水指 銘 白心	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成15(2003) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00162
127	備前酒呑	1	山本陶秀	昭和49(1974) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00163
128	備前酒呑	1	山本陶秀	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00164
129	備前一輪花入	1	山本雄一	平成6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00165
130	金彩盃	1	篠田義一	昭和49(1974) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00166
131	種子島酒觴	1	小山富士夫	昭和48(1973) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00167
132	練上平茶碗	1	松井康成	昭和49(1974) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00168
133	練上酒呑	1	松井康成	昭和49(1974) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00169
134	練上青瓷皿	1	松井康成	昭和59(1984) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00170
135	白萩ぐい呑	1	新庄貞嗣	平成7(1995)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00171

136	白萩ぐい呑	1	新庄貞嗣	平成 7(1995)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00172
137	白釉茶碗	1	清水卯一	昭和 39(1964) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00173
138	紅斑文汲出碗	5	清水卯一	昭和 42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00174
139	紅斑文急須	1	清水卯一	昭和 42(1967) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00175
140	青瓷花瓶	1	清水卯一	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00176
141	灰釉鉄絵茶碗	1	清水卯一	昭和 47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00177
142	白貫入茶碗	1	清水卯一	昭和 47(1972) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00178
143	瑞竹茶碗	1	清水六兵衛 (6代)	昭和 39(1964) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00179
144	錆拗梅茶碗	1	清水六兵衛 (6代)	昭和 40(c.1965) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00180
145	古稀彩桔梗飾皿	1	清水六兵衛 (6代)	昭和 40(c.1965) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00181
146	釉象花瓶	1	清水六兵衛 (6代)	昭和 40(c.1965) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00182
147	金彩三島茶碗	1	清水六兵衛 (6代)	昭和 44(1969) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00183
148	斑唐津ぐい呑	1	西岡小十	平成 4(1992)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00184
149	文字鉢	1	石黒宗麿	昭和 40-43 (1965-68)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00185
150	赤繪双魚小服茶碗	1	石黒宗麿	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00186
151	小ぶり鉄絵茶碗	1	石黒宗麿	昭和 43(c.1968) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00187
152	黒茶碗	1	村瀬治兵衛 (初代)	昭和 28-37 (1953-62)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00188
153	朝鮮唐津耳付水指	1	中里無庵 (12代太郎衛門)	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00189
154	青白磁茶碗	1	塚本快示	昭和 56(c.1981) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00190
155	白瓷茶碗	1	塚本快示	昭和 56(c.1981) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00191
156	ぐい呑	1	田村耕一	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00192
157	象嵌赤繪ぐい呑	1	島岡達三	平成 4(1992)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00193

158	白掛ぐい呑	1	島岡達三	平成 4(c.1992)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00194
159	備前徳利	1	藤原 啓	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00195
160	備前盃	1	藤原 啓	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00196
161	備前盃	1	藤原 啓	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00197
162	盃	1	藤平 伸	平成 6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00198
163	色絵コーヒ碗	6	藤本能道	昭和 45(1970)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00199
164	赤絵ぐい呑み	1	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00200
165	赤絵茶碗	1	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00201
166	鉄絵茶碗	1	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00202
167	柘榴文徳利	1	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00203
168	色絵牡丹図角皿	5	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00204
169	赤絵ぐい呑み	1	藤本能道	昭和 45-50 (1970-1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00205
170	赤絵汲み出し碗	5	藤本能道	昭和 48(1973)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00206
171	色絵花童児水指	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00207
172	色絵松林童女図角皿	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00208
173	色絵童児牡丹大皿	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00209
174	色絵枯葉と尾長図丸大鉢	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00210
175	色絵ばら之図角皿	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00211
176	色絵角ぐい呑み	1	藤本能道	昭和 48(c.1973)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00212

177	赤絵草花文組皿	5	藤本能道	昭和 49(1974)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00213
178	色絵茄子ぐい呑	1	藤本能道	昭和 49(1974)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00214
179	色絵椿ぐい呑	1	藤本能道	昭和 50(1975)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00215
180	色絵茄子ぐい呑	1	藤本能道	昭和 50(1975)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00216
181	色絵椿ぐい呑	1	藤本能道	昭和 50(1975)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00217
182	色絵椿ぐい呑	1	藤本能道	昭和 50(1975)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00218
183	自刻自彩ちゃわん 抽象	1	堂本印象	平成 4(1992)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00219
184	耀彩茶碗	1	徳田八十吉	平成 12(2000)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00220
185	印華文茶碗	1	楠部彌弌	昭和 44(1969)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00221
186	印花文の器	1	八木一夫	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00222
187	黄瀬戸水指 銘 岩清水	1	豊場惺也	平成 6(1994)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00223
188	黄瀬戸花生	1	豊場惺也	平成 8(1996)年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00224
189	志野酒盃	1	豊場惺也	平成 8(c.1996)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00225
190	志野酒盃	1	豊場惺也	平成 8(c.1996)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00226
191	志野酒盃	1	豊場惺也	平成 8(c.1996)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00227
192	呉須赤絵ぐい呑	1	北大路魯山人	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00228
193	木の葉額皿	1	北大路魯山人	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00229
194	楽茶碗	1	不詳	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00230
195	楽茶碗	1	楽 覚入 (14代吉左衛門)	昭和 50(c.1975)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00231
196	柿釉抜絵皿	1	濱田庄司	昭和 18(c.1931)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00232
197	柿釉青上絵角瓶	1	濱田庄司	昭和 47(c.1972)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00233
198	焼×釉描皿	1	濱田庄司	昭和 26(c.1951)年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00234

199	柿釉赤絵角皿	1	濱田庄司	昭和 30(c.1955) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00235
200	赤絵茶碗	1	濱田庄司	昭和 40(c.1965) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00236
201	黒釉鏝流描皿	1	濱田庄司	昭和 42(c.1967) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00237
202	琉球窯赤絵茶碗	1	濱田庄司	昭和 43(1968) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00238
203	赤絵六角筒	1	濱田庄司	昭和 44(1969) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00239
204	柿釉赤絵六角花生	1	濱田庄司	昭和 44(1969) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00240
205	海鼠釉縁黒茶碗	1	濱田庄司	昭和 44(1969) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00241
206	灰釉縁白切込茶碗	1	濱田庄司	昭和 45(1970) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00242
207	塩釉湯呑	1	濱田庄司	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00243
208	塩釉湯呑	1	濱田庄司	昭和 45(c.1970) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00244
209	灰釉白打胴紐茶碗	1	濱田庄司	昭和 46(1971) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00245
210	琉球窯面取赤絵藍 差茶碗	1	濱田庄司	昭和 46(1971) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00246
211	掛合釉胴紐茶碗	1	濱田庄司	昭和 46(c.1971) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00247
212	胴紐鉄絵茶碗	1	濱田庄司	昭和 46(c.1971) 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00248
213	灰釉白掛胴紐茶碗	1	濱田庄司	昭和 49(1974) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00249
214	鉄砂丸紋赤絵取皿 壺組(6枚)	6	濱田庄司	昭和 50(1975) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00250
215	塩釉鉄絵鉢	1	濱田庄司	昭和 50(1975) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00251
216	白差指描大鉢	1	濱田庄司	昭和 52(1977) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00252
217	白釉筆描茶碗	1	濱田庄司	昭和 52(1977) 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00253
218	有田焼 古伊万里写鉢	1	不詳	明治時代	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00254
219	大聖寺焼 古伊万里写花文皿	1	不詳	明治時代	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)	K00255
220	鬼萩窯変割高台 茶碗	1	三輪壽雪 (11代休雪)	平成 18(2006) 年	不走庵三輪窯	K00386

平成 20 年度寄贈作品(陶芸) 【34 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	寄贈者	館藏品No.
1	花冠 No.7	1	三輪和彦	平成 15(2003)年	不走庵三輪窯	K00380
2	花冠 No.33	1	三輪和彦	平成 15(2003)年	不走庵三輪窯	K00381
3	Have an hour's break	1	パク・チョングン	平成 19(2007)年	現在形の陶芸萩大賞実行委員会	K00382
4	吹泥金紅線文彩八角器	1	清水一二	平成 19(2007)年	清水一二氏	K00383
5	吹泥金銀線文彩鉢	1	清水一二	平成 19(2007)年	清水一二氏	K00384
6	彩刻磁鉢	1	石橋裕史	平成 19(2007)年	石橋裕史氏	K00385
7	信楽窯変花生	1	辻清明	平成 2(1990)年	辻清明氏ご遺族	K00387
8	信楽花生	1	辻清明	平成 5(1993)年	辻清明氏ご遺族	K00388
9	聚楽刷毛目茶碗	1	辻清明	平成 2(1990)年	辻清明氏ご遺族	K00389
10	信楽徳利	1	辻清明	昭和 40(c.1965)年頃	辻清明氏ご遺族	K00390
11	信楽帽子	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00391
12	信楽帽子	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00392
13	伊賀木の葉皿	5	辻清明	平成元(1989)年	辻清明氏ご遺族	K00393
14	信楽灰釉丸盤	1	辻清明	平成 2(1990)年	辻清明氏ご遺族	K00394
15	備前壺	1	辻清明	1950 年代	辻清明氏ご遺族	K00395
16	鉄絵盃	1	辻清明	1960 年代	辻清明氏ご遺族	K00396
17	信楽段重	1	辻清明	昭和 45(c.1970)年頃	辻清明氏ご遺族	K00397
18	越前ピッチャー	1	辻清明	1970 年代	辻清明氏ご遺族	K00398
19	信楽コップ	1	辻清明	1970 年代	辻清明氏ご遺族	K00399
20	信楽百合鉢	1	辻清明	昭和 55(1980)年	辻清明氏ご遺族	K00400
21	信楽釘型掛花生	1	辻清明	昭和 60(1985)年	辻清明氏ご遺族	K00401
22	信楽面取盃	1	辻清明	昭和 61(1986)年	辻清明氏ご遺族	K00402
23	唐津手桶	1	辻清明	昭和 61(1986)年	辻清明氏ご遺族	K00403
24	セミコル茶盤	1	辻清明	昭和 63(1988)年	辻清明氏ご遺族	K00404
25	信楽自然釉茶入	1	辻清明	平成元(1989)年	辻清明氏ご遺族	K00405
26	絵唐津皿	1	辻清明	平成 2(1990)年	辻清明氏ご遺族	K00406
27	信楽羅漢花生	1	辻清明	平成 3(1991)年	辻清明氏ご遺族	K00407
28	絵唐津唐草文木瓜鉢	1	辻清明	平成 5(1993)年	辻清明氏ご遺族	K00408
29	信楽陶缶	1	辻清明	平成 5(1993)年	辻清明氏ご遺族	K00409
30	信楽筒花生	1	辻清明	平成 5(1993)年	辻清明氏ご遺族	K00410
31	信楽瓶	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00411

32	信楽瓶	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00412
33	信楽瓶	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00413
34	信楽灰釉木葉皿	1	辻清明	平成 18(2006)年	辻清明氏ご遺族	K00414

平成 23 年度寄贈作品(陶芸) 【20 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	寄贈者	館蔵品No.
1	萩灰被茶碗	1	三輪休和(10代休雪)	昭和 40(1960)年 代	石井節子氏	K00485
2	萩茶碗	1	三輪休和(10代休雪)	昭和 40(1960)年 代	石井節子氏	K00486
3	白萩割高台茶碗	1	三輪壽雪(11代休雪)	昭和40(1960)年代前半	石井節子氏	K00487
4	萩玉取獅子置物	1	三輪壽雪(11代休雪)	昭和 10(1935)年	不走庵三輪窯	K00488
5	萩茶碗 銘 掌中珠	1	三輪壽雪(11代休雪)	昭和 55(1980)年	不走庵三輪窯	K00489
6	白萩灰被水指	1	三輪壽雪(11代休雪)	昭和 59(1984)年	不走庵三輪窯	K00490
7	伊羅保作品 雷文花器	1	野坂康起	昭和 32(1957)年	野坂康起氏	K00491
8	愁祖	1	大和保男	昭和 35(1960)年	大和保男氏	K00492
9	遠(かなたに)	1	大和保男	昭和 45(1970)年	大和保男氏	K00493
10	標	1	大和保男	昭和 47(1972)年	大和保男氏	K00494
11	白釉窯変茶碗	1	大和保男	平成 16(2004)年	大和保男氏	K00495
12	白梅文茶碗	1	大和保男	平成 16(2004)年	大和保男氏	K00496
13	鉄線文茶碗	1	大和保男	平成 18(2006)年	大和保男氏	K00497
14	炎彩花器	1	岡田 裕	平成 20(2008)年	岡田裕氏	K00498
15	割高台粉引茶碗	1	岡田 裕	平成 22(2010)年	岡田裕氏	K00499
16	白萩窯変茶碗	1	岡田 裕	平成 22(2010)年	岡田裕氏	K00500
17	みなもと	1	金子信彦	平成 19(2007)年	金子和彦氏	K00501
18	灰被割貫茶碗	1	兼田昌尚	平成 22(2010)年	兼田昌尚氏	K00502
19	白釉窯変割高台茶碗	1	兼田昌尚	平成 22(2010)年	兼田昌尚氏	K00503
20	外側から解く	1	中井川由季	平成 17(2005)年	株式会社 アートプリントジャパン	K00504

平成 24 年度寄贈作品(陶芸) 【6 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	寄贈者	館蔵品No.
1	萩茶盃	1	波多野善蔵	平成 13(2001)年	波多野善蔵氏	K00544
2	灰被水指	1	波多野善蔵	平成 23(2011)年	波多野善蔵氏	K00545

3	猫	1	グェッリーノ・トラモンティ	昭和 54(c.1979)年頃	マルコ・トラモンティ氏	K00546
4	黒彩器	1	渋谷英一	平成 23(2011)年	山下英一氏	K00547
5	白萩翠色茶碗 銘 傘寿	1	三輪壽雪(11代休雪)	平成 2(1990)年	不走庵三輪窯	K00548
6	風伯	1	藤笠砂都子	平成 22(2010)年	現在形の陶芸萩大賞展Ⅲ実行委員会	K00549

平成 25 年度寄贈作品(陶芸) 【7 件】

	作品名	点数	作者名	制作年代元号	寄贈者	館蔵品No.
1	萩茶碗	1	三輪壽雪(11代休雪)	昭和 55(1980)年	徳永みや子氏	K00550
2	萩茶碗	1	田原陶兵衛(12代)	昭和 55(c.1980)年頃	徳永みや子氏	K00551
3	鬼萩茶碗	1	三輪休和(10代休雪)	昭和 17(c.1942)年頃	竹市史恵氏	K00552
4	藍三彩鉢	1	加藤清和	平成 24(2012)年	加藤清和氏	K00553
5	夏子 その後	1	三輪休雪(12代)	平成 3(1991)年	竹内敬一郎氏	K00555
6	やわらかい海 6	1	三輪休雪(12代)	平成 9(1997)年	竹内敬一郎氏	K00556
7	花器 瑞鳥	1	三輪休雪(12代)	平成 10(1998)年	竹内敬一郎氏	K00557

その他(浮世絵版画、東洋陶磁、陶芸作品以外の作品)

平成 19 年度(その他) 【11 件】

	作品名	作者名	員数	材質・技法	制作年	寄贈者
1	風景と蝶文蓋物	エミール・ガレ	1	ガラス	明治 33-36 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
2	アイリス文花瓶	エミール・ガレ	1	ガラス	明治 33-37 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
3	ぐいのみ	岩田藤七	1	ガラス	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
4	手吹ヴェニスこっぷ 6 客	藤田喬平	1	ガラス	平成 7 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
5	パフラの雪	H・A・ポノマリョフ	1	油彩画	昭和 50 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
6	花鳥風月	荒川豊藏	1	水彩画	昭和 52 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
7	書「和風」	三輪休和 (10 代休雪)	1	書	昭和 41 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
8	書「静」	三輪壽雪 (11 代休雪)	1	書	昭和 63 年頃	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
9	掛物 「竹の月 ひとり涼むに ありあまる」	伝 小林一茶	1	書	不詳	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
10	花図	バーナード・リーチ	1	墨画	昭和 46 年	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)
11	朝鮮民画	不詳	1	墨画	19 世紀	染野義信氏・啓子氏 ご遺族(染野コレクション)

平成 20 年度(その他) 【1 件】

	作品名	作者名	員数	材質・技法	制作年	寄贈者
1	【茶室展示】風、水、根を張るべき場所 展示作品一式(9 基)	古伏脇 司	1	漆、麻布 他	平成 19 年	古伏脇 司氏

平成 25 年度(その他) 【1 件】

	作品名	作者名	員数	材質・技法	制作年	寄贈者
1	【茶室展示】さびのけしき 展示作品一式	留守 玲	1	鉄 他	平成 24 年	留守 玲氏

Ⅲ 入館者

平成 19 年度

展覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
平常展示	4月 1日～ 4月 8日	8	27	212
景德鎮千年展	4月 14日～ 6月 17日	57	253	14,415
富本憲吉展	6月 30日～ 8月 19日	45	166	7,456
ヴィクトリア アンド アルバート美術館所蔵 初公開 浮世絵名品展	8月 31日～10月 8日	33	302	9,972
岡部嶺男展	10月 17日～12月 6日	44	143	6,279
現在形の陶芸 萩大賞展	12月 15日～ 1月 14日	21	99	2,085
小企画展 (明治の浮世絵,萩陶芸の伝統 - 継 承と革新 -)	1月 22日～ 3月 2日	36	43	1,542
合計				41,961

平成 20 年度

展覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
北斎展	4月 5日～ 5月 18日	43	459	19,727
中国山東省石仏展	5月 27日～ 7月 13日	42	148	6,224
広重の風景版画展	7月 19日～ 8月 17日	26	128	5,673
カルロ・ザウリ展	8月 26日～10月 26日	54	93	5,026
合計				36,650

平成 21 年度

展覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
ウエッジウッド展	7月 4日～ 8月 23日	46	260	11,966
福建展	8月 29日～10月 12日	40	105	4,200
アンリ・リヴィエール展	10月 20日～12月 6日	44	197	8,669
古玉器展	12月 19日～ 2月 21日	52	65	3,379
普通展示	2月 23日～ 3月 22日	25	25	801
合計				35,757

平成 22 年度

覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
棟方志功展	6月 12日～ 8月 15日	57	299	17,031
三輪休雪展	9月 11日～10月 24日	40	284	11,366
日本のわざと美展	11月 3日～12月 5日	44	160	7,019

現在形の陶芸 萩大賞2010展	12月18日～ 1月16日	24	49	1,177
普通展示	22年度 (4月3日～3月31日)	240	64	15,337
合計				59,735

平成 23 年度

覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
ルーシー・リー展	4月29日～ 6月26日	52	282	14,642
駒井哲郎展	7月 5日～ 8月 7日	29	89	2,575
古陶の譜 中世のやきもの展	8月12日～ 9月25日	39	101	3,952
浮世絵名品 300 選展	10月 1日～11月27日	51	203	10,355
グエッリーノ・トラモンティ展	12月10日～ 2月12日	52	94	4,881
普通展示	23年度 (4月1日～3月25日)	284	46	13,124
合計				49,529

平成 24 年度

覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
第35回山口伝統工芸展	4月12日～ 5月22日	10	144	1,441
アール・デコ展	4月27日～ 6月17日	45	223	10,015
龍泉窯青磁展	6月23日～ 8月26日	58	97	5,622
清親と安治展	9月 8日～10月 8日	28	118	3,314
古萩-江戸の美意識展	10月20日～12月 9日	44	138	6,061
萩美術協会創設80周年記念展	3月 8日～ 3月17日	9	162	1,454
普通展示	24年度 (4月7日～3月31日)	303	57	17,234
合計				45,141

平成 25 年度

覧会名	会期	日数 (日間)	一日平均(人)	観覧者総数(人)
創立20周年記念 萩陶芸家協会展	4月 6日～ 5月19日	40	85	3,389
第36回山口伝統工芸展	5月23日～ 6月 2日	10	107	1,067
黄河と泰山展	6月29日～ 8月25日	53	93	4,936
大和保男の陶芸展	9月 3日～ 9月29日	26	126	3,265
フランス印象派の陶磁器展	10月 8日～11月24日	44	117	5,158
現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ	2014年 1月2日～2月2日	29	53	1,550
第65回山口県学校美術展覧会巡回展 第53回山口県幼児児童生徒版画作品展覧会	2月8日・9日	2	778	1,555

普通展示	25 年度 (4 月 2 日～3 月 30 日)	296	95	28,117
合計				49,037

IV 組織

	職名	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
	名誉館長	浦上敏朗	浦上敏朗	浦上敏朗	浦上敏朗
	館長	上田秀夫	上田秀夫	上田秀夫	上田秀夫
	副館長	江山賢治	江山賢治	尾崎裕	尾崎裕
	学芸専門監			鈴木浩平	鈴木浩平
	主幹	鈴木浩平	鈴木浩平		
総務課	課長(兼)	江山賢治	江山賢治	尾崎裕	尾崎裕
	主査	藤崎三紀夫	小西啓二	小西啓二	小西啓二
	主事	山根浩一	山根浩一	山根浩一	山根浩一
学芸課	学芸課長	石崎泰之	石崎泰之	石崎泰之	石崎泰之
	主査			藤村忠範	藤村忠範
	主任	藤村忠範	藤村忠範		吉田洋子
	専門学芸員	吉田洋子	吉田洋子	吉田洋子	徳留大輔
	学芸員	徳留大輔	徳留大輔	徳留大輔 市来真澄	市来真澄

	職名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	名誉館長	浦上敏朗	浦上敏朗	浦上敏朗
	館長	上田秀夫	上田秀夫	二井関成
	学芸顧問			上田秀夫 鈴木浩平
	副館長		鈴木浩平	藤崎三紀夫
	学芸専門監	鈴木浩平		石崎泰之
	主査	小西啓二	大谷純一郎	大谷純一郎
	主事			
学芸課	学芸課長	石崎泰之	石崎泰之	石崎泰之(兼)
	主査	藤村忠範		
	主任	吉田洋子	吉田洋子	吉田洋子 徳留大輔
	専門学芸員	徳留大輔 市来真澄	徳留大輔 市来真澄	市来真澄
	学芸員		湊田恵子 (10月1日採用)	湊田恵子

※平成 23 年度より指定管理者導入により、組織改編が行われ、総務課は廃止されました。

発行/山口県立萩美術館・浦上記念館
山口県萩市平安古町 586-1
TEL 0838-24-2400(代表)
FAX 0838-24-2401
発行日/平成 27(2015)年 3月 31日